

長崎歴史文化博物館

# 年報

平成 24 年度



長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture

# 長崎歴史文化博物館 年報

## 平成 24 年度

### 目次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	8
(2) 常設展	35
5. 調査研究事業	
(1) 長崎学調査研究プロジェクト	44
(2) 調査研究活動	47
(3) 資料修理修復事業	49
(4) 資料の管理	55
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	58
(2) 一般向け事業	58
(3) 学校向け事業	60
(4) 子供向け事業	62
(5) レファレンス事業	63
(6) 博物館実習	64
(7) 研修の受け入れ	65
(8) 伝統工芸体験工房	66
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	67
(2) 移動博物館	67
(3) イベント実施	67
(4) ボランティア活動	70
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	74
(2) 営業活動	88
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	90
(2) 主な出来事と来館者	91
(3) 貸館・貸室	91
10. 収支	92
11. 組織	
(1) 職員	93
(2) 友の会	94
12. 施設概要	
(1) 建築概要	95
(2) 施設平面図	96
13. 関連法規	97
14. 利用案内	130



# ごあいさつ

## 平成 24 年度年報発刊にあたって



平成 24 年度は開館 7 周年を迎え、何よりも「来館者」の視点に立った運営の強化に努めて参りましたが、決して十分であったとは言えないと思います。4 月にリニューアル・オープンした常設展の観覧者数が期待通りでなかったのは、展示の内容や方法など観覧者を惹きつけなかった点があるのかもしれない。興味関心を高めてもらうための展示運営の創意工夫を求められた 1 年でありました。しかしながら博物館活動全体としてみますと、教育・研究の分野で着実な実践の積み重ねや、国際交流の面で困難な事態に直面し、これを克服したという貴重な経験をした年でもありました。その中から 1, 2 を取りあげておきたいと思います。

その第一は、「出会いが生み出す学びのレシピ ～学校×博物館＝∞～」というタイトルの「長崎歴史文化博物館教育実践報告書」を初めて作成したことです。学校と博物館との連携の重要性は早くから指摘され、その実践を進めている博物館が増えつつあります。しかし、その実践の成果を詳細にまとめて広く活用される内容にまでなっていたかといえば、未だしの感は免れなかったように思います。その点で本報告書は、長崎の小・中・高校の 30 人余の教師が、当博物館「協力校・パートナーズプログラム」に積極的に参加し、博物館の活用、児童生徒の教育の質の向上のために博物館側と熱心に研究を進めてきた貴重な成果を丁寧にまとめ、博物館や学校の今後の教育活動のモデルとして提示し、有効にご活用いただけるようにしたものであります。

開館以来、「つねに進化する博物館」を運営のモットーとしている当博物館は、その核となるのが究極的に「教育」であり、博物館教育そのものが博物館の存在理由であるという一貫した考えを持っております。当然、博物館教育活動の“進化”と“深化”が最重要課題の一つであります。本報告書には、担当者が「博物館教育」の重要性を再認識して真剣に取り組んだ成果が形になって表われていると思います。いうまでもなく、より良い成果を挙げるためには、さらなる研鑽と多くの皆様のご指導・ご支援が不可欠であります。

もう一つは博物館の国際交流の問題であります。当博物館は、前年度から「長崎学」の調査研究を本格化させ、その一環として当博物館と友好館協定を締結している中国福建省福建博物院と協力し、「国境」を超えた異文化交流の在り方を研究する「地域研究部会」、異文化理解教育プログラムの開発・実践研究を行う「展示教育研究部会」等を進めております。このことも踏まえ、当博物館において「中国福建博物院展」を開催することを平成 24 年度の一大事業として 2 年前から計画し準備を進めて参りました。福建博物院所蔵の 1 級文物（日本の国宝相当）等の借用など、両博物館の協力体制も万全で計画通りに順調に進んでおりました。

しかし尖閣諸島の日本国有化宣言で起こった日中間の対立が、私たちの博物館交流にまで影響が及ぶことになりました。結果的にはどうにかスタートし、好評を得て終了することができましたが、国と国との対立が、文化の交流に影響があることを直接知らされる機会になりました。文化交流は、各国の人々の相互理解を深めるうえで大切であり、これからも何があろうともこれを維持していかなければならない道筋であり、その道筋を塞いではならないことを考えさせられる貴重な体験をしたと思っております。

本年度は「中国福建博物院展」のほか、「珍獣？霊獣？ゾウが来た！～ふしぎでめずらしい象の展覧会～」、「長崎ゆかりの浮世絵・古写真 エキゾチックジャパンへの旅」の 3 つの自主企画展を開催したことが大きな特色で、学芸員の努力があっても盛況だったことを敢えて記しておきたいと思っております。

その他、辛亥革命 100 周年記念事業「孫文・梅谷庄吉と長崎」展を機に始めた館長サミットの第 2 回開催、大学との連携事業など年々多彩な活動が展開されるようになりました。これも行政、企業、団体、学校、マスコミ、地域の皆様の力強いご支援をいただいている賜物であり、深く感謝の意を表します。今後も地域の振興、地域文化の向上のために、“進化する博物館”づくりを一層推進してまいりますので、忌憚のないご指摘とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

館長 大堀 哲

# 1 沿革

## 平成 10 年 (1998)

11 月 18 日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

## 平成 11 年 (1999)

12 月 15 日 「諏訪の森部会」最終提言

## 平成 12 年 (2000)

11 月 30 日 諏訪の森の再整備について（基本方針）公表

## 平成 13 年 (2001)

- 1 月 15 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想専門家会議設置（3 月報告書提出）
- 11 月 14 日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結
- 11 月 16 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想（案）公表
- 12 月 27 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想策定

## 平成 14 年 (2002)

- 2 月 22 日 （株）乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結
- 2 月 28 日 （株）黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

## 平成 15 年 (2003)

7 月 19 日 起工式

## 平成 16 年 (2004)

10 月 15 日 長崎歴史文化博物館条例公布

## 平成 17 年 (2005)

- 4 月 1 日 （株）乃村工藝社を指定管理者として指定
- 5 月 博物館仮事務所開設
- 7 月 1 日 大堀哲（日本ミュージアム・マネージメント学会会長）初代館長に就任
- 7 月 5 日 長崎歴史文化博物館事業発表会
- 8 月 30～31 日 建設工事、展示工事竣工
- 9 月 1 日 博物館事務所開設式
- 11 月 3 日 開館記念式典  
開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催（11 月 3 日～1 月 9 日）
- 12 月 12 日 入場者数 10 万人突破

## 平成 18 年 (2006)

- 8 月 14 日 入場者数 50 万人達成
- 10 月 20 日 開館 1 周年記念式典  
開館 1 周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催（10 月 21 日～12 月 13 日）

## 平成 19 年 (2007)

- 6 月 23 日 入場者数 100 万人達成
- 11 月 3 日 開館 2 周年  
日蘭修好 159 周年・開館 2 周年記念特別展「勝海舟と幕末長崎」開催（11 月 3 日～12 月 9 日）

## 平成 20 年 (2008)

- 8 月 7 日 入場者数 150 万人達成
- 10 月 31 日 開館 3 周年記念式典  
列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催 (11 月 1 日～1 月 12 日)

## 平成 21 年 (2009)

- 7 月 8 日 指定管理者選定委員会
- 8 月 14 日 入場者数 200 万人達成
- 10 月 5 日 皇太子殿下御来館
- 11 月 3 日 開館 4 周年  
日蘭通商 400 年記念「阿蘭陀と NIPPON」展開催 (10 月 31 日～1 月 11 日)

## 平成 22 年 (2010)

- 1 月 9 日 「長崎奉行所・龍馬伝館」開催 (～平成 23 年 1 月 10 日)
- 5 月 2 日 入場者数 250 万人達成
- 10 月 11 日 入場者数 300 万人達成
- 11 月 3 日 開館 5 周年  
開館 5 周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催 (11 月 19 日～1 月 10 日)
- 11 月 15 日 長崎歴史文化博物館 (館長 大堀哲) と中国福建博物院 (院長 呉志躍) との友好館協定締結
- 11 月 18 日 開館 5 周年記念式典

## 平成 23 年 (2011)

- 2 月 11 日 「長崎奉行所・大河ドラマ館」開催 (～10 月 30 日)
- 7 月 8 日 入場者数 350 万人達成
- 10 月 1 日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 1 回 館長サミット in 長崎開催 (会場：出島交流会館)
- 11 月 3 日 開館 6 周年  
日中国交正常化 40 周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立 15 周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催 (10 月 1 日～3 月 25 日)

## 平成 24 年 (2012)

- 4 月 1 日 常設展示リニューアルオープン
- 9 月 12 日 入館者数 400 万人達成
- 11 月 3 日 開館 7 周年  
日中国交正常化 40 周年 長崎県・福建省友好県省締結 30 周年記念「中国福建博物院展～長崎文化の源流をたずねて～」開催 (10 月 6 日～11 月 30 日)
- 3 月 22 日 中国湖北省 3 館 (辛亥革命武昌起義記念館、辛亥革命博物館、中山艦博物館) との友好交流協定締結
- 3 月 23 日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 2 回 館長サミット in 長崎開催 (会場：長崎歴史文化博物館)
- 3 月 30 日 長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館 社会連携協定締結



# 2

## 基本理念

### (1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

#### 1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

#### 2) 長崎学研究の拠点となる博物館

県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・活用を図るため、さらなる研究体制を強化し、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。

#### 3) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。

#### 4) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ、オランダ・ライデン国立民族学博物館との新たな交流展開とともに中国・福建省福建博物院との交流を本格化させる。

#### 5) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

#### 6) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を活かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

### (2) 行動指針

1) これまでの実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。

2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、これまでの教育研究グループから研究グループを独立させ、研究体制を確立させる。このことを通じて資料の収集整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を上げる。

3) 集客目標を達成するため、「中国福建博物院展」をはじめ、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。

4) 博物館施設の有効活動やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

# 3

## 事業方針

### (1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

#### 1) 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域との連携展を実施するとともに、館長ミュージアムトーク、さらに研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

#### 2) 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

#### 3) 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、研究及び教育普及グループ研究員、県市学芸員、外来研究員等との柔軟かつ機能的な共同研究体制を本格的にスタートさせ、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

### (2) 博物館の目的・使命に沿った取り組みの推進

#### 1) 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、ティーチャーズルームの活性化、スクールパートナーズ、研修会などを通して、教員の博物館活用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸し出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や沿革授業についてもさらに充実を図る。

#### 2) 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、利用者満足にさらに配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

### (3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

### (4) 県内の中核博物館としての取り組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進する。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、オランダのほか、中国、韓国等アジア地域の連携博物館の確保に向け取り組む。

### (5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間の2期目3年目となる本年度は、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方を含め、課題・問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。



## 1 企画展

## 「珍獣？ 霊獣？ ゾウが来た！ ～ふしぎでめずらしい象の展覧会～」

## 1. 展示概要

象は、江戸時代に長崎を通じて日本へ舶来し、「珍獣」として注目され一大ブームを巻き起こした。一方、仏教絵画や仏像では尊い「霊獣」として思い描かれてきた。長い歴史の中で私たちがどのように象と関わり、その魅力をいかに伝え表現したかをさぐる展覧会。

開催期間：2012年4月21日(土)～6月10日(日)  
50日間 ※休館日：5月15日(火)

観覧料：大人900円(700円)・小中高生  
450円(300円)

主催：長崎歴史文化博物館・西日本新聞社・日本経済新聞社・KTNテレビ長崎

協賛：株式会社エレナ

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

特別協力：長崎積尊鑽仰会

助成：芸術文化振興基金・公益財団法人三菱・UFJ信託地域文化財団

総入場者数：7,535名(1日平均151名)

## 2. 展示構成

第1室 長崎に象が来た ～未知なる珍獣、長崎にあらわる～

第2室 高貴な動物・白象 ～霊獣としての象～

第3室 装飾された異国のシンボル ～象を象った工芸品～

第4室 象イメージの拡散 ～霊獣・珍獣を超えた象?～

## 3. 関連行事

## ○講演会

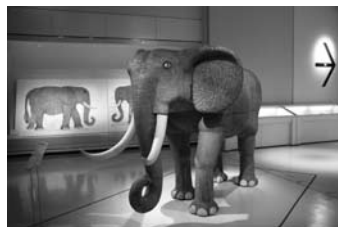
「若冲と江戸の動物画ー《象と鯨図屏風》の不思議」

日時：4月21日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：金子信久氏(府中市美術館学芸員)

参加者：66名



「珍獣？ 霊獣？ 日本絵画に見るゾウの表現ー仏画から江戸の絵本まで」

日時：5月6日(日) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：植松有希(当館研究員)

参加者：62名

「長崎街道往来模様ー象も通る、噂話も走る、漂着民の帰る道ー」

日時：5月26日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：久田松和則氏(富松神社宮司)

参加者：52名

○ワークショップ

「ゾウの絵本おはなし会・折り紙でゾウをつくろう」

日 時：4月28日(土)・5月13日(日)・  
6月3日(日) 15:00～16:00

会 場：2階立山亭

参加者：[4/28] 19名 [5/13] 11名 [6/3] 11名



「世界で1冊だけのゾウ図鑑をつくろう」

日 時：4月29日(日)・5月5日(土)  
14:00～16:00

会 場：1階エントランス

参加者：[4/29] 12名 [5/5] 14名

○その他

「ゾウの絵画コンクール」

展示期間：4月28日(土)～6月10日(日)  
会 場：3階ロビー  
応募総数：760点



「コンサート」

日 時：5月4日(金) 16:00～17:00

会 場：1階エントランス

演 奏：OMURA 室内合奏団アンサンブル

参加者：65名

「こどもの日イベント」

5月5日(土) 小中高生無料(企画展入場のみ)

「第11回国際博物館の日」

5月18日(金) 企画展入場者無料

4. 展示リスト

	作品名	作者	制作年代	所蔵先	前期	後期
第1章 長崎に象が来た ～未知なる珍獣、長崎にあらわる～						
1	南蛮屏風(複製)	狩野内膳	安土桃山～江戸時代初期	大村市立史料館 (原本 神戸市立博物館)		
2	南蛮屏風	狩野内膳	安土桃山～江戸時代初期	文化庁		
3	象之絵巻物	尾形探香	江戸時代後期	関西大学図書館		
4	象之図	郭璞賛	享保13年(1728)	関西大学図書館		
5	渡来大象之図並賛	伊藤東涯賛	江戸時代中期	関西大学図書館		
6	詠象詩	奥田三角編	享保14年(1729)	関西大学図書館		
7	象図	駒井源琦 頼三樹三郎賛	江戸時代	個人蔵		
8	象図(享保の象・江戸到着の瓦版)		享保14年(1729)	関西大学図書館		
9	象図	奥村政信	江戸時代中期	神戸市立博物館		
10	象志		享保14年(1729)	長崎歴史文化博物館		
11	象乃みつき	中村平五著	享保14年(1729)	神戸市立博物館 / 関西大学図書館		
12	渡来象之図		江戸時代後期	神戸市立博物館		
13	享保十四巳酉年四月交趾国象上京之次第記	升屋徳兵衛 ほか	文化15年(1818) 再写	関西大学図書館		
14	今度従関東御召被為登候象之形	升屋六助	享保14年(1729)	関西大学図書館		
15	富士見象	長谷川氏風笛	享保14年(1729)	関西大学図書館		
16	家土産	油煙齋貞柳著	享保14年(1729)	関西大学図書館		
17	眉間尺象貢	竹田出雲著	享保14年(1729)	関西大学図書館		
18	混雑倭草畫	磯田湖龍齋画	安永10年(1781)	関西大学図書館		
19	東都歳時記	長谷川雪旦・長谷川雪堤画 斎藤月岑著	天保9年(1838)	関西大学図書館		
20	略画光琳風立齋百図	歌川広重画	嘉永4年(1851)	個人蔵		
21	松に象図	渡辺鶴洲	文化10年(1813)	長崎歴史文化博物館		
22	ヘンドリック・ドーフ肖像画		江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
23	舶来象之図	秀野賛	文化10年(1813)	個人蔵		
24	象図(崎陽録)		文化10年(1813)以降	長崎歴史文化博物館		

25	長崎古今集覧名勝図絵稿本	石崎融思	江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
26	阿蘭陀船持渡牝象		文化10年(1813)	神戸市立博物館		
27	象図		文化10年(1813)頃	長崎歴史文化博物館		
28	象図		文化10年(1813)頃	神戸市立博物館		
29	象図		文化10年(1813)頃	神戸市立博物館		
30	象図		文化10年(1813)頃	長崎歴史文化博物館		
31	紅毛船持渡象之図		文化10年(1813)頃	長崎歴史文化博物館		
32	象図		文化10年(1813)頃	神戸市立博物館		
33	長崎土産	磯野文斎著画	弘化4年(1847)	長崎歴史文化博物館		
34	駱駝図		文政4年(1821)頃	長崎歴史文化博物館		
35	舶来大象図	歌川芳豊	文久3年(1863)	長崎歴史文化博物館		
36	新渡舶来大象之図	落合芳幾	文久3年(1863)	長崎歴史文化博物館		
37	天竺渡来大評判象乃戯遊	河鍋暁斎	文久3年(1863)	長崎歴史文化博物館		
38	鳥屋熊吉板大象図	青陽堂	文久年間(1861~1863)	長崎歴史文化博物館		
39	大都會ふし 南地大評判の大象	笑福亭松橋	江戸時代後期	関西大学図書館		
40	舶来絵象紙	仮名垣魯文	文久3年(1863)	関西大学図書館		
41	動物図説	ヨンスター	1660年	松浦史料博物館		
42	博物誌	プリニウス	1662年	松浦史料博物館		
43	崎陽諏訪明神祭祀図		江戸時代後期	大阪府立中之島図書館		
44	桶屋町傘鉾 長崎市指定有形文化財		安永年間(1772~1780)頃	桶屋町自治会		
45	みゆきの先とも	本多鉄次郎	明治14年(1881)	長崎歴史文化博物館		
46	御神事踊笠鉾番組	田川老人	明治26年(1893)	長崎歴史文化博物館		
47	長崎市踊惣町諏訪神事笠鉾	米倉利三郎	明治14年(1881)頃	長崎歴史文化博物館		
<b>第2章 高貴な動物・白象 ～霊獣としての象～</b>						
48	普賢菩薩像		室町時代	個人蔵		
49	普賢延命菩薩坐像 重要文化財		平安時代	大分市・大山寺		
50	釈迦三尊像		鎌倉時代	個人蔵		
51	釈迦十六善神像		室町時代	個人蔵		
52	釈迦十六善神像		江戸時代	長崎市・春徳寺		
53	釈迦三尊像		江戸時代	長崎市・春徳寺		
54	江口之君	月岡雪僊	江戸時代	関西大学図書館		
55	大和錦	鈴木萬年	明治24年(1891)	個人蔵		
56	欧山米水	大橋又太郎著寺崎廣業画	明治33年(1900)	個人蔵		
57	達磨騎象図	逸然性融 隠元隆琦賛	江戸時代中期	個人蔵		
58	普賢菩薩像・文殊菩薩像	逸然性融 隠元隆琦賛	江戸時代中期	長崎歴史文化博物館		
59	方寸五百羅漢図	長沢芦雪	寛政10年(1798)	個人蔵		
60	涅槃図		鎌倉時代	個人蔵		
61	涅槃図		室町時代	個人蔵		
62	涅槃図		室町時代	個人蔵		
63	涅槃図 長崎県指定有形文化財		明末~清初期	長崎市・春徳寺		
64	涅槃図 重要文化財	呉彬	明代・万暦38年(1610)	長崎市・崇福寺		
65	二十四孝繪讃	仁如集堯ほか賛	室町時代末期	関西大学図書館		
66	白象図	岩井江雲画 漢三道一賛	文政3年(1820)	長崎歴史文化博物館		
67	二十四孝童子鑑 大舜	歌川国芳	天保末~弘化初期(1843~44)	神戸市立博物館		
68	故事人物蒔絵提重		江戸時代	大阪市立美術館		
69	孝行物語	浅井了意著	万治3年(1660)	関西大学図書館		
70	繪入二十四孝		寛文11年(1671)	関西大学図書館		
71	二十四孝絵図抄		貞享3年(1686)	関西大学図書館		
72	二十四孝評	熊澤蕃山著	文化10年(1813)	関西大学図書館		
73	廿四孝図会	楠里亭其楽編葛飾戴斗画	文政2年(1819)	関西大学図書館		
74	分類二十四孝図	小田海僊画	天保14年(1843)	関西大学図書館		
75	画本手鑑	大岡春卜	享保5年(1720)	関西大学図書館		
<b>第3章 装飾された異国のシンボル ～象を象った工芸品～</b>						
76	色絵象にインド風俗図壺	有田焼	江戸時代後期	神戸市立博物館		
77	染付象に阿蘭陀人文鉢	有田焼	江戸時代後期	神戸市立博物館		

78	中国宫廷図		清代か	神戸市立博物館		
79	異国海港楼閣図		清代か	神戸市立博物館		
80	異国楼閣に泉水図		清代	神戸市立博物館		
81	唐子嬉遊図屏風		江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
82	ガラス絵 象と唐子図		江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
83	華角箱		朝鮮時代	高麗美術館		
84	九貢象蒔絵硯箱		江戸時代後期	大阪市立美術館		
85	九貢蒔絵硯箱		江戸時代	大阪市立美術館		
86	象蒔絵象嵌印籠		江戸時代	大阪市立美術館		
87	象蒔絵硯箱		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
88	象唐子蒔絵硯箱		江戸時代	大阪市立美術館		
89	儀杖蒔絵印籠		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
90	象唐子蒔絵印籠		江戸時代	大阪市立美術館		
91	象唐子蒔絵香箱		江戸時代	大阪市立美術館		
92	唐子遊興図蒔絵香筆筒		江戸時代	大阪市立美術館		
93	阿蘭陀船中図	城義隣	安政3年(1856)	神戸市立博物館		
94	オランダ人荷物試量図	大和屋版	江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
95	蘭館図絵巻	石崎融思	享和元年(1801)	長崎歴史文化博物館		
96	象牙西洋人物文小箱		江戸時代後期	神戸市立博物館		
97	根付 オランダ人		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
98	印章根付 唐人		江戸時代後期	大阪市立美術館		
99	根付 蒙古人		江戸時代後期	大阪市立美術館		
100	根付 達磨	正春	江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
101	根付 黄山谷		江戸時代後期	大阪市立美術館		
102	異国人根付		江戸時代後期	神戸市立博物館		
103	根付 蛤に河童	「光年」刻	江戸時代後期	大阪市立美術館		
104	根付 唐子遊び		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
105	根付 分福茶釜	不詳	江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
106	根付 浦島太郎	重正	明治時代	大阪市立美術館		
107	根付 粟に鶉	岡友	江戸時代後期	大阪市立美術館		
108	根付 枇杷に蟻		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
109	根付 髑髏		江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
110	根付 鉢に白魚	直斎	江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
111	根付 鉢に蛸	光廣	江戸時代～明治時代	大阪市立美術館		
112	桃太郎鬼退治 浮彫印籠		明治時代	大阪市立美術館		
113	波に龍 浮彫 印籠		明治時代	大阪市立美術館		
114	石榴に鶴鴛・梅に鶯 芝山象嵌 印籠	芝山	明治時代	大阪市立美術館		
115	藤菊に鴛鴦 芝山象嵌 印籠	一之	明治時代	大阪市立美術館		
116	白磁象形置物	平戸・三川内焼	明治時代	長崎歴史文化博物館		
117	白磁象形置物	平戸・三川内焼	明治時代	長崎歴史文化博物館		
118	白磁鉄彩象形香炉	平戸・三川内焼	明治時代	長崎歴史文化博物館		
119	象耳付雲鶴染付水瓶	亀山焼	江戸時代後期	長崎歴史文化博物館		
120	瑠璃釉陽刻鯉文象耳付花生		大正時代	長崎歴史文化博物館		
121	群賢摸象図	富岡鉄斎	大正10年(1921)	個人蔵		
122	松亭漫筆	松亭金水編 溪斎英泉画	嘉永3年(1850)	個人蔵		
123	福善斎画譜	丹羽謝庵著画	天明元年(1781)	関西大学図書館		
124	象図	北尾紅翠	江戸時代	関西大学図書館		
125	作物趣向種	鬼拉亭力丸著松川半山画	天保8年(1837)	関西大学図書館		
126	萬物雛形画譜	小林永濯著画	明治14年(1881)	個人蔵		
127	絵本初心柱立		正徳5年(1715)	個人蔵		
128	草木鳥獸諸職絵手本		文政元年(1818)	個人蔵		
129	絵本写宝袋	橘守国著画	享保5年(1720)	関西大学図書館		
130	絵本清書帳		享保3年(1718)	関西大学図書館		

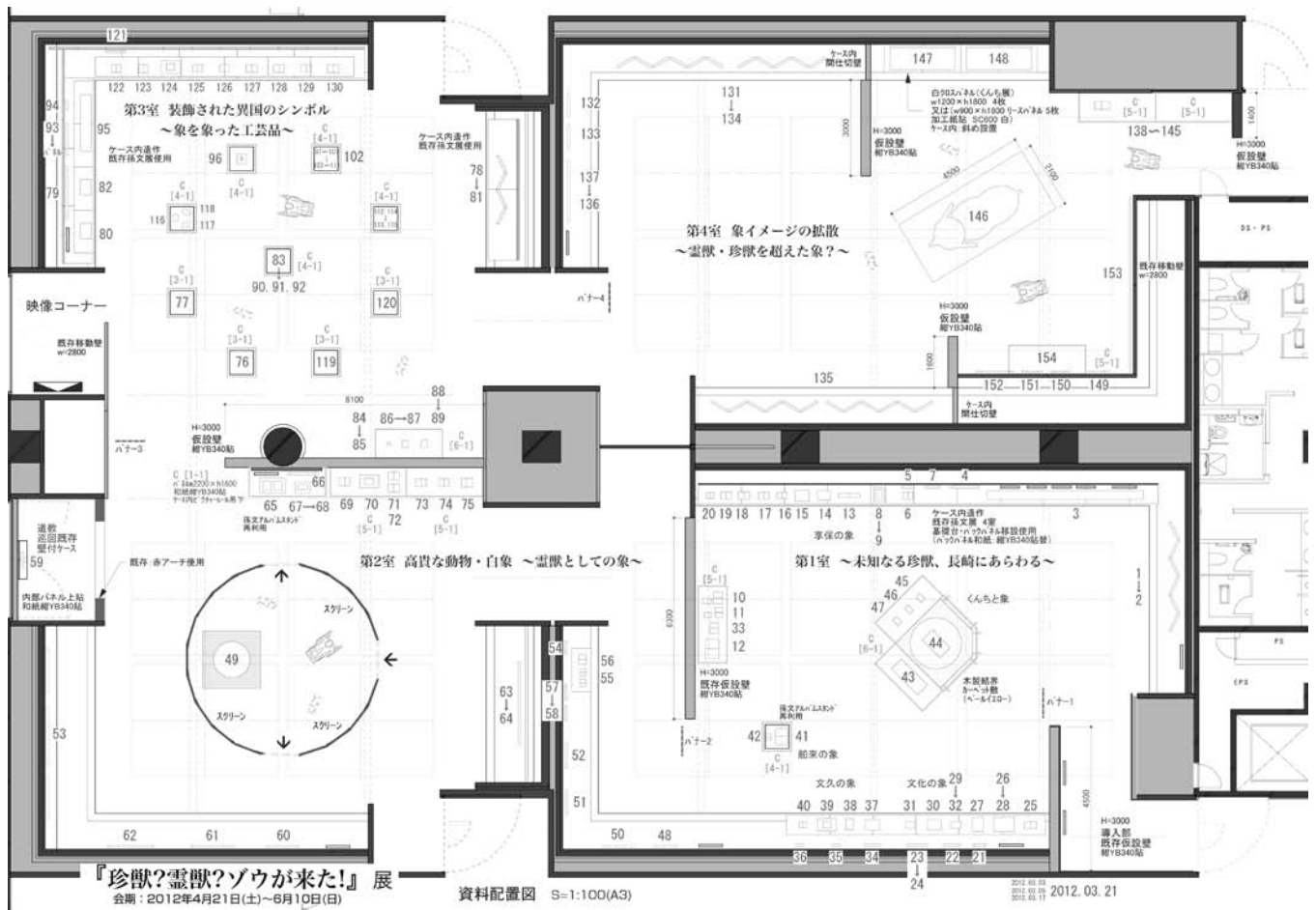
第4章 象イメージの拡散 ～霊獣・珍獣を越えた象？～

131	象と鯨図屏風	伊藤若冲	寛政7年(1795)	MIHO MUSEUM	4/21 ～ 5/6	
-----	--------	------	------------	-------------	------------------	--



132	象図	松本奉時	江戸時代中期	個人蔵	
133	鯨図	松本奉時	江戸時代中期	個人蔵	
134	白象唐子図屏風	長沢芦雪	江戸時代中期	鹿苑寺	5/7 6/10
135	象と唐子図屏風	長沢芦雪	江戸時代中期	個人蔵	
136	象図	藪長水	慶応2年(1866)	個人蔵	
137	象図	関昂	慶応2年(1866)	大阪市立美術館	
138	動物画噺	石川千代松 藤澤衛彦	大正4年(1915)	個人蔵	
139	日本児童文庫 43 動物園	石川千代松	昭和3年(1928)	個人蔵	
140	象	砂本悦次郎	昭和6年(1931)	個人蔵	
141	少国民理科の研究叢書 動物園での研究	高島春雄	昭和16年(1941)	個人蔵	
142	趣味の研究 白象	田澤丈夫	昭和16年(1941)	個人蔵	
143	象の本	光吉夏弥	昭和24年(1949)	個人蔵	
144	恩賜上野動物園 創立70周年記念小史	東京都	昭和27年(1952)	個人蔵	
145	地球の歴史文庫 マンモス象とその仲間	井尻正二	昭和40年(1965)	個人蔵	
146	Animal 2005 - 05 象	三沢厚彦	平成17年(2005)	個人蔵	
147	Drawing 2005-01	三沢厚彦	平成17年(2005)	作家蔵	
148	Drawing 2005-02	三沢厚彦	平成17年(2005)	作家蔵	
149	Drawing 2000-13	三沢厚彦	平成12年(2000)	作家蔵	
150	Drawing 2000-14	三沢厚彦	平成12年(2000)	作家蔵	
151	Drawing 2000-15	三沢厚彦	平成12年(2000)	作家蔵	
152	Drawing 2005-03	三沢厚彦	平成17年(2005)	作家蔵	
153	painting 2008-01	三沢厚彦	平成20年(2008)	個人蔵	
154	「Animal 2005 - 05 象」関連資料	三沢厚彦	平成17年(2005)頃	作家蔵	

## 5, 展示図面



# ドラえもん科学みらい展

## 1. 展示概要

ドラえもんの「ひみつ道具」をテーマに、現在の科学技術でどこまで実現されているのかを、最新の研究成果をもとに体験型展示で紹介した。

開催期間：2012年7月7日（土）～8月5日（日）  
30日間 ※会期中無休

観覧料金：一般（高校生以上）1,000円  
（早割：800円 / 前売り：900円）  
小・中学生 800円  
（早割：500円 / 前売り：700円）  
幼児（3歳以上）600円  
（早割：300円 / 前売り：500円）

主催：NCC長崎文化放送・長崎歴史文化博物館  
後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎県私立幼稚園連合会・長崎市私立幼稚園協会・長崎市私立幼稚園PTA連合会・長崎市保育会・長崎県子ども会育成連合会・長崎市子ども会育成連合会・長崎県学童保育連絡協議会・朝日新聞社・長崎新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

特別協賛：杉永かまぼこ

科学監修：日本科学未来館

特別協力：藤子プロ

展示点数：30点

総入場者数：23,575名（1日平均786名）

## 2. 関連行事

○牛乳パックカメラで写真を撮ろう！

開催期間：7月25日（水） / 26日（木）14時～16時

会場：1階講座室

定員：各回20名

参加費：300円（参加者は1リットルの牛乳パック2本持参）

参加者：[7/25] 42名

[7/26] 36名



○ドラえもん記念写真を撮ろう！

時間：11:30～、13:30～、14:30～、  
15:30～、16:30～ 約20分（時間制）

会場：3階企画展示室内

○夏休み特別企画「湯元桂二先生によるビーコロ装置の実演ショー」

日時：7月14日（土）

10:30～11:00 /

13:00～13:30 /

14:30～15:00 /

16:00～16:30

7月15日（日）10:30～11:00 /

13:00～13:30 / 14:30～15:00

会場：1階エントランス

講師：湯元桂二氏（木のおもちゃ工房「あおむし」代表）

参加費：無料

参加者：[7/14] 364名 [7/15] 701名



○みらい道具グランプリ

募集期間：6月1日（土）～6月16日（土）

展示期間：7月7日（土）～8月5日（日）

対象：幼児～小学6年生まで

特典：鑑賞割引券（1枚で4名まで利用可）

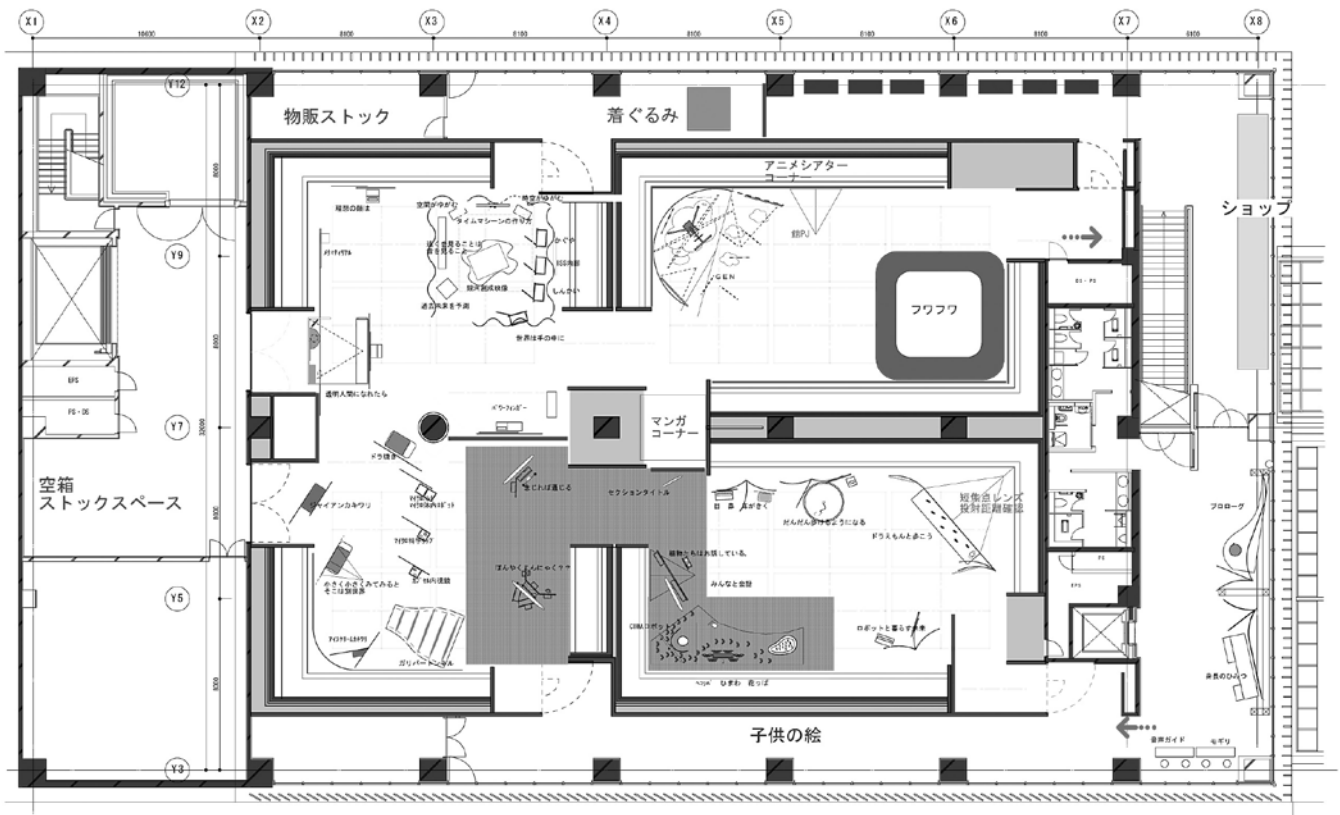
応募作品数：90点



### 3, 展示リスト

	セクション名	展示名
1	ドラえもん と暮らす未来	プロローグ
2		ヒト型ネコ型ロボット ドラえもん 身長のみミツ
3		ドラえもん と歩こう!!
4		だんだん歩けるようになる
5		ロボット と暮らす未来
6		目、鼻、耳がきく! そして人にやさしい
7		話そう! 友達になろう!!
8	もっと気持ちが通じれば...	ほんやくコンニャク??
9		念じれば、通じる...
10		植物たちはお話している!
11	小さく、小さくなれたら...	小さく、小さく、見てみると...そこは別世界
12		からだの中を探検...見る
13		からだの中を探検...治療する
14		より小さく、早く、省エネで...
15	変身したい!	理想の顔はどれ?
16		強くなりたい! 力持ちになりたい! ~マンマシンシナジーエフェクト~
17		透明人間になれたら...~透明マント!?
18		空を自由に飛びたいな♪
19	遠く、遠く、広がる世界へ...	遠く、遠く、フロンティアを目指して...
20		世界は手のなかに...
21		過去・未来を予測~100年後の地球の未来
22		過去・未来を予測~銀河の過去・未来
23		遠くを見ることは、昔をみること
24		タイムマシンはできる?~時間はわかる
25		タイムマシンはできる?~空間はゆがむ
26		タイムマシンのつくり方

### 4, 展示図面



# 日中国交正常化40周年記念 「地上の天宮 北京・故宮博物院展」

## 1, 展示概要

日中国交正常化40周年を記念し開催した全国巡回展。故宮に生きた「女性たち」「子どもたち」をテーマに、北京・故宮博物院が所蔵する180万点におよぶ文物から、絵画、工芸、服飾、宝飾など約200点の至宝を厳選し、宮廷文化の神髄を紹介した。

開催期間：8月18日(土)～9月17日(月・祝)

31日間 ※会期中無休

開場時間：午前9時30分～午後6時

観覧料：大人1,200円・小中高生500円

主催：長崎新聞社・長崎歴史文化博物館

共催：NCC長崎文化放送

協賛：出口医院レディースクリニック

特別協力：北京・故宮博物院

協力：長崎県医師会・長崎県社会福祉協議会・長崎新聞販売センター・NHKエデュケーショナル・ヤマトロジスティクス

企画協力：黄山美術社

企画：東京富士美術館

後援：外務省・文化庁・中国文化部・中国大使館・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・中華人民共和国駐長崎総領事館・NHK長崎放送局・エフエム長崎・長崎ケーブルメディア・長崎県美術協会・長崎県立長崎図書館・長崎県PTA連合会・長崎商工会議所・長崎国際観光コンベンション協会・長崎県書店商業組合・長崎新地中華街商店街振興組合・長崎華僑総会・長崎中華料理同業組合・長

崎花市場・長崎県花き振興協議会・長崎花商協同組合・長崎県理容生活衛生同業組合・長崎県生活協同組合連合会・長崎電気軌道 ほか (順不同)

展示点数：209点

総入場者数：37,000名 (1日平均1,194名)

## 2, 展示構成

第一部 故宮の後妃たち

第一章 美しいふるまい—まつりごと・たしなみ

第二章 楽しみ—宮中の娯楽

第三章 美装—ファッションと美容

第四章 美食—宮廷の食卓

第二部 故宮の子どもたち

第一章 学ぶ—皇子・皇女たちの教育

第二章 育む—皇子・皇女たちの生活

## 3, 関連行事

○講演会

「北京・故宮博物院展 開催記念講演会『故宮に生きた女性たち』」

日時：8月18日(土)

10:30～12:00

会場：1階ホール

講師：白根敏昭氏(東京富士美術館学芸部長)

参加者：150名



○ミュージアムトーク

日時：8月22日(水)、8月29日(水)、

9月5日(水)、9月12日(水)

14:00～14:30

会場：1階ホール

講師：岡本健一郎(当館研究員)

参加者：[8/22] 20名、[8/29] 25名、  
[9/5] 25名、[9/12] 25名





○ワークショップ

「健康・長寿から恋愛まで、初めての霊符づくり」

内 容：「寿」などの文字を使ったお守りである霊符を墨書・朱書する体験。

日 時：9月1日(土) 14:00～15:00

会 場：1階講座室

参加者：5名



「はさみのできるお守り・剪紙（切り絵）づくり」

内 容：はさみを使って、中国の民俗芸術である剪紙（切り絵）を作る体験。

日 時：9月9日(日) 14:00～15:00

会 場：1階エントランス

参加者：30名



4, 展示リスト

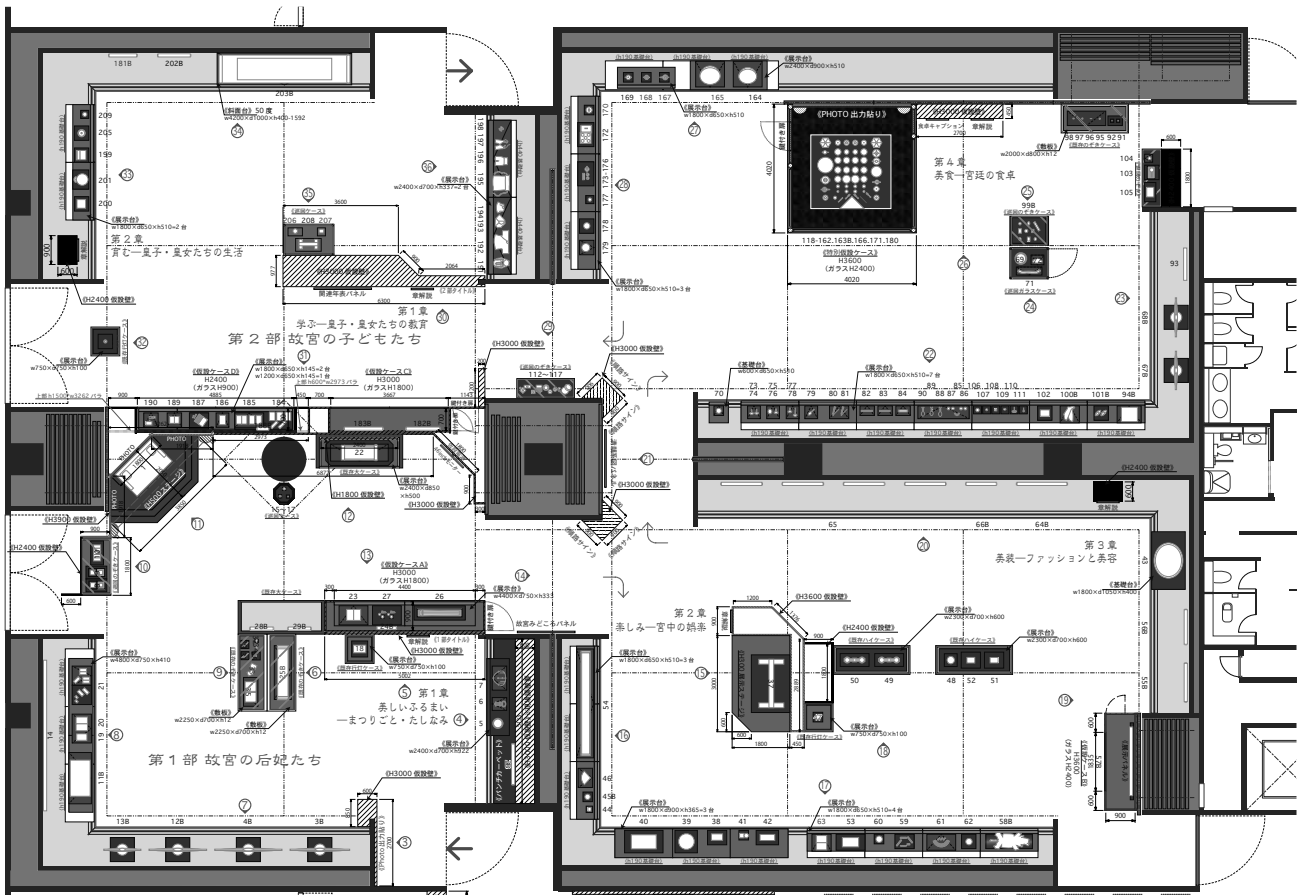
	国家一級	作品名	制作年	形質・技法
<b>第一部 故宮の後妃たち</b>				
<b>第一章 美しいふるまい—まつりごと・たしなみ</b>				
1		金漆彫龍宝座	清	
2		《慧賢皇貴妃朝服像》軸	清	絹本、着色
3		明黄色緞 繡彩雲金龍文 女夾朝袍	清・嘉慶年間	
4		明黄色紬 繡八团五彩雲蝠金龍文 女単袍	清・同治年間	
5		点翠嵌珠貴妃朝冠	清	
6		染骨鑲石領約	清	
7		珊瑚朝珠	清	
8		玉「孝莊皇后之宝」	清・乾隆年間	
9		金龜紐「珍妃之印」	清・光緒年間	
10		銀鍍金珍妃冊	清・光緒21年(1895)	
11		慶寛《光緒帝大婚典礼全図》冊	清・光緒年間	絹本、着色
12		明黄色紬 繡五彩雲蝠八仙双喜金龍文 女龍袍	清	
13		紅色紬 繡百蝶金双喜文 単氎衣	清・光緒年間	
14		紅呢 繡双喜龍鳳彩雲子孫万代文 炕毯	清・光緒年間	
15		珊瑚点翠双喜字耳墜 一对	清	
16		金鑿「謹言慎行双喜」戒指	清	
17		青玉合盃杯	明	
18	●	填漆描金双喜方盒	清・乾隆年間	
19		『内政輯要』	清・順治12年(1655)	
20		『大明仁孝皇后内訓』	明・永楽3年(1405)	
21		『御書 妙法蓮華経』	清・乾隆14年(1749)	
22	●	《女孝経図》卷 庶人章(庶人の章)	南宋	絹本、着色
23		周愷《補袞図》冊	清	絹本、着色
24		《英嬪・春貴人乘馬図》軸	清	紙本、着色
25	●	丁雲鵬《馮媛当熊図》卷	明・万曆11年(1583)	紙本、着色
26		七弦琴	南宋	
27		白玉・碧玉囲碁子	清	
28		慈禧《魚藻図》軸	清	絹本、着色
29		端康皇貴妃(瑾妃)《菊花図》軸	清	絹本、着色
30		紅漆描金夔鳳管紫毫筆	明	
31		青玉管紫毫筆	清・乾隆年間	
32		青玉臥鶴式硯滴	清	
33	●	松花江石海水龍文長方硯	清・康熙年間	
34		水晶古琴式鎮紙	清	
35		四庫文閣詩墨 / 十二辰墨・御製文淵閣詩墨・御製文津閣詩墨・御製文源閣詩墨・御製文溯閣詩墨	清・乾隆年間	
36		花寿山石随形人物松樹「福寿仁恩」方印	清・光緒年間	
<b>第二章 楽しみ—宮中の娯楽</b>				
37		黄花梨辺座人物玻璃插屏	清	
38		銅風輪表	フランス 19世紀末(清)	
39		銅鍍金嵌珮瑯軒鴨荷花缸鍾	清・乾隆年間	

40		銅鍍金人拉馬鍾	イギリス 18世紀(清)	
41		洋人架珠鍾	清	
42		輪船式風雨表	フランス 19世紀末(清)	
43		朱漆描金澡盆	清	
44		画珐瑯牡丹花唾盂	清・乾隆年間	
45		緞繡孔雀松樹牡丹漆柄团扇	清	
46		烏木股刻寿字辺金面彩画花卉折扇	清	
47	●	朱漆描金勾蓮開光龍鳳手炉	清・乾隆年間	
48		金鏤空葫芦式香薰	清	
49		銅鍍金累糸嵌翠石三鑲如意	清	
50		銅鍍金鑿暗八仙翠蝠如意	清	
51		画珐瑯長方盆玉蘭盆景	清	
52		金質長方盆木樹盆景	清	
53		八音盒	スイス 19世紀(清)	
54		顧閔中《韓熙載夜宴図》卷(肉筆複製画)	五代(オリジナル)、1950年代模写	絹本、着色
55		《明皇鬪鷄図》軸	明	絹本、着色
56		《孝慎成皇后觀蓮図》軸	清	紙本、着色
57		《弘暦元宵行樂図》	清	絹本、着色
58		紅色閃緞 犬服	清・光緒年間	
59		麻雀牌	清	
60		青花西遊記人物鉢	清・康熙年間	
61		水滸人物紙牌	清	
62		銅投壺	清	
63	●	任熊《大梅詩意》冊	清	絹本、着色
<b>第三章 美装—ファッションと美容</b>				
64		金廷標《仕女簪花図》軸	清	絹本、着色
65		《胤禛妃行樂図》軸	清	絹本、着色
		〔初春〕倚榻觀雀		
		〔初秋〕桐蔭品茶		
		〔晚秋〕持表對菊		
		〔冬〕裘裝對鏡		
66		《孝貞顯皇后璇闈日永図》軸	清	絹本、着色
67		品月色緞 繡玉蘭 飛蝶文髦衣	清・光緒年間	
68		明黄色紬 繡彩球梅周身鑲条辺 綿馬褂	清	
69		鍍金点翠鑲珠石鳳釧子	清・嘉慶年間	
70		金鑲珠寶帽頂	清	
71		梅蝶点翠長形頭面	清	
72		梅蝶点翠凹形頭面	清	
73,74		嵌寶石点翠花簪	清・乾隆年間	
75		銀鍍金嵌寶石靈芝簪	清・同治年間	
76		銀鍍金嵌珠寶鈿花	清	
77		鑲寶石碧璽花簪	清・乾隆年間	
78		銀鍍金嵌寶蝴蝶簪	清	
79		金鑲珠石松竹靈壽簪	清	
80,81		銀鍍金点翠穿珠流蘇	清	
82		翠扁方	清	
83		玳瑁鑲珠石翠花扁方	清	
84		銀鍍金嵌珠双龍点翠長簪	清	
85		金環鑲東珠耳飾	清	
86		金鑲伽楠香嵌金糸寿字鐲	清	
87		翠鐲	清	
88		帶珠翠珊瑚十八子手串	清	
89		伽楠香嵌金長圓寿字十八子手串	清	
90		翡翠十八子手串	清	
91		金鑲紅藍寶石戒指	清	
92		金鑿古錢文指甲套	清	
93		慈禧太后便服像	清	油彩、カンヴァス

94		黄色紬 繡花牡丹蝶手帕	清・光緒年間	
95		翠荷葉佩	清	
96		白玉鏤彫鳳凰墜佩	宋	
97		帶翠碧璽福壽佩	清	
98		翠仏手佩	清	
99		紅色緞平金鎖線繡福壽字活計	清・光緒年間	
100		淺緑紬 繡高腰綿襪	清・康熙年間	
101		品月緞 繡花釘料珠元宝底女綿鞋	清・光緒年間	
102		硬木嵌珠寶鏡盒	清	
103		銅鍍金嵌紅料辺瑪瑙柄玻璃鏡	清	
104		掐糸珐瑯山水樓閣銅鏡	清・乾隆年間	
105		描金帶彩黃楊什錦梳具	清末期	
106		粉玻璃円式香水噴子	清末期	
107		画珐瑯花卉粉盒	清・乾隆年間	
108		銅鍍金四方委角粉盒	清末期	
109		金累糸龍文胭脂盒	清	
110		水晶玉柄五珠太平車	清	
111		瑪瑙按摩器	清中期	
112		燕窩	清末期	
113		人參茶膏	清末期	
114		啓脾益壽膏	清	
115		普洱茶膏	清末期	
116		龍井芽茶	清末期	
117		大凸花茶	清末期	
<b>第四章 美食—宮廷の食卓</b>				
118		明黄色緞 繡雲龍文 桌囲	現代	
119,120		青玉勾雲夔龍壽字文燭台	清	
121,122		青玉蕉葉螭龍壽字文花瓶	清	
123,124		銅鍍金松棚果罩	清	
		慈禧太后「万寿慶典」用磁器		
125,126		里紅鶴外黃地粉彩開光萬壽無疆蓋碗	清・光緒年間	
127,128		里紅鶴外黃地粉彩開光萬壽無疆蓋碗	清・光緒年間	
129,130		黃地粉彩萬壽無疆碗	清・光緒年間	
131,132		黃地粉彩萬壽無疆白里碗	清・光緒年間	
133,134		里外黃釉萬壽無疆碗	清・光緒年間	
135,136		黃地粉彩開光萬壽無疆杯	清・光緒年間	
137,138		黃地粉彩萬壽無疆蓋碗	清・光緒年間	
139,140		黃地粉彩金萬壽無疆碗	清・光緒年間	
141,142		黃地粉彩金萬壽無疆盤	清・光緒年間	
143,144		黃地粉彩萬壽無疆盤	清・光緒年間	
145,146		里外黃釉紅蝠壽高足碗	清・光緒年間	
147,148		里外黃釉紅蝠壽高足盤	清・光緒年間	
149,150		黃地開光萬壽無疆羹匙	清・同治年間	
151	●	画珐瑯花卉執壺	清・嘉慶年間	
152	●	画珐瑯開光山水花鳥蓋碗	清・乾隆年間	
153		掐糸珐瑯團花文菱花式火鍋	清末期	
154	●	画珐瑯開光瓜梭盒	清・乾隆年間	
155	●	画珐瑯花卉杯	清・雍正年間	
156		金鑿花執壺	清	
157		金帶托爨盅	清	
158		金鑿花双喜円壽茶碗	清・同治年間	
159		銀龍鳳多穆壺	清・宣統年間	
160		青玉鑲赤金筷	清・乾隆年間	
161		青玉柄金匙	清・乾隆年間	
162		青玉柄赤金叉	清・乾隆年間	
163		黃紬 繡彩龍鳳金双喜 懷当	清・光緒年間	
164		粉彩歲朝嬰戲大果盤	清・同治年間	

165	●	画珐瑯仙女採芝大盤	清・乾隆年間	
166		画珐瑯纏枝蓮八宝攢盒	清中期	
167	●	金胎珐瑯執壺	清・乾隆年間	
168	●	画珐瑯八棱開光提梁壺	清・乾隆年間	
169		掐糸珐瑯勾蓮嵌石多穆壺	清・乾隆年間	
170	●	金胎画珐瑯花卉杯盤	清・乾隆年間	
171		銀鍍金寿字火鍋	清	
172		錫方式一品鍋	清	
		白地紅花卉開光詩句茶具一式		
173		長方盤	清・乾隆年間	
174		茶壺	清・乾隆年間	
175		蓋碗	清・乾隆年間	
176		蓋碗	清・乾隆年間	
177		瑪瑙光素茶碗	清	
178		紅彫漆福字盒	清・乾隆年間	
179		剔紅龍鳳文円盤	明・万曆年間	
180		剔紅飛龍宴盒	清・乾隆年間	
<b>第二部 故宮の子どもたち</b>				
<b>第一章 学ぶ一皇子・皇女たちの教育</b>				
181	●	顧銘《允禧訓経図》軸	清	絹本、着色
182		《孝全成皇后瑤宮春霽図》軸	清	紙本、着色
183		《同治帝写字像》軸	清	絹本、着色
184		《四書五經》6箱全38冊		
		《四書》6冊	清・同治13年(1874)	
		《周易》2冊	清・同治13年(1874)	
		《書経》4冊	清・同治13年(1874)	
		《詩経》4冊	清・同治13年(1874)	
		《礼記》10冊	清・同治13年(1874)	
		《春秋左伝》12冊	清・同治13年(1874)	
185		《聖祖仁皇帝庭訓格言》	清・雍正8年(1730)	
186		溥儀習字冊《十三経集字》より《三伝》	清	
187		溥儀絵画習作《百物図》	清	
188		載淳《管城春満図》軸	清	紙本、着色
189		瑪瑙子硬木小算盤	清・康熙年間	
190		紙籌計算器	清・康熙年間	
<b>第二章 育む一皇子・皇女たちの生活</b>				
191		杏黄緞 虎頭式 綿風帽	清・同治年間	
192		紅色菊花文縐綉 大襟小綿襖	清・同治年間	
193		香色四合鈴杵文暗花縐綉 琵琶襟小綿坎肩	清・同治年間	
194		紅色竹梅文暗花縐綉 兜	清・同治年間	
195		藍色綉 夾屁簾	清・光緒年間	
196		桃紅色暗花綉 小孩夾褲	清・同治年間	
197		杏黄色菊蝶文実地紗 画虎文夾套褲	清・同治年間	
198		黄緞釘線虎頭 小夾鞋	清・同治年間	
199		木製積み木	清末期	
200		木製彩漆棋子	清	
201		幻術変小孩機器人	フランス 19世紀(清)	
202		金廷標《兒童闘草図》軸	清	紙本、着色
203		《道光帝行楽図》軸	清	紙本、着色
204	●	粉彩花卉凸三嬰戲瓶	清・乾隆年間	
205		掐糸珐瑯花卉三獸耳活環嬰足鼓式蓋炉	清中期	
206	●	百子彫漆円盒	清・乾隆年間	
207	●	嬰戲彫漆長方盒	明・宣徳年間	
208		紅彫漆百子図挿屏	清・乾隆年間	
209		青玉双童洗象	清	

# 5. 展示図面



# 日中国交正常化40周年 長崎県・福建省友好県省締結30周年記念 中国福建博物院展 ～長崎文化の源流をたずねて～

## 1. 展示概要

本企画展では、日中国交正常化40周年および長崎県・福建省友好県省締結30周年を記念し、福建博物院に収蔵されている中国福建省の至宝を紹介するとともに、近年注目を集めている水中考古学の成果や日本各地に伝来する文化遺産を通じて、福建省と長崎県の交流の歴史、さらには日中交流の歴史を紹介した。

期 間：2012年10月6日(土)～11月30日(金)  
54日間 ※休館日：10月16日(火)  
11月20日(火)

観覧料：大人1,000円(800円)・小中高生 無料

主 催：長崎歴史文化博物館・福建博物院・長崎県・NIB長崎国際テレビ

協 賛：玄海酒造株式会社

後 援：外務省・中華人民共和国駐長崎総領事館・長崎市・長崎市教育委員会・長崎県内教育委員会(長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・大村市・平戸市・松浦市・対馬市・壱岐市・五島市・西海市・雲仙市・南島原市・長与町・時津町・東彼杵町・川棚町・波佐見町・小値賀町・佐々町・新上五島町)

長崎新聞社・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎県旅館ホテル生活衛生同業組合・長崎県飲料業生活衛生同業組合・表千家同門会長崎県支部・茶道裏

千家淡交会長崎支部・長崎市タクシー協会・長崎華僑総会・長崎新華僑華人協会・長崎県日中親善協議会・長崎新地中華街商店振興組合

協 力：全日本空輸株式会社長崎支店・中国東方航空長崎支店

総入場者数：19,604名(1日平均363名)

## 2. 展示構成

序 章

第1章 福建博物院の至宝

第2章 海のタイムカプセル

第3章 日本に伝世する名宝

第4章 中国福建省と長崎県を繋ぐ人々

## 3. 関連行事

○講演会

江戸時代の長崎と福建省(れきぶん長崎学講座)

講 師：深瀬公一郎(当館研究員)

日 時：10月21日(日)

14:00～15:30

会 場：1階ホール

参加者：65名



○史跡めぐり(鷹島)(れきぶん長崎学講座)

講 師：山下寿子氏(松浦市教育委員会)

日 時：11月11日(日)

参加者：45名

○ワークショップ

南画体験(対象こども～大人)

講 師：長崎青房会 会長 田中正博氏

日 時：10月28日(日)

14:00～16:00

会 場：1階講座室

対 象：こども～大人

参加者：8名(定員20名)



**福建省のお茶を満喫「お茶飲み比べ&講座」**

講 師：日本中国茶普及協会インストラクター  
糸永佳代氏

日 時：11月3日(土) 14:00～15:30

会 場：1階講座室

対 象：一般

参加費：1500円

参加者：18名(定員20名)



**篆刻体験**

講 師：馬場寛牛氏

日 時：10月13日(土)  
14:00～15:30

会 場：1階講座室

対 象：高校生以上

参加費：500円

参加者：20名(20名)



対 象：一般

参加者：110名

**○コンサート**

開館7周年記念コンサート(ミュージアムコンサート)

出 演：長崎県新演奏家協会

日 時：11月3日(土) 16:00～16:45

会 場：1階エントランス

参加者／68名

長崎の月琴史&演奏会(伝統芸能文化事業(地域連携事業))

講 師：山野誠之氏(長崎明清楽保存会)

日 時：11月25日(日) 13:30～14:00 /  
15:00～15:30

会 場：3階企画展示室内

参加者：66名

**煎茶の楽しみ(伝統芸能文化事業(地域連携事業))**

講 師：文人流知足会

日 時：10月28日(日)  
13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～  
15:00 / 15:00～15:30 / 15:30～16:00

会 場：2階立山亭

**国際シンポジウム**

講 師：当館研究員、福建博物院研究員

日 時：11月4日(日) 10:00～17:00

会 場：1階ホール

参加者：45名

**4. 展示リスト**

	作品名	指定	作者	年代	所蔵先
1	東方見聞録		マルコ・ポーロ	1664年刊	財団法人 東洋文庫
2	黄公百阿拉伯文墓碑(拓本)			1315年	福建博物院
3	古阿拉伯文墓碑			1307年	福建博物院
4	琉球墓碑			乾隆54年(1789)	福建博物院
5	古基督教碑			至正9年(1349)	福建博物院
6	高髻拱手女俑(閩国劉華墓)	国家1級文物		五代	福建博物院
7	戴幘頭帽執物男俑(閩国劉華墓)	国家1級文物		五代	福建博物院
8	高髻拱手女俑(閩国劉華墓)	国家1級文物		五代	福建博物院
9	戴風帽拱手男俑(閩国劉華墓)	国家1級文物		五代	福建博物院
10	麒麟形燵炉			元代	福建博物院
11	鑲金佛像			明代	福建博物院
12	青釉粉盒			宋代	福建博物院
13	影青釉蓮花三聯盒			宋代	福建博物院
14	銅塔			五代	福建博物院
15	銀鍍金鏤空心形香熏	国家1級文物		淳祐3年(1243)	福建博物院
16	蒲牢鈕平于銅鐘			明代	福建博物院
17	観音坐像(徳化窯)			明代	福建博物院
18	観音立像(徳化窯)			明代	福建博物院
19	達磨像(徳化窯)			明代	福建博物院
20	秋江読書図軸		黄道周	明代	福建博物院
21	草書軸	国家1級文物	張瑞図	明代	福建博物院
22	墨山水折扇面		謝時臣	明代	福建博物院
23	枯木雄鷹図軸	国家1級文物	黄慎	清代	福建博物院
24	梅花図軸		伊秉綏	清代	福建博物院
25	隸書軸		伊秉綏	清代	福建博物院
26	草書軸	国家1級文物	許友	清代	福建博物院
27	煙壑乱松図卷		趙珣	明代	福建博物院
28	松猴図軸		趙珣	明代	福建博物院
29	李綱像軸			明代	福建博物院
30	山水図軸	国家1級文物	呉彬	明代	福建博物院

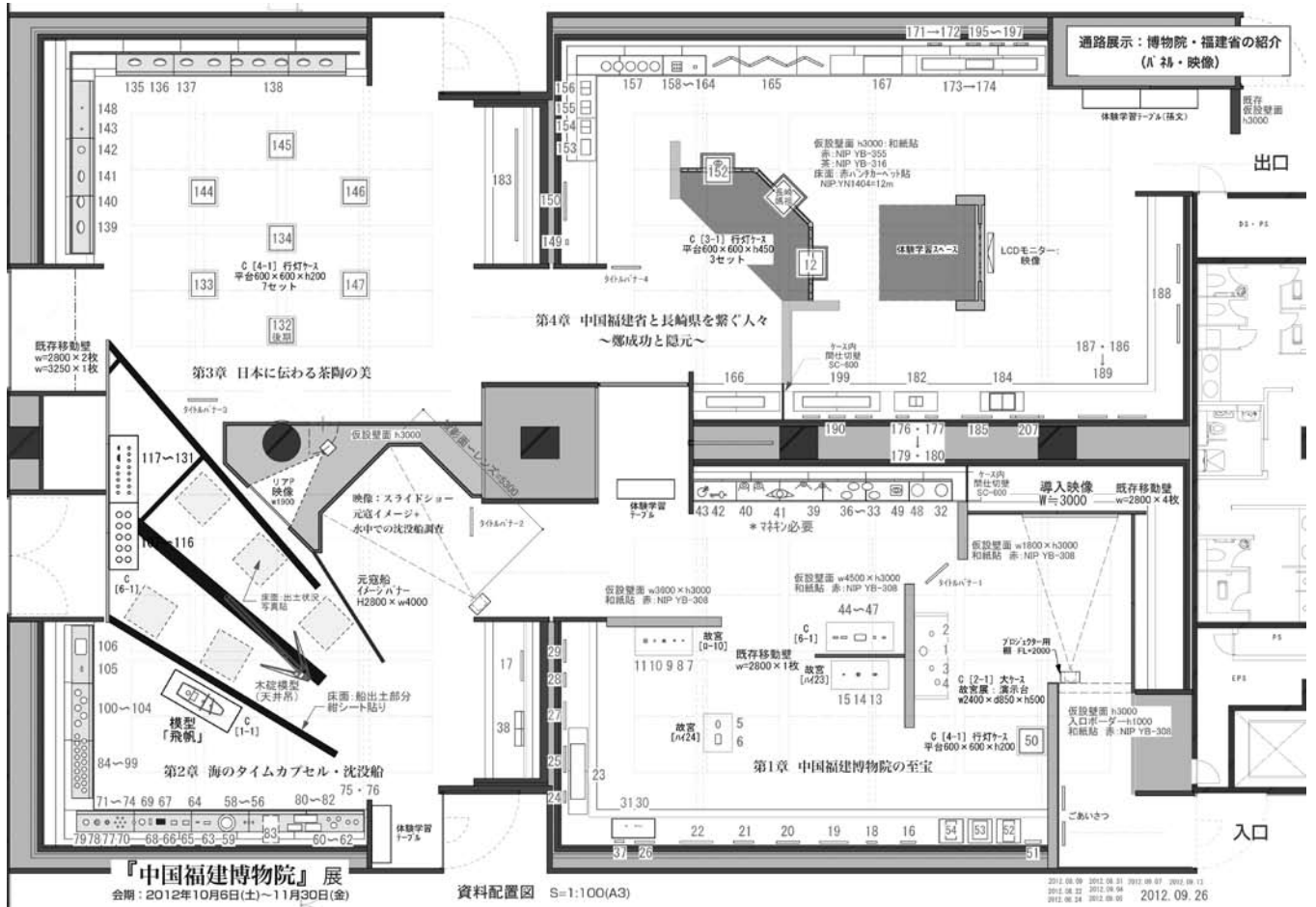
31	黄石齋像軸		曾鯨	明代	福建博物院
32	婁子柔像軸		曾鯨	明代	福建博物院
33	行草書軸		葉向高	明代	福建博物院
34	白玉彫水仙花頂髮簪	国家1級文物		明代	福建博物院
35	鏤彫螭鈕白玉方章	国家1級文物		明代	福建博物院
36	朱熹画像			明代	福建博物院
37	“四快”——醉酒			清代	福建博物院
38	“四快”——打噴嚏			清代	福建博物院
39	“四快”——捶背			清代	福建博物院
40	“四快”——挖耳			清代	福建博物院
41	漆金木刻屏風				福建博物院
42	石彫蟹蓮				福建博物院
43	石彫母猪				福建博物院
44	一家親		林亨雲		福建博物院
45	母愛		林鳳妹		福建博物院
46	脱胎荷葉瓶	国家1級文物	沈正鎬	近代	福建博物院
47	漆做後母戛鼎			現代	福建博物院
48	脱胎閩羽坐像		沈正鎬	近代	福建博物院
49	詔安鉄枝木偶				福建博物院
50	閩西提線木偶				福建博物院
51	閩劇蟒袍				福建博物院
52	閩劇樂器——椰胡				福建博物院
53	閩劇樂器——月琴				福建博物院
54	てつはう				鷹島歴史民俗資料館
55	てつはう				鷹島歴史民俗資料館
56	石弾（大）				鷹島歴史民俗資料館
57	石弾（中）				鷹島歴史民俗資料館
58	石弾（小）				鷹島歴史民俗資料館
59	漆塗弓				鷹島歴史民俗資料館
60	5号碓石				鷹島歴史民俗資料館
61	2号椀				鷹島歴史民俗資料館
62	青銅製擬宝珠				鷹島歴史民俗資料館
63	漆喰付着磚				鷹島歴史民俗資料館
64	白玉製獅子像				鷹島歴史民俗資料館
65	銅錢「福祿寿昌」				鷹島歴史民俗資料館
66	経板				鷹島歴史民俗資料館
67	青銅製鈴				鷹島歴史民俗資料館
68	褐釉陶器四耳壺				鷹島歴史民俗資料館
69	褐釉陶器四耳壺				鷹島歴史民俗資料館
70	福建省産青磁碗				鷹島歴史民俗資料館
71	石硯				鷹島歴史民俗資料館
72	石臼				鷹島歴史民俗資料館
73	漆製櫛				鷹島歴史民俗資料館
74	朱塗櫛				鷹島歴史民俗資料館
75	銅製帶金具				鷹島歴史民俗資料館
76	銘刻書漆碗			1261年	鷹島歴史民俗資料館
77	銅錢「太平通宝」			976～983年	鷹島歴史民俗資料館
78	銅錢「正隆元宝」			1157年頃	鷹島歴史民俗資料館
79	碓石				小値賀町歴史民俗資料館
80	建盞碗				小値賀町歴史民俗資料館
81	白磁碗			12世紀中～後半	小値賀町歴史民俗資料館
82	白磁碗			12世紀中～後半	小値賀町歴史民俗資料館
83	宜興窯系褐釉陶器四耳壺			13世紀	小値賀町歴史民俗資料館
84	白磁小碗			12世紀	小値賀町歴史民俗資料館
85	褐釉四耳壺			13世紀初頭～13世紀中葉	小値賀町歴史民俗資料館
86	同安窯系青磁皿			12世紀後半	小値賀町歴史民俗資料館
87	龍泉窯系青磁無文皿			12世紀後半～13世紀初頭	小値賀町歴史民俗資料館
88	龍泉窯系青磁刻画文碗			12世紀後半～13世紀	小値賀町歴史民俗資料館
89	褐釉陶器四耳壺			13世紀初頭～13世紀中頃	小値賀町歴史民俗資料館
90	クロッ（足付白）			16世紀末～17世紀初頭	小値賀町歴史民俗資料館
91	ハンネラ土器			16世紀末～17世紀初頭	小値賀町歴史民俗資料館
92	青花磁器皿			16世紀前半～中頃	小値賀町歴史民俗資料館
93	青花瓶			16世紀末	小値賀町歴史民俗資料館
94	移動式竈			16世紀末～17世紀初頭	小値賀町歴史民俗資料館
95	インゴット				小値賀町歴史民俗資料館
96	華南三彩皿				小値賀町歴史民俗資料館
97	白磁皿				小値賀町歴史民俗資料館
98	青磁皿				小値賀町歴史民俗資料館



99	華南三彩鉢				小値賀町歴史民俗資料館
100	黒褐釉四耳壺				小値賀町歴史民俗資料館
101	獅子像 (欠損)				小値賀町歴史民俗資料館
102	宋風獅子			12～13世紀	神島神社
103	白釉碗			明代中期	福建博物院
104	青花花卉紋碗			明代中期	福建博物院
105	青花花卉紋碗			明代	福建博物院
106	青花人物紋碗				福建博物院
107	青花花卉紋碗			明代	福建博物院
108	青花花卉紋碗			明代中期	福建博物院
109	青花梵文紋碗			明代	福建博物院
110	青花盤			明代中期	福建博物院
111	藍釉碗			明代	福建博物院
112	白釉五彩盤			明代	福建博物院
113	青花花卉紋杯			清代	福建博物院
114	青花山水紋杯			清代	福建博物院
115	青花魚藻紋杯			清代	福建博物院
116	青花八卦紋杯			清代	福建博物院
117	青花山水紋杯			清代	福建博物院
118	青花花鳥紋杯			清代	福建博物院
119	青花花蝶紋杯			清代	福建博物院
120	青花團花紋杯			清代	福建博物院
121	青花夔龍紋杯			清代	福建博物院
122	青花蓮花紋杯			清代	福建博物院
123	青花鞠球紋杯			清代	福建博物院
124	青花魚家樂紋杯			清代	福建博物院
125	青花五彩杯			清代	福建博物院
126	青花山石牡丹蓮瓣菱口盤			清代	福建博物院
127	青花漁家樂図小盤			清代	福建博物院
128	油滴天目茶碗	国指定重要文化財		宋代 (12～13世紀)	九州国立博物館
129	灰被天目 (毛利天目)			南宋・元時代 (13～14世紀)	静嘉堂文庫美術館
130	三彩唐草文五耳壺			明代 (16～17世紀)	東京国立博物館
131	五彩人物図大皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	東京国立博物館
132	五彩龍鳳文大皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	東京国立博物館
133	五彩牡丹鳳凰文皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	東京国立博物館
134	五彩方位帆船「近悦遠来」文盤 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	静嘉堂文庫美術館
135	五彩花鳥文大皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
136	五彩鳳凰文中皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
137	五彩邸宅文大皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
138	五彩「万古春」文大鉢 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
139	五彩鳥魚花籠文大鉢 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
140	青花南蛮船図大皿 (呉須染付)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
141	五彩印判手樓閣文大皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
142	五彩花鳥文皿 (呉須赤絵)			明代末 (17世紀)	Y Yコレクション
143	紅緑彩紋章大盤			明代末	福建博物院
144	紅緑彩鳳紋開光花卉大盤			明代末	福建博物院
145	紅緑彩魚藻紋大盤			明代末	福建博物院
146	蘭釉刻劃花卉紋三足炉			明代末	福建博物院
147	米色坐身米勒仏			明代	福建博物院
148	烏黒釉黄兔毫盞			宋代	福建博物院
149	烏金釉勉毫盞			宋代	福建博物院
150	烏金釉盞			宋代	福建博物院
151	黒釉醬斑碗	国家1級文物		宋代	福建博物院
152	青釉小蓋罐			明代	福建博物院
153	媽祖坐像	国家1級文物		明代	福建博物院
154	媽祖像及びその隨身	平戸市指定文化財		明代	川内観音寺
155	媽祖倚坐像			清代	福濟寺
156	唐館図絵巻		石崎融思	享和元年 (1801)	長崎歴史文化博物館
157	戚継光抗倭記念碑 (拓本)			明代	福建博物院
158	松浦隆信肖像画				松浦史料博物館
159	鄭森致部将甘輝関于澎湖練兵の手諭 (複製)				福建博物院
160	武備志		茅元儀 編纂	天啓元年 (1621)	松浦史料博物館
161	国姓爺伝		著 鄭亦鄒 / 校点 木村孔恭	明和3年 (1766)	松浦史料博物館
162	台湾鄭氏紀事		川口緑野	文政11年 (1828)	松浦史料博物館
163	火薬瓶			明代	福建博物院

164	「漳州軍餉」銀元			明代	福建博物院
166	西班牙銀幣			明代	福建博物院
167	西班牙銀幣			明代	福建博物院
168	西班牙銀幣			明代	福建博物院
169	西班牙銀幣			明代	福建博物院
170	西班牙銀幣			明代	福建博物院
171	鄭氏糸印			17世紀	松浦史料博物館
172	寬文長崎図屏風			17世紀末	長崎歷史文化博物館
173	唐船之図			18世紀	松浦史料博物館
174	隱元禪師画像		喜多道矩筆／ 隱元隆琦賛	17世紀	長崎歷史文化博物館
175	隱元禪師画像		喜多元規筆／ 蒲庵浄英賛	延宝元年（1673）賛	長崎歷史文化博物館
176	書幅 「三日耳聾似鉄山」		費隱通容	江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
177	書幅 「一聲吼哮翻銀漢」		隱元隆琦	江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
178	書幅 「獨坐雄峯當等間」		木庵性瑫	江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
179	隱元賀寿書画卷			順治8年（1651）	萬福寺
180	隱元隆琦尺牘 第一請啓復書			順治9年（1652）	萬福寺
181	列祖像		逸然性融筆／ 隱元隆琦賛	寬文8年（1668）賛	萬福寺
182	聖寿山図詩卷		永井元真筆 大衡海権題・ 詩 林道栄跋	宝永5年（1708）跋	長崎歷史文化博物館
183	林公琰府君絵像			江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
184	林道栄絵像			江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
185	劉一水絵像			江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
186	劉宣義絵像			江戸時代前期	長崎歷史文化博物館
188	当麻曼荼羅		独湛性瑩	江戸時代前期	観音寺
189	列祖図冊		陳賢筆／隱元 隆琦題	順治11年（1654）	萬福寺
190	嘗瓜菓羅漢図		陳賢	明代末	長崎歷史文化博物館
191	倚杖羅漢図		渡辺鶴洲	江戸時代後期	長崎歷史文化博物館
192	涅槃図		逸然性融	寬文7年（1667）	萬福寺
193	関聖帝君像		楊津筆／木庵 性瑫賛	清代	萬福寺
194	隻履達磨図		馬言筆／木庵 性瑫賛	清代	萬福寺
195	四時花鳥図		李一和	明代	萬福寺
196	福建劉建志三坊七巷剪紙			現代	福建博物院
197	漳浦陳秋日龍騰盛世剪紙			現代	福建博物院
198	漳浦陳秋日老鼠迎親剪紙			現代	福建博物院
199	漳浦陳秋日百猫図剪紙			現代	福建博物院

# 5. 展示図面



# 「長崎ゆかりの浮世絵・古写真 エキゾチックジャパンへの旅」

## 1. 展示概要

東洋と西洋の文化が行き交う江戸から明治期の長崎・横浜～東京を、浮世絵と古写真で紹介した展覧会。当館収蔵の野々上コレクションをはじめとする長崎版画と横浜絵、長崎大学附属図書館が所蔵する幕末古写真により、異国情緒豊かな日本の姿を感じて頂く。

開催期間：2013年1月1日(火)～3月17日(日)  
74日間 ※1月15日(火)・2月19日(火)

観覧料：大人700円(500円)・高校生以下無料

主催：長崎歴史文化博物館

共催：長崎大学附属図書館

特別協賛：JTB九州グループ

協賛：JR九州メンテナンス株式会社

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎浜市観光通商店街振興組合・長崎浜市商店街振興組合・長崎市新大工町商店街振興組合・長崎市中通り商店街振興組合・長崎市タクシー協会

総入場者数：13,145名(1日平均178名)



## 2. 展示構成

第1章 長崎は異国に通ず(第1・2室)

第2章 横浜は近代化に通ず(第3・4室)

## 3. 関連行事

### ○講演会

「イメージのなかのエキゾチズム」

日時：1月14日(祝・月) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：姫野順一氏(長崎大学附属図書館長・大学院教授)

参加者：68名



「長崎版画のひみつと中国」

日時：2月16日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：植松有希(当館研究員)

参加者：62名

「横浜絵にみる文明開化」

日時：3月9日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：山内勇輝(当館研究員)

参加者：24名

### ○ワークショップ

「長崎版画の摺師になろう」

日時：1月6日(日)・1月20日(日)・  
2月3日(日)・2月17日(日)  
14:00～15:00

会場：1階エントランス

対象：小学校～

参加費：100円

講師：小熊佐智子  
(当館研究員)

参加者：[1/6] 12名 [1/20] 3名 [2/3] 6名  
[2/17] 4名



「牛乳パックカメラで幕末のカメラマンになろう」

日時：3月9日(土) 10:00～12:00

会場：1階エントランス

対象：小学校4年生～

参加費：300円

講師：関裕典・一瀬勇士(当館研究員)

参加者：2名

#### 4. 展示リスト

	資料名	作者・撮影者・版元	所蔵先
1	瀬戸内海地図屏風	不詳	長崎歴史文化博物館
2	咸臨丸模型	不詳	長崎歴史文化博物館
3	肥前長崎丸山廓中之風景	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
4	肥前崎陽玉浦風景図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
5	長崎港之図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
6	長崎港之図	不詳	長崎歴史文化博物館
7	長崎港図	不詳	長崎歴史文化博物館
8	長崎花園十景	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
9	十人町よりの出島と長崎港	上野彦馬	長崎大学附属図書館
10	ドンの山から見た新地と出島	スチルフリード	長崎大学附属図書館
11	長崎港のパノラマ	玉村騎兵衛	長崎大学附属図書館
12	長崎港のパノラマ	玉村康三郎	長崎大学附属図書館
13	長崎市街と長崎港	A. ファサーリ	長崎大学附属図書館
14	丸山遊廓	不詳	長崎大学附属図書館
15	丸山遊廓	不詳	長崎大学附属図書館
16	絵葉書・長崎丸山遊廓	不詳	長崎歴史文化博物館
17	高鉾島	不詳	長崎大学附属図書館
18	高鉾島	スチルフリード	長崎大学附属図書館
19	高鉾島	不詳	長崎大学附属図書館
20	上級武士の家族（大村藩主一家）	上野彦馬	長崎大学附属図書館
21	長崎奉行（服部長門守常純）	F. ベアト	長崎大学附属図書館
22	椅子に掛ける武士及び脇士	不詳	長崎大学附属図書館
23	長崎のパノラマ	日下部金兵衛	長崎大学附属図書館
24	長崎のパノラマ	不詳	長崎大学附属図書館
25	長崎のパノラマ	不詳	長崎大学附属図書館
26	諏訪神社図	不詳	長崎歴史文化博物館
27	諏訪神社境内	不詳	長崎大学附属図書館
28	諏訪神社境内の茶屋	不詳	長崎大学附属図書館
29	諏訪公園の桜	不詳	長崎大学附属図書館
30	諏訪神社の青銅の馬	不詳	長崎大学附属図書館
31	諏訪神社の青銅馬	玉村康三郎	長崎大学附属図書館
32	諏訪神社の長坂	不詳	長崎大学附属図書館
33	飽の浦恵美須神社	内田九一	長崎大学附属図書館
34	聖福寺の大雄宝殿	不詳	長崎大学附属図書館
35	大音寺中門	上野彦馬	長崎大学附属図書館
36	大音寺	不詳	長崎大学附属図書館
37	興福寺境内	不詳	長崎大学附属図書館
38	崇福寺山門	不詳	長崎大学附属図書館
39	長崎清水寺	不詳	長崎大学附属図書館
40	福濟寺写真	不詳	長崎歴史文化博物館
41	悟真寺	不詳	長崎大学附属図書館
42	阿蘭陀人之図	不詳	長崎歴史文化博物館
43	阿蘭陀人	文錦堂	長崎歴史文化博物館
44	オランダジン	大和屋	長崎歴史文化博物館
45	紅毛人遠見之図	不詳	長崎歴史文化博物館
46	阿蘭陀人図	不詳	長崎歴史文化博物館
47	オランダ人立姿	大和屋	長崎歴史文化博物館
48	阿蘭陀人図	大和屋	長崎歴史文化博物館
49	紅毛人カピタン図並黒坊	不詳	長崎歴史文化博物館
50	阿蘭陀人黒坊戯并犬図	大和屋	長崎歴史文化博物館
51	オランダ人	不詳	長崎歴史文化博物館
52	阿蘭陀人男女図	不詳	長崎歴史文化博物館
53	オランダ人遠眼鏡	大和屋	長崎歴史文化博物館
54	阿蘭陀人・カルパ黒坊	不詳	長崎歴史文化博物館
55	阿蘭陀婦人の図	大和屋	長崎歴史文化博物館
56	オランダ婦人之図	大和屋	長崎歴史文化博物館
57	阿蘭陀女人	不詳	長崎歴史文化博物館
58	阿蘭陀船図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
59	阿蘭陀人読書図	不詳	長崎歴史文化博物館
60	阿蘭陀船入津之図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
61	阿蘭陀船図	竹寿軒	長崎歴史文化博物館
62	蘭船図	大和屋	長崎歴史文化博物館

63	阿蘭陀人巡見之図	不詳	長崎歴史文化博物館
64	阿蘭陀船図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
65	和蘭名医シーボルト	不詳	長崎歴史文化博物館
66	阿蘭陀船入津ノ図	大和屋	長崎歴史文化博物館
67	阿蘭陀船図	縄屋	長崎歴史文化博物館
68	阿蘭陀船図	不詳	長崎歴史文化博物館
69	三ヶ国人物之図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
70	阿蘭陀人食事之図	竹寿軒	長崎歴史文化博物館
71	唐人図	不詳	長崎歴史文化博物館
72	唐人二人図	不詳	長崎歴史文化博物館
73	唐美人	大和屋	長崎歴史文化博物館
74	大清人之図	竹寿軒	長崎歴史文化博物館
75	清人之図	不詳	長崎歴史文化博物館
76	唐人図	不詳	長崎歴史文化博物館
77	唐館部屋之図	大和屋	長崎歴史文化博物館
78	唐館書房之図	大和屋	長崎歴史文化博物館
79	雪中志学	不詳	長崎歴史文化博物館
80	婦人愛児纏錦之図	不詳	長崎歴史文化博物館
81	清人翫蘭図	耕寿堂	長崎歴史文化博物館
82	唐館交加遊女之図	大和屋	長崎歴史文化博物館
83	蛇踊囃方	文錦堂	長崎歴史文化博物館
84	菩薩揚	不詳	長崎歴史文化博物館
85	唐船図	縄屋	長崎歴史文化博物館
86	大清船之図	文錦堂	長崎歴史文化博物館
87	唐船	不詳	長崎歴史文化博物館
88	唐船	文錦堂	長崎歴史文化博物館
89	大清貨船	大和屋	長崎歴史文化博物館
90	唐船図	大和屋	長崎歴史文化博物館
91	オロシヤ人	不詳	長崎歴史文化博物館
92	ヲロシヤ人	文錦堂	長崎歴史文化博物館
93	魯西亜人	不詳	長崎歴史文化博物館
94	オロシヤ人之図	大和屋	長崎歴史文化博物館
95	蛮国人	不詳	長崎歴史文化博物館
96	ヲロシヤ人	不詳	長崎歴史文化博物館
97	オロシヤ士官	大和屋	長崎歴史文化博物館
98	ロシア軍隊上陸之図	不詳	長崎歴史文化博物館
99	ヲロシヤ船入津之図	今見屋	長崎歴史文化博物館
100	道中ハヤシ方行列之図	不詳	長崎歴史文化博物館
101	バツテイラ渡海之図	不詳	長崎歴史文化博物館
102	万国人物図	不詳	長崎歴史文化博物館
103	万国地図A (万国人物之図)	栄寿堂	長崎歴史文化博物館
104	万国地図B (世界万国日本ヨリ海上里数、王城人物図)	栄寿堂	長崎歴史文化博物館
105	カズワールス (火喰鳥)	文錦堂	長崎歴史文化博物館
106	駱駝図	不詳	長崎歴史文化博物館
107	上野彦馬使用写真機 (複製)	不詳	長崎歴史文化博物館
108	府県名所図会長崎県肥前長崎大浦	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
109	六十余州名所図會 長崎稲佐山図	歌川広重	長崎歴史文化博物館
110	長崎市内小曾根地域地割図 (写真)	不詳	長崎歴史文化博物館
111	長崎人力車貸銭図	不詳	長崎歴史文化博物館
112	長崎人力車貸銭図	不詳	長崎歴史文化博物館
113	絵葉書・人力車	不詳	長崎歴史文化博物館
114	露国皇太子ニコライ殿下俚上の写真	上野撮影局	長崎歴史文化博物館
115	諏訪公園と人力車に乗る女性たち	不詳	長崎大学附属図書館
116	トーマス・グラバー氏写真 01	上野彦馬	長崎歴史文化博物館
117	トーマス・グラバー氏写真	小川一真	長崎歴史文化博物館
118	若き日のトーマス・グラバー	A.F. ボードイン	長崎大学附属図書館
119	グラバー邸と庭園	不詳	長崎大学附属図書館
120	倉場富三郎氏邸写真	不詳	長崎歴史文化博物館
121	倉場富三郎氏邸写真	不詳	長崎歴史文化博物館
122	大浦海岸通り	小川一真	長崎大学附属図書館
123	大浦居留地	玉村康三郎	長崎大学附属図書館
124	南山手からの大浦居留地	内田九一	長崎大学附属図書館
125	出島の商館長邸横の日本庭園から大浦居留地方面を望む	不詳	長崎大学附属図書館
126	大浦海岸通り写真	清川武安	長崎歴史文化博物館
127	南山手からの大浦居留地	F. ベアト	長崎大学附属図書館

128	大浦海岸通り	未詳	長崎大学附属図書館
129	大浦居留地から見た大浦天主堂	F. ベアト	長崎大学附属図書館
130	南山手からの大浦居住地	不詳	長崎大学附属図書館
131	侍姿をしたボードイン兄弟	A.F. ボードイン	長崎大学附属図書館
132	ねずみ島のピクニック	F. ベアト	長崎大学附属図書館
133	礼装のボードイン博士	A.F. ボードイン	長崎大学附属図書館
134	小菅の造船所と長崎港	小川一真	長崎大学附属図書館
135	小菅船渠写真（ソロバンドック）1	不詳	長崎歴史文化博物館
136	小菅船渠写真（ソロバンドック）	不詳	長崎歴史文化博物館
137	長崎ホテル	不詳	長崎大学附属図書館
138	絵葉書・長崎ホテル	不詳	長崎歴史文化博物館
139	絵葉書・長崎ジャパンホテル	不詳	長崎歴史文化博物館
140	高島百間崎第三坑写真	薛 信二郎	長崎歴史文化博物館
141	高島炭鉱中ノ島裏手写真	薛 信二郎	長崎歴史文化博物館
142	高島炭鉱南洋井坑	不詳	長崎大学附属図書館
143	絵入名所横浜新図	歌川国鶴	長崎歴史文化博物館
144	東海道神奈川の勝景	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
145	神奈川横浜新開港図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
146	横浜海岸図会	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
147	神奈川横浜一覧	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
148	横浜売物図絵唐物店之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
149	横浜繁栄之図	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
150	横浜異人商館座敷之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
151	御開港横浜之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
152	横浜明細全図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
153	横浜港大棧橋（1）	小川一真	長崎大学附属図書館
154	横浜税関監視課庁舎と大棧橋	不詳	長崎大学附属図書館
155	横浜税関	不詳	長崎大学附属図書館
156	横浜元町百段と前田橋	不詳	長崎大学附属図書館
157	横浜港大棧橋	不詳	長崎大学附属図書館
158	横浜海岸通り	不詳	長崎大学附属図書館
159	横浜からの富士山（1）	不詳	長崎大学附属図書館
160	神奈川七軒町	不詳	長崎大学附属図書館
161	居留地の町並	不詳	長崎大学附属図書館
162	横浜本町通り（3）	不詳	長崎大学附属図書館
163	横浜市街地	不詳	長崎大学附属図書館
164	横浜元町百段からの関内居留地	不詳	長崎大学附属図書館
165	横浜運河沿いの居留地	不詳	長崎大学附属図書館
166	横浜居留地のパノラマ	不詳	長崎大学附属図書館
167	横浜市街地	不詳	長崎大学附属図書館
168	横浜居留地メインストリート	不詳	長崎大学附属図書館
169	弁天橋と横浜駅	小川一真	長崎大学附属図書館
170	フランス山からの横浜居留地	F. ベアト	長崎大学附属図書館
171	横浜海岸通之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
172	横浜海岸通り之真景	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
173	横浜交易西洋人荷物運送之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
174	横浜商館真図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
175	横浜異人商館売場之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
176	外国人商館内ノ図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
177	横浜港佛蘭西商館之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
178	横浜海岸各国商館図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
179	大調練之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
180	横浜海岸異人館之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
181	横浜吉田橋通繁昌之図井本町通弁天通外国館遠景	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
182	横浜商館並ニ弁天橋図	歌川国鶴	長崎歴史文化博物館
183	横浜本町海岸通り佛郎邸役館之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
184	横浜英吉利西商館繁栄図	歌川芳幾	長崎歴史文化博物館
185	横浜商館天主堂図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
186	横浜売物図絵之内横浜唐物店図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
187	亜墨利加之商人小樹之桜を求て大いに歓喜之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
188	紅毛渡り名鳥	歌川国員	長崎歴史文化博物館
189	写生猛虎之図	湯川周磨	長崎歴史文化博物館
190	鳥獸図会	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
191	猛虎之図	歌川芳富	長崎歴史文化博物館
192	色絵硝子製洋燈	不詳	長崎歴史文化博物館

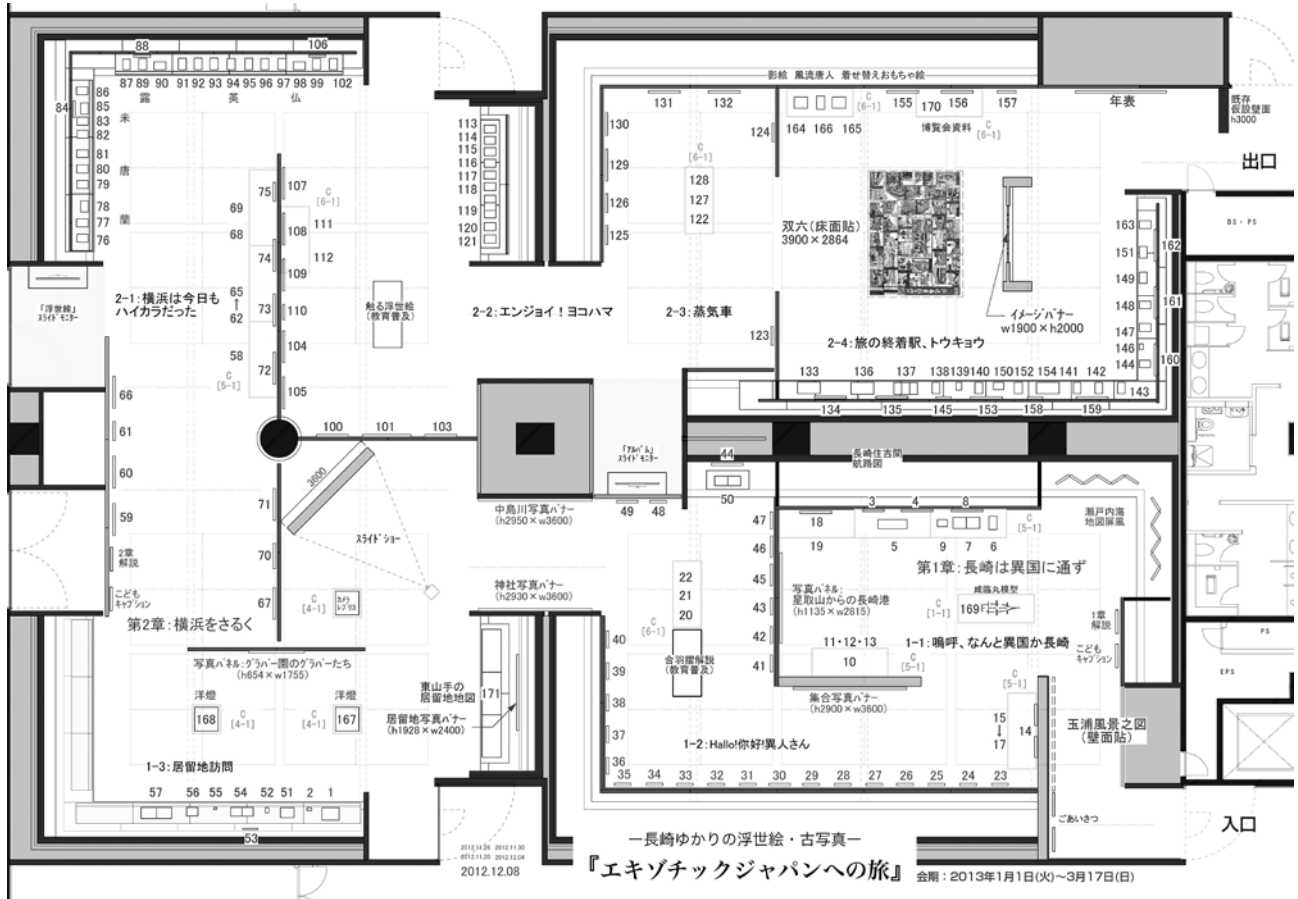
193	阿蘭陀船之図	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
194	魯西亜船	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
195	北亜墨利加船之図	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
196	生写異国人物 阿蘭陀婦人拳勝愛兒童之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
197	阿蘭陀	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
198	ワランダ	歌川芳富	長崎歴史文化博物館
199	五ヶ国之内 阿蘭陀人	歌川国久	長崎歴史文化博物館
200	生写異国人物図 清朝南京人感賞皇州扇之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
201	武州横浜八景之内朝市乃雪	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
202	生写 南京人之図	歌川芳富	長崎歴史文化博物館
203	ナンキン	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
204	清国人図	歌川国麿	長崎歴史文化博物館
205	清朝人	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
206	五ヶ国之内亜墨利加	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
207	亜墨利加人之図パン製ノカマト	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
208	アメリカ	歌川芳富	長崎歴史文化博物館
209	亜墨利加人	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
210	生写異国人物図亜墨利加女官翫板逐之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
211	亜墨利加	歌川芳信	長崎歴史文化博物館
212	生写異国人物図魯西亜人飼羅紗羊之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
213	魯西亜	歌川芳幾	長崎歴史文化博物館
214	魯西亜人	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
215	異人写真鏡之図ワロシヤ	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
216	魯西亜英吉利	歌川芳幾	長崎歴史文化博物館
217	魯西亜人之生写	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
218	横浜商家紅毛人書認之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
219	英吉利	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
220	万国尽英吉利人	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
221	英吉利人	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
222	英吉利人A	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
223	英吉利人B	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
224	五ヶ国人物図会英国婦人	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
225	いざりす人の図	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
226	英吉利国	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
227	生写異国人物図弘郎察小娘引犬散歩之図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
228	五ヶ国之内フランス	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
229	佛蘭西人之肖像	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
230	横浜商家異人之図フランス	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
231	佛郎西人	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
232	佛蘭西	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
233	外国人物尽亜墨利加・外国人物佛蘭西	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
234	亜墨利加 佛蘭西 南京	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
235	横浜休日 阿蘭陀人遊行	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
236	横浜休日 亜墨利加人遊行	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
237	横浜英商遊行イギリス人	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
238	イギリス人遊行ノ図	歌川芳豊	長崎歴史文化博物館
239	横浜休日 佛蘭西人馬遊行	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
240	横浜休日 魯西亜人遊行	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
241	外国人男女子供遊	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
242	外国子供遊戯之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
243	亜墨利加	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
244	ワロシヤ人遊行図	歌川芳藤	長崎歴史文化博物館
245	イギリス人清国南京遊行	歌川芳藤	長崎歴史文化博物館
246	清国南京人遊行横浜拳	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
247	武州横浜八景之内道行の遠鐘	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
248	異人獅々舞見物之図	歌川芳富	長崎歴史文化博物館
249	横浜誉勝負附	歌川芳藤	長崎歴史文化博物館
250	神奈川権現山外国人遊覧	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
251	佛蘭西大曲馬	歌川芳春	長崎歴史文化博物館
252	中天竺舶来之かるわざ横浜の地において興行之図	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
253	無題 (サーカス図)	長谷川園吉	長崎歴史文化博物館
254	諸国名勝尽競之内 佛蘭西把里須府	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
255	万国名勝尽競之内 魯西亜本都伯徳	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
256	北亜墨利加州	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
257	万国名勝尽競之内 大清南京府市坊	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館



258	亜墨利加賑之図	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
259	英吉利西竜道大港	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
260	横浜港崎廓岩亀楼異人遊興之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
261	横浜岩亀楼子供手踊之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
262	横浜港崎町廓中之正写	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
263	横浜本町景港崎街新郭	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
264	横浜岩亀見込之図	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
265	岩亀楼	二代歌川豊国	長崎歴史文化博物館
266	横浜廓中之図	歌川国周	長崎歴史文化博物館
267	武州横浜八景之内 岩亀楼秋の雨	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
268	亜墨利加人遊行酒盛	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
269	諸国名所百景武州横浜岩亀楼	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
270	岩亀楼	不詳	長崎大学附属図書館
271	神奈川七軒町の神風楼	不詳	長崎大学附属図書館
272	高島町新風楼	不詳	長崎大学附属図書館
273	横浜の住宅（神風楼）	不詳	長崎大学附属図書館
274	永楽町神風楼	不詳	長崎大学附属図書館
275	遊廓の女性たち	不詳	長崎大学附属図書館
276	五箇国人物行歩図	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
277	外国人どんたく遊らん行歩乃図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
278	横浜海岸鉄道蒸気車図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
279	横浜往返蒸気車全図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
280	横浜鉄道蒸気出車之図	歌川国政	長崎歴史文化博物館
281	横浜鉄道館蒸気車之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
282	横浜海岸鉄道之図	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
283	東京名所之内 新橋ステーション蒸気車鉄道図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
284	横浜蒸気車鉄道全図	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
285	鉄道馬車往復京橋煉瓦造ヨリ竹河岸図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
286	新橋鉄道蒸気車之図	歌川国政	長崎歴史文化博物館
287	東京名所之内吾妻橋新築之図	井上探景	長崎歴史文化博物館
288	横浜新海地高島町鉄道之真景	歌川豊重	長崎歴史文化博物館
289	東京名勝高輪ノ真景	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
290	東京両国通運会社 蒸気往復盛栄真景図	野澤定吉	長崎歴史文化博物館
291	東京名勝高輪鉄道之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
292	東京高輪品川口蒸気車往來之図	二代歌川豊国	長崎歴史文化博物館
293	九州鉄道時代の長崎駅	不詳	長崎歴史文化博物館
294	横浜停車場	不詳	長崎大学附属図書館
295	横浜停車場遠景	不詳	長崎大学附属図書館
296	島原鉄道 第一号機関車	中島写真館	長崎歴史文化博物館
297	蒸気機関車	不詳	長崎大学附属図書館
298	駅構内の蒸気機関車	不詳	長崎大学附属図書館
299	当せい車づくし	不詳	長崎歴史文化博物館
300	馬車船往來寿古録	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
301	かげ絵のりもの尽（武州版）	不詳	長崎歴史文化博物館
302	蒸気船全図海上浦賀風景	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
303	東京横浜往返蒸気船ノ図	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
304	亜墨利加国蒸気船中之図	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
305	亜墨利加国蒸気車往來	歌川芳員	長崎歴史文化博物館
306	東京於招魂社境馬図	一景	長崎歴史文化博物館
307	東京浅草観世音鏡内之図	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
308	東京神田神社祭礼之図	歌川芳藤	長崎歴史文化博物館
309	東京名所之内 石築万世橋盛景	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
310	東京名所之内両国橋大花火之真図	周春	長崎歴史文化博物館
311	久松町劇場久松座繁栄図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
312	東京第一名所永代橋之真景	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
313	新規造掛永代橋往來繁華佃海沖遠望之図	歌川国政	長崎歴史文化博物館
314	無題（明治役者見立絵）	二代歌川豊国	長崎歴史文化博物館
315	東京第一国立銀行五階之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
316	築地海軍英学寮ノ図	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
317	東京築地ホテル館	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
318	東京名所銀座通レングセキ商家繁栄之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
319	東京銀座通電気燈建設之図	野澤定吉	長崎歴史文化博物館
320	東京名所 従日本橋比之通瓦斯燈夜之景	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
321	東京名所の内築地の異人館	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
322	東京名所図会浅草あずまはしの景	歌川春暁	長崎歴史文化博物館

323	東京真景図会 あらめばしより江戸橋	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
324	東京真景図会向島土手の燈籠	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
325	東京開華名勝上野山内東照宮	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
326	東京名所宮城二重橋之図	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
327	東京名所ノ内よし原伸の町満花の図	幾英	長崎歴史文化博物館
328	東京名勝 清涼招魂社高燈籠	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
329	諸国名所百景東都高輪河岸	二代歌川広重	長崎歴史文化博物館
330	東京名所図会 銀座通り煉化石	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
331	東京名勝図会品川沖の黒ふね	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
332	東京横浜名所一覽図会横浜裁判所	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
333	東都八景之内 ASAKUSA	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
334	東都八景之内 NIHONBASHI	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
335	東京写真八景ばし銀座通	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
336	東京写真八景 する賀町三ツ井銀行	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
337	東京写真八景第一国立銀行	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
338	東都名所 王子エギリス	歌川芳盛	長崎歴史文化博物館
339	東都名所見物異人 神田明神内	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
340	東都名所見物異人両国橋	歌川貞秀	長崎歴史文化博物館
341	書画五拾三駅武蔵日本橋三ツ井組ハウス	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
342	東京三十六景築地ホテル館	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
343	東京名所之内築地海軍省風船上ヶ	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
344	東京名所之内吾妻橋真景	歌川国利	長崎歴史文化博物館
345	本所御蔵橋	小林清親	長崎歴史文化博物館
346	江戸橋夕暮富士	小林清親	長崎歴史文化博物館
347	浅草夜見世	小林清親	長崎歴史文化博物館
348	東京名所之内新富町新富座劇場の表	歌川国利	長崎歴史文化博物館
349	開化名所一覽神田めがね橋	不詳	長崎歴史文化博物館
350	東京名所撰浅草橋	歌川国利	長崎歴史文化博物館
351	浅草公園陵雲閣之図	歌川春暁	長崎歴史文化博物館
352	大日本帝国憲法発布式場之図	歌川国政	長崎歴史文化博物館
353	憲法発布上野賑	東洲勝月	長崎歴史文化博物館
354	大日本帝国国会仮議事堂之図	井上探景	長崎歴史文化博物館
355	国会会議図	橋本周延	長崎歴史文化博物館
356	憲法発布之際親兵式之図	歌川国利	長崎歴史文化博物館
357	駒場之風景	歌川芳虎	長崎歴史文化博物館
358	明治二十歳八月十九日日食九分九厘余	梅堂	長崎歴史文化博物館
359	(第一回)内国勸業博覧会美術館之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
360	第二回内国勸業博覧会場一覽之図	三代歌川広重	長崎歴史文化博物館
361	東京勸業場開業式之図	高斎	長崎歴史文化博物館
362	梅園唱歌図	橋本周延	長崎歴史文化博物館
363	第二回勸業博覧会内美術館噴水	小林清親	長崎歴史文化博物館
364	欧州管絃楽合奏之図	橋本周延	長崎歴史文化博物館
365	内国勸業博覧会龍紋賞牌	不詳	長崎歴史文化博物館
366	新板東京市街鉄道馬車振分双六	歌川国利	長崎歴史文化博物館
367	五人十身の働	歌川芳藤	長崎歴史文化博物館
368	無題 (着せかえおもちゃ絵)	歌川国輝	長崎歴史文化博物館
369	風流唐人の早かわり	歌川国芳	長崎歴史文化博物館
370	第3回内国勸業博覧会メダル	不詳	乃村工藝社
371	『帝国読本 卷之五』	不詳	乃村工藝社
372	『会場道志るべ』	不詳	乃村工藝社
373	『列品図録 一』(複製)	不詳	乃村工藝社
374	『風俗画報』	不詳	乃村工藝社

## 5. 展示図面



## 2 常設展

常設展示は、歴史文化展示、美術展示、工芸展示、奉行所復元展示で構成されている。2ヶ月ごとに展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。

### 歴史文化展示室

#### 1, 展示構成

- 1, 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～  
長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。16世紀後半が対象。
- 2, 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～  
対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。17世紀前半～19世紀が対象。
- 3, 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～  
世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。17世紀中頃が対象。
- 4, 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～  
唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。17世紀後半が対象。
- 5, 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～  
「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。18世紀が対象。
- 6, 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～  
流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。

#### 7, オランダとの交流～出島と蘭学～

長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。19世紀が対象。

#### 8, 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～

近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。19世紀中頃が対象。

#### 2, 主な展示資料

- 「南蛮人来朝之図」
- 「寛永長崎港図」
- 「狂言袴茶碗」
- 「唐館図絵巻 石崎融思筆」
- 「唐通事所用帽子・胸当」
- 「上野彦馬使用 写真機」



### 美術展示室

#### 春を待つ、夏を迎える花の絵画

##### 【展示概要】

花々の咲き誇る季節に合わせて、江戸時代の長崎で描かれた、華やかな花鳥画や花のある風景画を展示。

開催期間：4月1日(日)～6月18日(月)

総入場者数：19,117名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	花鳥図屏風	石崎元章	寛延4年(1751)	A1イ0181
2	梅花書屋図	石崎融思	弘化元年(1844)	A1イ0071
3	納涼図	石崎融思	天保13年(1842)	A1イ0203
4	花卉屏風	張秋毅	江戸時代中期	A1イ000
5	桜花花魁図	山口重春	江戸時代後期	絵(長崎)215
6	洋人散歩図	臯錦春	文政12年(1829)	A2ハ0002
7	蒼樹鷹鷄図	宋紫岡	江戸時代後期	A1イ0015
8	紫陽花図	張秋毅	江戸時代中期	A1イ0107
9	藤花図	鶴亭浄光	江戸時代中期	A1イ0139
10	桃花源図	木下逸雲	元治元年(1864)	絵(長崎)283
11	鯉跳龍門図	熊斐	江戸時代中期	絵(長崎)147
12	百鳥図巻	荒木元慶	江戸時代中期	A1イ0049
13	百蟲図巻	鄭倍	中国・清朝期	A1イ0117
14	年中行事絵 花見 宮詣で	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0060
15	年中行事絵 潮干狩	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0046
16	年中行事絵 諏訪社頭図	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0036

17	年中行事絵 田植え	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0072
18	扇面柳下鴨図	沈南蘋	中国・乾隆4年(1739)	A1イ0154
19	花鳥図	石崎融思	文政2年(1819)	A1イ0032
20	牡丹図	熊斐	江戸時代中期	絵(長崎)282
21	蘭図	鉄翁祖門	元治元年(1864)	絵(長崎)282

## 修復—よみがえった美と記録—

### 【展示概要】

博物館で取り組んでいる保存・修復活動について、実際に修復された資料をもとに紹介していきます。

開催期間：6月20日(水)～7月16日(月)

総入場者数：5,490名

	資料名	作者	制作年	形態	修理前状態	修復内容	資料番号
1	水呑虎図	山本若麟	江戸時代中期	掛け軸	折れ、シミ	表具裂けクリーニング・剥落止め	A1イ138
2	青緑山水図	梅泉	万延元年(1860)	掛け軸	未表装、折れ	表具新調・剥落止め	A1イ197
3	菖蒲図	三浦梧門		掛け軸	シミ	肌裏打ち・フォクシング	絵(長崎)501
4	風竹図	鶴亭筆	江戸時代中期	掛け軸	変色、折れ、シミ、虫損	虫損箇所の補修・裏打ち	絵(長崎)353
5	霊昭女図	貴漠源	中国・乾隆20年(1755)	掛け軸	虫損、剥落	肌裏打ち・剥落止め・折り伏せ・裂の新調	A1イ166
6	四芸図屏風	渡辺秀石	江戸時代前期	屏風	虫損、額の破損	虫損箇所の補彩	A1イ150
7	駿河湾より見た富士之景	司馬江漢	寛政元年(1789)	額	額装不備	額の新調・裂の変更	A2ハ40
8	潮干狩り図	川原慶賀	江戸時代後期	額	フォクシング	剥落止め・フォクシング除去	A2ハ46
9	宮参り	川原慶賀	江戸時代後期	額	シミ、亀裂	剥落止め・フォクシング除去	A2ハ74
10	増補蛮語箋 卷一、二			文書	水損、汚損、表紙劣化、泥の付着、題箋の破損	表紙は解体後染紙にて裏打ち・本文も裏打ち	12K-432-2
11	土佐三宅守家来 渡辺登一件吟味仕候趣申上候書付	大草安房守・佐々木三蔵	天保年間	文書	水損、固着、虫損甚大	裏打ち	12K-4146
12	和蘭文典前編 全	箕作阮甫/校	嘉永元年(1848)	文書	表紙汚損、スレ、虫損、本文は虫損少々	表紙は解体後染紙にて裏打ち	12K-22-1-2
13	長崎町乙名手控		文化年間	文書	汚損、虫損少々、折れ	裏打ち	13K-5815
14	武鑑断簡			文書	水損、汚損、カビ、固着	解体後裏打ち・表紙づけ	13K-5816
15	諫早家御家系図			文書	水損、汚損、虫損	虫損箇所の繕い・裏打ち	13K-5818
16	異端堀川學家			文書	虫損	部分修理	聖堂120-5
17	鼎左秘録	西川国華	嘉永5年(1852)刊	文書	水損、汚損、虫損	裏打ち	中西家旧蔵資料

## 撮る！見る！感じる！彦馬の写真

### 【展示概要】

上野彦馬が文久2年(1862)、中島川畔に上野撮影局を開業して150年を記念し、人物肖像から長崎の風景・伝統行事・工場まで、長崎から全国に広がっ

た写真の世界を紹介。

開催期間：7月18日(水)～9月17日(月・祝)

総入場者数：23,584名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	河童図屏風	芥川龍之介	大正11年(1922)	市博 絵(日本)8
2	河童供養帖	菊池寛・芥川比呂志ほか	昭和9～42年(1934～67)	市博 絵(日本)9～19
3	長崎市街写真	上野撮影局		県書18 38-3 11
4	中島川よりのぞむ上野彦馬邸	上野撮影局	明治初期	県書18 38-2 6-1
5	上野彦馬邸正門	上野撮影局	明治初期	県書18 38-3 19
6	薛写真館		大正3年(1914)10月6日撮影	県書18 981
7	中島川の大水	上野撮影局	明治初期	市博 写真 H85
8	蓮田	上野撮影局	明治31～34年(1898～1901)頃	市博 写真 H90
9	本紺屋町のくんち行列	上野撮影局	明治24年(1891)	市博 写真 H19
10	上野彦馬	上野撮影局	明治初期	市博 写真 J161
11	鳩山春子	上野撮影局	明治20年(1887)頃か	市博 写真 G25
12	鳩山和夫	上野撮影局	明治19年(1886)	市博 写真 G32
13	長崎県令 石田英吉	上野撮影局	明治24～25年(1891～92)頃	市博 写真 H11
14	朝鮮国官人 金玉均	上野撮影局	明治14年(1881)	市博 写真 G21

15	福島安正少佐	上野撮影局	明治26年(1893)	市博 写真 H79
16	清朝海軍提督 丁汝昌	上野撮影局	明治24～25年(1891～92)頃	市博 写真 H15
17	ロシア国皇太子 ニコライ	上野撮影局	明治24年(1891)5月	市博 写真 H217
18	長崎県令 内海忠勝	上野撮影局	明治18～19年(1885～86)頃	市博 写真 H121
19	芸妓 桃太郎	上野撮影局		市博 写真 J1
20	少年	上野撮影局	明治17～18年(1884～85)頃	市博 写真 J131
21	少女	上野撮影局	明治30～31年(1897～98)頃	市博 写真 H109
22	グラバー	上野撮影局	明治34年(1901)頃	県書 170 4-1
23	彦馬義妹 上野もり	上野撮影局	明治25年(1892)頃	市博 写真 H103
24	椅子の女性	上野撮影局	明治25～26年(1892～93)頃	市博 写真 J94
25	初代長崎県知事 日下義雄	上野撮影局		市博 写真 G28
26	少年	上野撮影局	明治25～26年(1892～93)頃	市博 写真 J272
27	グラバー	上野撮影局	明治31～34年(1898～1901)頃	県書 18 170-2
28	椅子の女性	上野撮影局	明治18～19年(1885～86)頃	市博 写真 H111
29	幼児	上野撮影局	明治8年(1875)5月11日	市博 写真 J325
30	集合写真	上野撮影局	明治2～5年(1869～72)頃	市博 写真 J171
31	集合写真	上野撮影局	明治18～19年(1885～86)頃	県書へ 18 256
32	集合写真	上野撮影局	明治24～25年(1891～92)頃	市博 写真 H123
33	男性	上野撮影局	明治16年(1883)頃	市博 写真 204
34	上野彦馬	上野撮影局		市博 写真 J161
35	集合写真	上野撮影局	明治22～23年(1889～90)頃	市博 写真 H156
36	集合写真	上野撮影局		市博 写真 J372
37	上野彦馬と男性	上野撮影局		県書 18 38-3 16
38	上野彦馬	上野撮影局	明治2～5年(1869～72)頃	市博 写真 J405
39	男性	上野撮影局	明治29～30年(1896～97)頃	市博 写真 J148
40	楠本慎助	上野撮影局		市博 写真 H115
41	椅子の女性	上野撮影局	明治27～28年(1894～95)頃	市博 写真 J209
42	椅子の女性	上野撮影局	明治25～26年(1892～93)頃	市博 写真 J3
43	グラバー	上野撮影局	明治31～34年(1898～1901)頃	県書 18 170-1
44	二人の男性	上野撮影局	明治20～22年(1887～89)頃	市博 写真 J324
45	ロシア海軍軍人	上野撮影局	明治29～30年(1896～97)頃	市博 写真 H230
46	男性	上野撮影局		市博 写真 H13
47	集合写真	上野撮影局		県書 18 7
48	二人の女性	上野撮影局		市博 写真 A12-90
49	上野彦馬使用 携帯用暗室		江戸～明治時代	美博 F口 0001-002
50	彦馬使用 写真機(複製)			
51	彦馬使用 種板(複製)			
52	少女と少年	上野撮影局	明治18～19年(1885～86)頃	市博 写真 J129
53	岩崎彌之助	上野撮影局		市博 写真 G20





## くunch三七八年展

### 【展示概要】

寛永11年(1634)にはじまった長崎の秋の大祭・くunchについて、実際に使用されていた豪華絢爛な傘鉾垂や衣裳、貴重な写真や絵はがきを中心に紹介。

開催期間：9月19日(水)～10月15日(月)

総入場者数：13,525名



	資料名	作者名	年代	資料番号
1	諏訪神事御供道行之図		享保年間(1716～1735)頃	美博 A1イ156
2	長崎諏訪祭礼図屏風(複製)		江戸時代中期	
3	諏訪祭礼図巻		江戸時代中期	市博 くunch12
4	寄合町旧蔵傘鉾垂		大正時代	市博 くunch18
5	本籠町傘鉾垂(部分)		文化年間(1804～1818)	市博 くunch19
6	長崎祭礼紺屋町引物図	林基春	明治30年(1897)	市博 版(長崎)32
7	みゆきの先とも		明治14年(1881)	市博 くunch3
8	刺繍入獅子舞唐子衣裳		大正～昭和期	市博 くunch23
9	江戸町くunch奉納踊用軍服		弘化3年(1846)頃	市博 くunch26
10	江戸町くunch奉納踊用軍帽			市博 くunch38
11	本大工町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	県書18_38-3_4
12	本大工町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_24
13	本大工町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	市博 絵葉書(長崎)112
14	本大工町奉納記念写真		昭和9年(1934)撮影	市博 写真E53
15	今博多町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	市博 写真H22
16	今博多町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_25
17	今博多町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	市博 絵葉書(長崎)116
18	今博多町奉納踊 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_51
19	本紺屋町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	市博 写真H19
20	本紺屋町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_26
21	本紺屋町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	市博 絵葉書(長崎)121
22	本紺屋町奉納踊 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_52
23	今魚町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	市博 写真H26
24	今魚町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_27
25	今魚町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_48
26	今魚町奉納踊 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_53
27	本籠町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_28
28	本籠町龍踊 絵葉書		昭和4年(1929)10月	市博 絵葉書(長崎)166
29	材木町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	市博 写真H23
30	材木町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_29
31	古町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_30
32	古町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_49
33	古町奉納踊 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_54
34	上筑後町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_31
35	江戸町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_32
36	江戸町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	市博 絵葉書(長崎)81
37	江戸町奉納踊 絵葉書		昭和9年(1934)10月	市博 絵葉書(長崎)61
38	本興善町くunch行列 写真	上野撮影局	明治24年(1891)撮影	市博 写真H25
39	本興善町傘鉾 絵葉書		大正9年(1920)10月	県書18_1124_33
40	本興善町傘鉾 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_50
41	本興善町奉納踊 絵葉書		昭和2年(1927)10月	県書18_1124_55
42	寄合町傘鉾 絵葉書		大正15年(1926)10月	市博 絵葉書(長崎)80
43	丸山町傘鉾 絵葉書		大正14年(1925)10月	市博 絵葉書(長崎)151
44	船津町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_34
45	本博多町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_35
46	樺島町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_36
47	平戸町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_37
48	八幡町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_38
49	麴屋町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_39
50	万屋町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_40
51	西濱町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_1124_41
52	銀屋町傘鉾 絵葉書		大正11年(1922)10月	県書18_11217_15
53	諏訪町傘鉾 写真	清河写真館		市博 写真H29

54	油屋町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 1329
55	下筑後町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 1324
56	今籠町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 1327
57	鍛冶屋町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 105
58	東中町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 85
59	豊後町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 1322
60	本下町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 1328
61	外浦町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 120
62	万歳町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 102
63	西中町傘鉾 絵葉書		大正 13 年 (1924) 10 月	市博 絵葉書 (長崎) 84

## 新収蔵資料展

### 【展示概要】

長崎の歴史文化を後世に守り伝えるために開館以来購入・寄贈された絵画、工芸品、歴史資料を公開する展示。

開催期間：10月17日(水)～12月17日(月)

総入場者数：24,872名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	人の一生 腹帯・出産	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0073
2	人の一生 宮参り(1)	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0074
3	人の一生 見合い	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0075
4	人の一生 祝言の段取り	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0076
5	人の一生 結納	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0077
6	人の一生 祝言	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0078
7	人の一生 病臥	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0079
8	人の一生 死去	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0080
9	人の一生 葬列	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0081
10	人の一生 葬列の迎え	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0082
11	人の一生 墓穴掘	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0083
12	人の一生 送り火	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0084
13	鷹匠図	作者不詳 程赤城賛	江戸時代後期	A2ハ0086
14	鷹匠図	荒木如元	江戸時代後期	A2ハ0085
15	参考出品 鷹匠図	若杉五十八	寛政3年(1791)	A2ハ0052
16	参考出品 蘭人鷹狩図	荒木如元	江戸時代後期	絵(長崎)38
17	吉雄耕牛所蔵蒔絵香篋筒	—	江戸時代中期	Dチ0079
18	長崎青貝 ライティングボックス	—	江戸時代後期	Dホ0062
19	南蛮漆器 草花文螺鈿小洋櫃	—	安土桃山時代～江戸時代初期	Dホ0063
20	和時計	崎陽紀重	江戸時代後期	Dチ0077
21	懐中時計	—	19世紀	Dチ0078
22	虎図	渡辺秀詮	江戸時代後期	A1ロ0111
23	双鯉図	広渡湖秀筆 程赤城賛	江戸時代後期	A1イ0227
24	三月節句雛図	広渡桂州	江戸時代後期	A1イ0228
25	梅図	王克三	元治元年(1864)	A1ロ0112
26	竹図	鉄翁祖門	江戸時代後期	A1ロ0113
27	竹石図	三浦梧門	嘉永5年(1852)	A1ロ0114
28	不老長春図	小曾根乾堂	明治11年(1878)	A1イ0229
30	七言詩	頼山陽	江戸時代後期	A1ロ0115
31	五言詩	田能村竹田	江戸時代後期	A1ロ0116
32	山水図	箕田韭白	平成11年(1999)	A1ロ0118
33	対州焼・志賀窯 鉄絵網干船文片口	—	江戸時代後期	Dハa1084
34	亀山焼 染付秋草文船徳利	—	江戸時代後期	Dハa1085
35	三川内焼 染付松鷹文水指	—	明治時代	Dハa1086
36	長与三彩漆押箱飛雲紋花入	—	江戸時代後期	Dハa1087
37	木下逸雲珍藏煎茶道具	—	江戸時代後期	Dチ0076
38	亀山焼 染付百鶴文甕	—	江戸時代後期	Dハa1091
39	亀山焼 染付牡丹文壺	—	江戸時代後期	Dハa1090
40	参考出品 唐蘭館絵巻(蘭館)	川原慶賀	江戸時代後期	絵(長崎)42-1



## めでたい！福を招くお正月の絵画

### 【展示概要】

川原慶賀による長崎の年中行事絵、正月に飾られた鶴図や七福神など、新年を迎えるめでたい絵画を紹介する。

開催期間：12月19日(水)～1月14日(月・祝)

総入場者数：2,365名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	双鶴図	沈南蘋	乾隆23年(1758)	A1イ0220
2	梅花双鶴図	熊斐	江戸時代中期	A1イ0009
3	松二鶴図	宋紫石	安永4年(1775)	A1イ0131
4	双鶴之図	渡辺鶴州	文政6年(1823)	A1イ0025
5	松竹梅双鶴図	河村若元	江戸時代中期	A1イ0035
6	梅花鶴図	山本若麟	江戸時代中期	A1イ0171
7	白磁蛇形置物	平戸・三川内焼	明治時代	Dハa0565
8	七福神図	村田鶴臯	江戸時代後期	A1イ0101
9	大黒天図刺繍	任岡重之	江戸時代後期	布(日本)51
10	宝珠図	木下逸雲	江戸時代後期	A1ロ0111
11	書幅(大吉)	中林梧竹	明治時代末期	書(日本)29
12	年中行事絵 餅搗き図	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0054
13	年中行事絵 正月図	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0037
14	年中行事絵 正月図	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0055
15	年中行事絵 花見 宮詣で	川原慶賀	江戸時代後期	A2ハ0060
16	平安福寿図	荒木如元	江戸時代後期	A2ハ0005
17	日之出に山羊図	片山楊谷	江戸時代中期	A1イ0089
18	富嶽図	石川孟高	寛政年間(1789～95年頃)	A2ハ0053
19	三番叟図	土佐光芳	江戸時代中期	絵(日本)55
20	三番叟図	原南嶺斎	江戸時代後期	絵(長崎)128
21	唐子嬉遊図屏風	作者不詳	江戸時代	A1イ0070
22	倣沈銓花鳥図屏風	石崎元章	寛延4年(1751)	A1イ0181

## 長崎の名所案内

### 【展示概要】

江戸時代の旅を通じた長崎のイメージ風景を、長崎の人々・旅行者、そして異国への視線から紹介。

開催期間：1月16日(水)～3月18日(月)

総入場者数：11,877名

	作品名	作者名/版元名	制作年代	資料番号
1	長崎図屏風(複製:神戸市博)			
2	出島阿蘭陀屋舗景図	長崎勝山町豊嶋屋文治右衛門板	江戸時代後期	版(長崎)54
3	長崎土産	嶋原金捨著	延宝9年(1681)	13 215 1
4	長崎夜話草	西川正休	享保5年(1720)	13 33-1
5	長崎虫眼鏡	江原某 富士屋長兵衛板行	元禄17年(1704)刊行	13 1899-1
6	長崎聞見録	廣川翫	寛政12年(1800)刊行	13 332-2
7	増補華夷通商考	西川如見	宝永5年(1708)	17 420
8	長崎土産 弘化版	磯野信春	弘化4年(1847)	13 214-1 3
9	長崎拾芥		元禄2年(1689)	テ 13 141-1
10	西遊旅譚	司馬江漢	寛政7年(1795)	13 106-2 3-2
11	長崎港之図	司馬江漢	江戸時代後期	A2ハ0006
12	錦帯橋	司馬江漢	寛政5年(1793)	A2ハ0038
13	出島海岸	司馬江漢	江戸時代後期	A2ハ0044
14	長崎古今集覧名勝図絵	石崎融思	天保12年(1841)序	絵(長崎)142
15	長崎古今集覧	松浦東溪編	文化8年(1811)	13 4-1
16	長崎名勝図絵 稿本			210 59-1
17	瓊浦華蘭進港図	石崎融思	江戸時代後期	絵(長崎)34
18	長崎港図	石崎融思	江戸時代後期	絵(長崎)437
19	唐船入津丸荷役之図	石崎融思	文化元年(1804)	A1イ0111
20	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	A3ハ0066
21	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	A3ハ0066
22	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	A3ハ0066
23	書卷(林道栄)	林道栄	江戸時代前期	書(長崎)253
24	崎陽十二景	石崎融思	江戸時代後期	絵(長崎)9
25	長崎芸妓図	荒木君瞻	江戸時代後期	絵(長崎)49
26	美人図	梅香堂可敬	江戸時代後期	絵(長崎)221
27	花魁図	木下逸雲	江戸時代後期	絵(長崎)445
28	長崎花魁図	西湖	江戸時代後期	絵(長崎)87

29	花月蘭人図	岡田春燈斎	江戸時代後期	版（日本）26
30	諸国遊所大見立	岡田春燈斎	江戸時代後期	版（日本）30
31	遊女図	真村蘆江	江戸時代後期	絵（長崎）230

## 石造弥勒如来坐像及び銅矛展示

### 【展示概要】

「平成24年度考古資料相互活用促進事業」に係る奈良国立博物館所蔵の壱岐市鉢形峯出土「石造弥勒如来坐像」及び対馬市黒島遺跡出土の銅矛3点を「里帰り展示」として特別公開。展示場所は、美術展示室に至る廊下。とくに石造弥勒如来坐像は、1071年（延久3年）に壱岐国司佐伯良孝が天台宗僧侶の教因を願主として肥後仏師の慶因に造らせたことが銘文に記されたもので、現在国の重要文化財指定をうけている。

開催期間：10月17日（水）～10月31日（水）

総入場者数：5,237名

### 奉行所展示室

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。



### 1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらまし・・・長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務・・・行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。

犯科帳の世界・・・長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行・・・127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示・・・長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた資料を中心に紹介。



長崎奉行所立山役所〈再現〉・・・復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

## 2. 主な展示資料

### 〈館蔵資料〉

	資料名	年代	資料番号	備考
1	Fascicvlvs e Iapponicis Floribvs（カルデウム日本殉教精華）A.F.Cardim（カルデウム）著	1646年	県図2329	
2	異宗一件書類 長崎奉行所公事掛	慶応3年（1867）	県図B）11 23-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
3	異宗一件 岡部駿河守（長崎奉行）	万延元年（1860）9月	県図B）11 24-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
4	異宗徒信仰之もの改心證文 長崎奉行所	慶応3年（1867）9月	県図B）11 25-2 2	国重要文化財「長崎奉行所文書」
5	異宗信仰之者人別改帳 聖徳寺	明治元年（1868）	県図B）11 51	国重要文化財「長崎奉行所文書」
6	誓文之事 勝五郎	天明3年（1783）11月25日	県図B）11 171-1 72	国重要文化財「長崎奉行所文書」
7	浦上村家野郷利助人形被取揚候一件	寛政7年（1795）2月8日	県図B）11 171-1 117	国重要文化財「長崎奉行所文書」
8	NIPPON（日本）Ph.Fr.von・Siebold（シーボルト）著	1832年-1882年	県図	
9	Les Martyrs du Japon（日本の殉教者たち）Jacques Callot（ジャック カロ）著	1628年	県美博Fイ0153	
10	桶屋町中家持借屋宗旨改踏絵帳 桶屋町乙名藤清左衛門著	寛保3年（1743）正月	県図 藤ト11 1-1 1	
11	きりしたんころび書物之事 正保2年 西勝寺原蔵の写し		県図11 113-2	
12	キリシタン制札 奉行発令	正徳元年（1711）	市博歴史 法制2	
13	キリシタン制札 太政官発令	慶応4年（1868）	市博歴史 法制1	

〈東京国立博物館所蔵資料〉

	資料名	個数	資料番号	備考
1	キリスト像	1 個	C-589	国重要文化財
2	聖母像	1 個	C-590	国重要文化財
3	小天使像	2 個	C-592	国重要文化財
4	マリア観音像	1 個	C-601	国重要文化財
5	マリア観音像	1 個	C-606	国重要文化財
6	マリア観音像	1 個	C-613	国重要文化財
7	マリア観音像	1 個	C-621	国重要文化財
8	マリア観音像	1 個	C-628	国重要文化財
9	マリア観音像	1 個	C-634	国重要文化財
10	観音菩薩坐像	1 個	C-638	国重要文化財
11	観音菩薩坐像	1 個	C-642	国重要文化財
12	観音菩薩坐像	1 個	C-654	国重要文化財
13	観音菩薩坐像	1 個	C-655	国重要文化財
14	観音菩薩坐像	1 個	C-656	国重要文化財
15	観音菩薩坐像	1 個	C-657	国重要文化財
16	観音菩薩坐像	1 個	C-668	国重要文化財
17	聖女像	1 面	C-694	国重要文化財
18	銅牌（無原罪の聖母像）	1 個	C-706	国重要文化財
19	鉛牌（無原罪の聖母像）	1 個	C-709	国重要文化財
20	銅牌（ピエタ）	1 個	C-710	国重要文化財
21	板踏絵（無原罪の聖母）	1 枚	C-712	国重要文化財
22	板踏絵（聖母子像〈ロザリオの聖母〉）	1 枚	C-714	国重要文化財
23	真鍮踏絵、キリスト像（エッケ・ホモ）	1 枚	C-727	国重要文化財
24	真鍮踏絵、聖母子像（ロザリオの聖母）	1 枚	C-721	国重要文化財
25	ロザリオ	1 連	C-746	国重要文化財
26	ロザリオ	1 連	C-749	国重要文化財
27	ロザリオ	1 連	C-765	国重要文化財
28	ロザリオ	1 連	C-773	国重要文化財
29	ロザリオ	1 連	C-776	国重要文化財
30	ロザリオ	1 連	C-800	国重要文化財
31	ロザリオ	1 連	C-819	国重要文化財
32	ロザリオ	1 連	C-820	国重要文化財
33	ロザリオ	1 連	C-826	国重要文化財
34	ロザリオ	1 連	C-827	国重要文化財
35	残決	2 連	C-854	国重要文化財
36	十字架	1 個（27 個の内）	C-857	
37	十字架	1 個（9 個の内）	C-859	
38	十字架	1 個（3 個の内）	C-879	
39	十字架	1 個（5 個の内）	C-892	
40	十字架	1 個（5 個の内）	C-894	
41	十字架	1 個（3 個の内）	C-895	
42	十字架	1 個（6 個の内）	C-896	
43	十字架	1 個（9 個の内）	C-898	
44	十字架	1 個	C-906	
45	十字架	1 個（9 個の内）	C-910	
46	十字架	1 個（9 個の内）	C-911	
47	十字架	1 個	C-912	
48	メダイ	1 個（11 個の内）	C-917	
49	メダイ	1 個（14 個の内）	C-921	
50	メダイ	1 個（8 個の内）	C-924	
51	メダイ	1 個（2 個の内）	C-925	
52	メダイ	1 個	C-926	
53	メダイ	1 個	C-939	
54	メダイ	1 個（7 個の内）	C-959	
55	メダイ	1 個	C-962	
56	メダイ	1 個	C-964	
57	メダイ	1 個	C-985	国重要文化財
58	守裂、図版 no462	1 点	C-1001	国重要文化財
59	守裂、図版 no467	1 点	C-1001	国重要文化財
60	守裂、図版 no468	1 点	C-1001	国重要文化財
61	守裂、図版 no469	1 点	C-1001	国重要文化財
62	板踏絵、キリスト像〈エッケ・ホモ〉	1 面	C-1003	国重要文化財

63	真鍮踏絵、キリスト像（十字架上のキリスト）	1 枚	C-1010	国重要文化財
64	メダイ	1 個（2 個の内）	C-1040	
65	メダイ（福知山城内発掘）	1 個	C-1061	
66	メダイ（福知山城内発掘）	1 個	C-1063	
67	ロザリオ（福知山城内発掘）	1 連	C-1069	
68	守裂、図版 no490	1 点	C-1084	国重要文化財
69	守裂、図版 no492	1 点	C-1084	国重要文化財
70	守裂、図版 no494	1 点	C-1084	国重要文化財
71	守裂、図版 no508	1 点	C-1084	国重要文化財
72	守裂、図版 no509	1 点	C-1084	国重要文化財
73	守裂、図版 no511	1 点	C-1084	国重要文化財
74	聖母子像	1 個	C-1112	

## 1 長崎学調査研究プロジェクト

### 1) 目的

海外との交流により発展してきた長崎県の歴史や文化について、長崎市をはじめとする県内全域に関する調査研究を、今までの調査研究体制をより体系化させながら、ローカルかつグローバルな視点から国内外の研究者、機関、団体等と連携・共同して推進する。これらの活動を通して、これまでの長崎学の調査研究の成果を継承、発展させるとともに、長崎の歴史・文化の研究と普及、地域の活性化に資する長崎学の調査研究の拠点化をはかる。

- 博物館を拠点にした長崎学研究の充実と学術的研究成果の創出・発信を目指す。
- これまでの長崎学研究体制をより強化し、体系化した組織づくりを目指し、「ミュージアム県長崎」の中核博物館としての機能を充実させる。
- 有期（前期・後期、各3年間）で3テーマを設定し、それに基づく具体的な研究活動を展開する。
- 「進化する博物館」として、プロジェクト研究の発展的成果を創出する。
- 研究環境を充実し、研究者にとって魅力ある研究体制づくりを目指す。

### 2) 長崎学調査研究プロジェクト構想

#### ①長崎学の理念

近世長崎における海外交流の歴史は、古代から中世にかけて県下全域で展開されてきた海外交流の歴史が現長崎市で集大成されたものと位置づけ、これを前提に、研究対象エリアを、現在の長崎市を軸にした県下全域と東アジア世界、さらにはオランダを中心とするヨーロッパ世界とする。

また近世長崎は、江戸・京都・大坂の3都市に次ぐ発展をみせた海港都市としての性格を持ち、長崎で花開いた特異な文化を日本国内に向けて発信していた。この近世都市としての性格とその延長にある近代長崎の魅力、さらにそこで育まれた豊かな文化史の研究も長崎学研究の基本柱として拠点化をはかる。とくに館蔵品約4万8千点に及ぶコレクション研究により、新たな長崎学の充実を図る。

#### ②調査研究推進体制（コレクション研究、地域研究、展示教育研究）

長崎学研究の具体的な取り組みを3テーマに集約する。ただし、本年からの指定管理期間5年間の前期・後期に分け、前期は本年から3年間の研究期間とする。ただし、前期の最終年度は後期の新たなプロジェクトテーマと併行して進めるものとする。

#### 【前期プロジェクトテーマ「長崎県と東アジア世界（福建省）」】

〔テーマ設定の背景〕

日中国交正常化40周年および長崎県－福建省友好都市30周年を2012年にひかえ、また2010年福建省博物院と本館との友好館協定締結を受け、福建省との交流史を軸に東アジア世界と長崎県全域との交流史を研究テーマに設定する。

〔研究テーマ〕・・・2011年から3年間の前期テーマ  
コレクション研究部会・・・博物館コレクションのなかの交流史

地域研究部会・・・長崎－福建の地域史研究（都市史、文化史）

展示教育研究部会・・・異文化交流の実践（展示実践）

〔期 間〕3年間の継続プロジェクト

〔部 会〕3テーマごとに部会設置

#### ■平成24年度 各部会の活動

##### ア) コレクション研究部会

〔研究テーマ〕

- ・当館収蔵コレクションのうち、特に中国との交流を中心とした作品、資料調査、研究を行う。コレクションの体系的な管理・修復・保存・公開にまつわる研究、館外コレクションの調査をも含む。

〔組織〕

リーダー：植松有希

サブ：越中勇

研究員：久保憲司・関裕典・富川敦子

客員研究員：錦織亮介（福岡市美術館館長 黄檗文化）

共同研究員：若木太一（長崎大学名誉教授 近世文学）

織田毅（シーボルト記念館館長）  
石尾和貴（長崎県文化振興課主事）

〔成果〕

当館収蔵コレクションと黄檗文化を中心とする館外コレクションの調査・研究成果を、福建博物院展の展示や研究紀要として公開した。また、お絵像など当館収蔵コレクションの修復を重点的に行った。

イ) 地域研究部会

〔研究テーマ〕

・長崎と福建を、東アジア世界における一つの地域圏として捉え直し、「国境」を越えた異文化交流のあり方を研究。2010年度に交流提携を結んだ福建省福建博物院と連携して本年度に開催の「中国福建博物院展」にその成果を生かす。

〔組織〕

リーダー：深瀬公一郎

サブ：岡本健一郎

客員研究員：藤田明良（天理大学教授 中世・近世アジア史）

共同研究員：久家孝史（松浦史料博物館学芸員）、塚原博（小値賀町立歴史民俗資料館）、川口洋平（長崎県世界遺産登録推進室）、松下久子（長崎県文化振興課主任学芸員）

〔成果〕

「中国福建博物院展」において、長崎と福建省との関係を示す資料や県内の中国関係資料を一般公開した。合わせて、県内博物館と連携した展示及び普及活動を展開した。

ウ) 展示教育研究部会

〔研究テーマ〕

・中国（福建省）との歴史的・文化的交流の様相を博物館という場を通じて人々に紹介する異文化理解（自文化理解）教育プログラムの開発と実践に関わる研究。  
・地域博物館の活性化のための地域社会との連携組織「郷土史クラブ」の育成・支援モデルの構築とその活動成果の波及と定着に関する実践研究。

〔組織〕

リーダー：下田幹子

サブ：小熊佐智子

研究員：一瀬勇士

研究プロジェクト協力者：太田歩（国立歴史民俗博物館専門職員）

共同研究：梅林一城（南島原市立飯野小学校教諭）  
加藤謙一（金沢美術工芸大学美術工芸研究所主任学芸員）

加藤尊城（長崎市立深堀小学校教諭）  
松川憲毅（大村市教育委員会学芸員）  
山下和秀（大村市教育委員会学芸員）  
山口保彦（長崎県文化振興課課長補佐）

〔成果〕

「中国福建博物院展」における教育プログラム・教育ツールの開発と実践を行った。また展覧会の成果を反映した移動博物館を県内の博物館と連携し、開催した。

■平成24年度文化庁助成金事業報告

平成24年度文化芸術振興費補助金（ミュージアム活性化支援事業）

事業名：「中国福建博物院展の開催と連動させた地域博物館活性化事業」

○事業内容

1. 国際交流拠点形成事業

(1) 特別展開催に伴う担当者交渉

実施日：7月16日～7月20日

訪問先：福建博物院

調査者：深瀬公一郎（長崎歴史文化博物館主任研究員）、

久保憲司（長崎歴史文化博物館研究員）

内容：特別展「中国福建博物院展」の開催に伴い、展示作業・関連催事・資料借用等に関わる担当者レベルの最終の直接的な協議をおこなった。これにより借用資料の最終確認・借用日程・借用料支払い等について打ち合わせることができた。

(2) 特別展「中国福建博物院展」開催

会期：10月6日～11月30日

会場：長崎歴史文化博物館

来場者数：19,604名

内容：福建博物院に収蔵されている中国福建省の至宝を紹介するとともに、近年注目を集めている水中考古学の成果や県内外の博物館施設が所蔵する文化財を通じて、福建省と長崎の歴史、さらには日中交流の歴史を紹介する展示をおこなった。「第1章 福建博物院の至宝」では、福建博物院の収蔵資料を通じて福建の歴史文化の特徴を紹介した。「第2章 海のタイムカプセル沈没船」では、福建省と長崎県の海の交流、特に沈没船の調査を紹介した。また、小値賀島の海底からは、「天目茶碗」や「鉛



のインゴット」が発見され福建だけでなく東南アジアとの交流も示した。「第3章 日本に伝世する名宝」では、沈没船から引き揚げられた貿易品（陶磁器）のうち、日本で伝世するものを紹介した。「第4章 福建省と長崎県を繋ぐ人々」では、16世紀～17世紀にかけて長崎県各地に形成された唐人町（チャイナタウン）と鄭成功、隠元の2人を紹介した。

#### ①中国福建博物院展開幕式への招へい

実施日：10月4日～10月6日

訪問先：長崎歴史文化博物館

招へい者：呉志躍（福建博物院院長）

樊俊嬌（福建博物院館員）

華鋒林（福建博物院考古研究所副所長）

内 容：中国福建博物院展及び開会式を開催するのにもない、福建博物院側の代表として呉志躍（福建博物院院長）ら3名を招へいし、開会式においてあいさつをお願いした。

#### ②クーリエ招へい（展示状態確認作業）

実施日：10月14日～10月19日

訪問先：長崎歴史文化博物館

招へい者：樊万春（福建博物院積翠園芸術館館長）

孫静（福建博物院典藏研究部副研究員）

馬林荷（福建博物院人事教育科副研究員）

内 容：中国福建博物院展を開催するのにもない、資料の状態確認・展示の立ち合いのために招へいした。展示状況および資料の状態確認作業をおこなった。

#### ③公開フォーラムの開催に伴う招へい

実施日：11月1日～11月5日

訪問先：長崎歴史文化博物館

招へい者：陳兆善（福建博物院考古研究所研究員）

陳邵龍（福建博物院《福建文博》編集部主任 研究員）

内 容：公開フォーラムの開催に伴い、研究発表及びパネルディスカッションのパネリストとして招へいした。

#### ④クーリエ招へい（展示撤収・資料状態確認作業）

実施日：11月29日～12月4日

訪問先：長崎歴史文化博物館

招へい者：邱新宇（福建博物院典藏研究部副主任

館員）

原媛（福建博物院宣教部助理館員）

王乾坤（福建博物院自然部 館員）

内 容：中国福建博物院展の展示撤収・資料の状態確認・輸送の立ち合いとして招へいした。展示最終日に展示状況の確認、閉幕後の撤収作業において資料の状態確認作業をおこなった。

#### (3) 公開フォーラムの開催

実施日：11月4日

場 所：長崎歴史文化博物館ホール

参加者：45人

内 容：福建博物院から陳兆善氏、陳邵龍氏、県内外の博物館関係者や研究者を招き、市民を対象とした公開フォーラムを開催した。中国福建博物院展の担当者毎に展示内容・コンセプトを発表した後、福建博物院の両名が展示にも関連する茶に関する研究成果の報告をおこなった。前半の内容を踏まえ、中国と日本の博物館における展示についての比較等をテーマにパネルディスカッションもおこなった。

## 2. 地域文化資源活用事業

#### (1) 資料調査

実施日：6月26日～6月28日

調査先：小値賀町歴史民俗資料館

調査者：岡本健一郎（長崎歴史文化博物館研究員）

内 容：小値賀町歴史民俗資料館において、小値賀町近海で沈んだ中国の貿易船からの遺物調査をおこなった。12～13世紀に福建省の同安窯龍泉窯等で生産された陶磁器や神島神社に奉納された神宝等海外交流の関わりを示す資料があり、これらの中国福建博物院展への出品の内諾を得られた。

#### (2) 資料調査

実施日：7月12日～7月13日

調査先：松浦市立鷹島歴史民俗資料館

調査者：山内勇輝（長崎歴史文化博物館研究員）

内 容：松浦市立鷹島歴史民俗資料館において、鷹島神崎港周辺から引き上げられた13世紀の元寇関係資料の調査をおこなった。海底調査により、元軍が使用した武器、兵士の日用品や信仰対象物などが発見されており、元寇や長崎と

中国の歴史を知る貴重な資料である。これら資料借用の協議をおこない、中国福建博物院展への出品についての内諾を得られた。

### (3) 資料調査

実施日：7月12日～7月13日

調査先：松浦史料博物館

調査者：岡本健一郎（長崎歴史文化博物館研究員）

内容：松浦史料博物館において、鄭成功に関する資料調査をおこなった。鄭成功は平戸出身であり、松浦史料博物館には鄭氏糸印や台湾鄭氏紀事など父鄭芝龍や鄭成功に関係する資料が所蔵されており、中国福建博物院展への出品についての内諾を得られた。

### (4) 特別展「中国福建博物院展」図録製作

発行日：10月6日

発行数：1,000冊

内容：中国福建博物院展の出展作品を紹介するとともに、県内博物館施設とその地域の文化財情報等を「長崎県内の中国・福建ゆかりの場所」として収録し、地域の文化資源に関わる情報発信をおこなった。「長崎県内の中国・福建ゆかりの場所」に関しては、パネルにして展覧会会場や出張展示等の際に展示公開した。

## 3. 地域連携強化事業

### (1) 中国福建博物院展の見学バス支援プログラム

実施日・学校名・参加者数：

- |          |           |     |
|----------|-----------|-----|
| ① 10月11日 | 松浦市立福島小学校 | 29名 |
| ② 10月12日 | 松浦市立御厨小学校 | 26名 |
| ③ 10月17日 | 平戸市立平戸小学校 | 94名 |
| ④ 10月18日 | 平戸市立度島中学校 | 41名 |
| ⑤ 10月25日 | 松浦市立大崎小学校 | 52名 |

- |          |            |            |
|----------|------------|------------|
| ⑥ 10月30日 | 平戸市立大島中学校  | 49名        |
| ⑦ 11月7日  | 平戸市立中野中学校  | 45名        |
| ⑧ 11月14日 | 長崎日本大学中学校  | 186名       |
| ⑨ 11月15日 | 長崎県立小浜高等学校 | 312名       |
| ⑩ 11月30日 | 長崎市立滑石中学校  | 191名       |
|          | 計          | 10校 1,025名 |

対象：長崎県内の小中高生

内容：地域の博物館施設を活用した地域史学習活動である「郷土史クラブ」活動の一環として、長崎県内の小中高等学校の児童・生徒を対象に貸し切りバスを使って中国福建博物院展の見学機会を提供するプログラムを実施した。

### (2) 中国福建博物院展と地域博物館をつなぎ、親しむ出張展示

実施日・会場・見学者数：

- |               |                 |        |
|---------------|-----------------|--------|
| ① 11月10日      | 長崎県立小浜高等学校      | 100名   |
| ② 1月12日～1月14日 | 小値賀町歴史民俗資料館     | 101名   |
| ③ 1月26日       | 鷹島スポーツ・文化交流センター | 400名   |
| ④ 2月9日～2月11日  | 壱岐市立一支国博物館      | 243名   |
| ⑤ 2月10日～2月18日 | 長崎歴史文化博物館       | 3,972名 |
| ⑥ 3月7日～3月20日  | 大村市立史料館         | 211名   |
|               | 計               | 5,027名 |

対象：長崎県内の小中高生を中心とする子ども、保護者、学校関係者等

内容：中国福建博物院展の内容を紹介するパネル展示や体験展示、見学プログラムを通じて生まれた子どもたちの成果の展示を各地の博物館施設、学校等でおこなった。

## 2 調査研究活動

### 1) 個別調査・研究

絵葉書、上野彦馬撮影古写真などの高精細画像を撮影し、長崎くんちなどの行事や写真の活用と伝播について調査研究を進めている。これまで十分把握できていなかった関係資料の把握が進み、新たな知見が期待できる。

### 2) 調査・研究成果の公表

『研究紀要』第7号

高玄岱自筆卷子本『心田菴記』について

若木太一（長崎大学名誉教授）

日本におけるキリシタン墓碑の様相 大石一久  
木下逸雲年譜および来船清人との交友 植松有希



知事交代記録にみる明治期長崎県の諸問題

岡本健一郎

近世長崎における「東京造御船」の絵図面

深瀬公一郎

### 3) 館外活動

大石一久

#### ○委員

- ・大村市文化財審議員
- ・大村市史編纂・編集委員
- ・佐賀県鹿島市文化財審議員
- ・大分県臼杵市内キリシタン遺跡調査指導委員

#### ○執筆

- ・「日本におけるキリシタン墓碑の様相」(2012年度日本考古学協会)
- ・「鹿島・筒口の中世石塔群」(鹿島市教育委員会)
- ・『日本石造物辞典(長崎県・佐賀県)』(岩波書店)など

#### ○講師

- ・10月20日 日本考古学協会福岡大会講演「日本におけるキリシタン墓碑の様相」
- ・11月17日 西南学院大学博物館特別展講演「キリシタン墓碑の様相とその意義」
- ・12月1日 大分県臼杵市講演会「キリシタンによる中世石塔の破壊と転用」
- ・大村市PTA総会講演「豊かな感性を育む」など

越中勇

#### ○委員

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員

深瀬公一郎

#### ○講師

- ・長崎市中央公民館 秋の講座「幕末長崎ゆかりの人々」
- ・長崎県立大学佐世保校非常勤講師

岡本健一郎

#### ○講師

- ・長崎市中央公民館 秋の講座「幕末長崎ゆかりの人々」
- ・長崎県ミュージアム連携促進事業実務者研修「魅力ある展示について」
- ・放送大学長崎学習センター面接授業 専門科目「人間と文化」
- ・長崎県立大学佐世保校「日本史概説」「日本史特論」非常勤講師

#### ○研修参加

- ・平成24年度歴史民俗資料館等専門職員研修会

(文化庁)

植松有希

#### ○外部資金による調査研究

- ・国文学研究資料館「共同研究「語り物文芸の絵画化と享受環境に関する基礎的研究—〈曾我物語〉を題材とする絵入本・絵巻・屏風の考察を中心として」

#### ○研修参加

- ・「第8回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー」(文化庁)9月10日～14日

#### ○講師

- ・長崎県立大学シーボルト校「日本美術史」非常勤講師

関裕典

#### ○研修参加

- ・「市民と共に ミュージアム IPM」事業における愛知県美術館、国立民族学博物館見学・調査(九州国立博物館)1月22日～24日

竹内有理

#### ○講師

- ・放送大学(ラジオ)「博物館経営論」客員准教授
- ・考古学ミュージアム主催講演会「博物館の学びを考える」鹿児島国際大学 12月8日

#### ○執筆

- ・分担執筆『博物館学Ⅱ－博物館展示論・博物館教育論－』(大堀哲・水嶋英治編著)学文社 2012年12月
- ・分担執筆『博物館経営論』放送大学教育振興会 2013年3月

#### ○委員等

- ・全日本博物館学会役員

#### ○研修参加

- ・全日本博物館学会2012年度総会・第38回研究大会 明治大学 6月16日(土)、17日(日)
- ・国際シンポジウム「人文系と自然系博物館の教育連携」(主催:日本博物館協会・日本動物園水族館協会他)西南学院大学コミュニティセンター 10月31日
- ・国際シンポジウム「博物館展示と地域活性化」(主催:日本展示学会)国立民族学博物館 2012年11月17日
- ・第4回研究会講演会「MLA 連携について考える～イギリスの事例に学ぶ～」(主催:全日本博物館学会)東京国立近代美術館 2月16日

下田幹子

#### ○研修参加

### 3 資料修理修復事業

平成24年度に修復した美術資料は11点。企画展「福建博物院展」で展覧する作品を中心に修復を行った。

資料番号	作品名	員数	作者	時代	修復仕様
1 県図書 小曾根 3-1-1-2	長崎市内 小曾根地域地割図 南山手居留地図	1幅	不詳	明治時代	絵図の装丁形式の変更をできるだけしないように応急的修理を施す。上下軸を外し、表具は解体せず糊離れの糊差しを行い、新規に総裏打ちを行う。絵具部分は3～5%の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。元の紙箱を再利用する。
2 市博 絵（長崎）69	布袋渡河図	1幅	河村若芝	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による擦損箇所の補綴。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具中縁と天地の裂は似寄りの裂に新調する。軸首は元軸を再利用する。桐太巻添箱と包装を新調する（元箱に墨書がある蓋は新調の箱の中に収納保管する）。
3 県美博 Cイ0098	書屏風（柳吐千岐 葉云々）	6曲 1双	北島雪山	江戸時代	解体は行わず曲げ込み部分の糊離れは応急処置で糊差しを行う。大縁の無地金箔の損傷箇所は補彩する。黒塗縁の損傷箇所は黒色顔料により補彩する。
4 市博 画像（長崎）43	林道栄肖像	1幅	不詳	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による虫損箇所の補綴。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具中縁と天地の裂は似寄りの裂に新調する。軸首は初代2代官梅絵像と同じとする。桐太巻添箱と包装を新調する。元箱はそのままで保存を行う。
5 市博 画像（長崎）20	要徹院一水劉公八 府君絵像	1幅	不詳	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による虫損箇所の補綴。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具は元軸を再利用する。ただし天地の無地裂は損傷が甚だしく似寄りの裂に新調する。軸首は初代と道栄と同じとする。桐太巻添箱と包装を新調する。元箱はそのままで保存する。福建展前に展示に耐えうる応急処置を行い、終了後に本格修理を行う。
6 市博 画像（長崎）38	初祖林公琰府君御 絵像	1幅	不詳	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による補綴。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具中縁と天地の裂は似寄りの裂に新調する。軸首は再利用する。桐太巻添箱と包装を新調する。
7 市博 画像（長崎）44	初代官梅三十郎画 像	1幅	不詳	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による虫損箇所の補綴。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具は元軸を再利用する。ただし天地の無地裂は損傷が甚だしく似寄りの裂に新調する。軸首は初代と道栄と同じとする。桐太巻添箱と包装を新調する。元箱はそのままで保存する。福建展前に展示に耐えうる応急処置を行い、終了後に本格修理を行う。
8 市博 画像（長崎）45	二代官梅三十郎画 像	1幅	不詳	江戸時代	横折れを無くすために旧裏打紙の除去。似寄の補修による擦損箇所の補綴（シミの除去は難しい）。絵の具の剥落止めを行う。折れた箇所・表具中縁と天地の裂は似寄りの裂に新調する。軸首は元軸を再利用する。桐太巻添箱と包装を新調する。
9 市博 絵（長崎）175	ジャバ人物図	1幅		江戸時代	現在の形を変えないように表具の各部の紙の修理。再利用を行う折れそうな箇所に折り伏せを入れて補強する。絵の具の剥落止めを行う。軸首は元軸を再利用する。桐太巻添箱と包装を新調する。
10 県美博Dイ 1,10,11,16,18,19, 20,23	刀	8振			研磨
11 市博 刀剣1～ 10	刀剣	10振			研磨

平成 24 年度に修復した古文書資料は 348 点。

- ・長崎県資料 313 点
- ・長崎市資料 35 点

修理については、劣化がひどいものは裏打ち、軽微なものは部分修理を実施し、できる限り資料の原型維持に努めた。

〈長崎県資料〉

	資料名	資料番号	丁数	修復内容
1	旅中船中異変之控	近世青方家文書	68	湿損のため虫喰いで板状固着、虫喰甚大のため裏打ち処置
2	嘉永新分地帳	近世青方家文書	63	湿損のため虫喰いで板状固着、虫喰甚大のため裏打ち処置
3	覚書貞享三年	近世青方家文書	9	湿損のため虫喰いで板状固着、虫喰甚大のため裏打ち処置
4	長崎諸役人寺社山伏	中西 14 10	53	再製本の為解体して、手紙をつけて裁断後綴じた
5	[ 船荷取引御用留 ]	渡辺 17 128 2	284	汚れの部分が欠け落ちるので、洗浄。
6	改正増補蛮語箋	中西 12 3 2	77	水害被災資料で汚損、腐損、カビ被害、洗浄後裏打ち処置
7	改正増補長崎年表 卷一 長崎市役所	中西 13 15	69	表紙の虫喰い。本紙は折り目が切れている箇所と部分的な虫喰い
8	窓篤児業性論 卷十	中西家旧蔵資料	41	水害被災資料で汚損、腐損、板状固着、洗浄後裏打ち処置
9	借用申証文之事 文化二年丑十二月廿八日	17K 2616	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
10	証文之事 文化二年丑十二月	17K 2617	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
11	覚 文化四年卯十二月十九日	17K 2618	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
12	売渡申証文之事 文化五年辰十二月	17K 2619 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理、包み紙は裏打ち
13	譲渡申屋家鋪地所之事 文政十二年丑十二月 日	17K 2619 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
14	一札之事 文化六年巳九月	17K 2620	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
15	証文之事 文化七年午二月	17K 2621 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
16	証文之事 文化七年午五月 日	17K 2621 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
17	売渡証文之事 文化八年未二月 日	17K 2621 3	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理、包み紙は裏打ち
18	一札之事 文化八年未七月六日	17K 2622	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
19	[ 田畑面積書上 ] 文化八年未二月以降	17K 2623	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
20	永代譲渡証文之事 文化九年申十二月	17K 2624	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
21	借用仕証文之事 文化九年申八月	17K 2625 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
22	譲渡申証文之事 文政元年卯十二月 日	17K 2625 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理、包み紙は裏打ち
23	覚 文政十一子七月	17K 2626 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
24	預り覚 子十二月廿三日	17K 2626 2	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し
25	覚 戌十月十九日	17K 2626 3	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し
26	覚 亥三月四日	17K 2626 4	1 通	部分修理
27	覚 寅三月卅日	17K 2626 5	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し
28	目録覚 寅五月廿八日	17K 2626 6	1 通	部分修理
29	譲渡申証文之事 文政十二年丑十二月	17K 2627	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いと劣化のため裏打ち処置
30	借用申証文之事 文政十三年寅五月	17K 2628	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
31	添証文之事 文政十三年寅十一月 日	17K 2629	1 通	部分修理
32	差出申一札之事 天保二年卯二月	17K 2630	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いのため裏打ち処置
33	借用申証文之事 天保三年卯六月	17K 2631	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
34	譲渡申証文之事 天保二年卯十二月	17K 2632	1 通	虫喰いのため裏打ち処置
35	借用申証文之事 天保三年辰六月	17K 2633 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
36	差出申一札之事 安政二年卯十二月	17K 2633 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
37	借用申証文之事 天保五年午十二月十六日	17K 2634 1	1 通	本紙、包み紙共に濡れしみがひどいので染み抜き
38	預申一札之事 天保五年十二月十九日	17K 2634 2	1 通	本紙、包み紙共に濡れしみがひどいので染み抜き
39	船売渡申一札之事 天保六年未正月十四日	17K 2635 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
40	覚 記入なし	17K 2635 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
41	預り覚 申三月十四	17K 2636 1	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
42	預り覚 天保七年申六月	17K 2636 2	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
43	覚 天保七年申六月廿二日	17K 2637	1 通	上包みの虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
44	借用仕一札之事 天保七申三月七日	17K 2638	1 通	本紙はシミ取り後、部分修理。包み紙は裏打ち処置
45	預り覚 天保八酉十二月	17K 2639 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
46	覚 戌十二月廿九日	17K 2639 2	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いと劣化のため裏打ち処置
47	預覚 (天保八) 酉十二月廿五日	17K 2640	1 通	水濡れによる劣化、シミ取り後、喰い裂き紙にて部分修理
48	借家証文之事 天保八年酉十二月	17K 2641	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
49	借用一札之事 天保八年酉四月十五日	17K 2642 1	1 通	本紙、包み紙の水濡れによるシミ汚れを落とす
50	預り覚 未四月九日	17K 2642 2	1 通	本紙、包み紙の水濡れによるシミ汚れを落とす
51	譲渡申一札之事 天保八年酉十一月	17K 2643	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
52	借用申一札之事 天保九年戌十二月 日	17K 2644	1 通	紙質良好。部分修理
53	譲渡申証文之事 天保九年戌三月	17K 2645 1	1 通	包み紙のみ部分修理
54	添証文之事 天保九年戌六月	17K 2645 2	1 通	包み紙のみ部分修理
55	添証文之事 天保十年亥八月	17K 2645 3	1 通	包み紙のみ部分修理
56	取替申一札之事 天保十四年卯十一月	17K 2645 4	1 通	包み紙の虫喰いは喰い裂き紙にて繕い修理
57	添証文之事 天保九年戌十一月二日	17K 2646 1	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いと劣化のため裏打ち処置
58	添証文之事 子三月	17K 2646 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理

59	譲渡申一札之事 天保九年戌八月 日	17K 2647	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
60	[書状] [天保十亥年]	17K 2648	1 通	虫喰い穴が多いが、食い裂き紙で繕い修理継ぎ目に糊差し
61	手形覚 天保十年亥十月	17K 2649 1	1 通	包み紙のみ部分修理
62	預り覚 亥三月廿日	17K 2649 2	1 通	包み紙のみ部分修理、シワのぼし
63	預り覚 天保十一年子十二月朔日	17K 2650 1	1 通	包み紙のみ部分修理、シミ落とし
64	預り覚 午五月廿七日	17K 2650 2	1 通	包み紙のみ部分修理
65	譲渡申証文之事 天保十一子八月	17K 2651	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
66	譲渡申証文之事 天保十一子十一月	17K 2652 1	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
67	借用申証文之事 天保十三年寅十二月	17K 2652 2	1 通	包み紙は破損のため裏打ち処置
68	添証文之事 天保十三年寅十二月	17K 2653	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いと劣化のため裏打ち処置
69	手形覚 弘化二年巳九月	17K 2654	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
70	[船津文右衛門講会日] 弘化三年午七月十八日	17K 2655	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
71	借請取手形之事 弘化四年未十一月	17K 2656	1 通	汚れ、シミ取り
72	譲渡申一札之事 嘉永元年申十二月 日	17K 2657	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
73	田地借作一札之事 嘉永二年酉三月	17K 2658 1	1 通	包み紙のシミ取りと虫喰い穴の繕い修理
74	譲渡申田地証文之事 嘉永二年酉三月	17K 2658 2	1 通	包み紙のシミ取りと虫喰い穴の繕い修理
75	取替約定証文之事 嘉永二年酉三月八月	17K 2659	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
76	取替約定証文之事	17K 2660 1	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
77	[密蔵家屋敷出入書付] 嘉永二年酉三月八日	17K 2660 2	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
78	売渡申船之事 嘉永三年戌十二月	17K 2661 1	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
79	売渡申船之事 嘉永三年戌十二月	17K 2661 2	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
80	船借手形之事 戌十二月二日	17K 2661 3	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
81	借用申証文之事 嘉永三年戌三月 日	17K 2662	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
82	添証文之事 嘉永三年戌三月 日	17K 2663	1 通	シミ取り後部分修理
83	譲渡申証文之事 嘉永三年戌十一月	17K 2664	1 通	包み紙のシミ取りと虫喰い穴の繕い修理
84	差上申一札之事 嘉永四年亥十二月	17K 2665 1	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
85	差上申一札之事 不明	17K 2665 2	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理と染み抜き
86	借用証文之事 嘉永四年亥十二月	17K 2666 1	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
87	借用申一札之事 安政三年辰十二月 日	17K 2666 2-1	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
88	借用申証文之事 安政三年辰十二月	17K 2666 2-2	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
89	借用申証文之事 安政六年未十二月	17K 2666 3	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
90	借用申一札之事 嘉永四年亥十月七日	17K 2667	1 通	本紙、包み紙共に汚れ落とし
91	畑質証文之事 嘉永四年亥十二月	17K 2668 1	1 通	本紙は虫喰い穴の繕い修理。包み紙は虫喰いひどく繕い修理
92	譲渡申一札之事 嘉永四年亥十二月	17K 2668 2	1 通	本紙は虫喰い穴の繕い修理。包み紙は虫喰いひどく繕い修理
93	預り覚 嘉永五年子閏二月十九日	17K 2669	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
94	一札之事 安政二年卯八月日	17K 2670 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
95	借用申証文之事 安政二年卯十二月日	17K 2670 2	1 通	包み紙のみ汚れを落とした後、虫喰い穴の繕い修理
96	借受申一札之事 安政四年巳閏五月	17K 2670 3	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
97	借請申一札之事 安政五年午極月	17K 2670 4	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
98	借受申一札之事 安政六年未四月	17K 2670 5	1 通	包み紙は虫喰いと劣化の為裏打ち処置
99	覚 安政六年未十二月	17K 2670 6	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差しをした
100	借用申証文之事 安政四年巳極月	17K 2671	1 通	本紙はシミぬき、包み紙はシミと破れのため裏打ち処置
101	差出し申一札之事 安政五年午二月	17K 2672 1	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
102	借用申証文之事 安政五年午二月	17K 2672 2	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
103	借用申一札之事 安政五年午七月	17K 2672 3	1 通	包み紙が濡れしみ。シミ取り後部分修理
104	借用申一札之事 安政五年午七月	17K 2673	1 通	本紙、包み紙は部分修理
105	譲渡申証文之事 安政六年未十二月 日	17K 2674	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
106	借用申一札之事 万延元年申十月	17K 2675	1 通	本紙は部分修理。包み紙は虫喰いと劣化のため裏打ち処置
107	売渡申一札之事 文久三年亥二月	17K 2676	1 通	包み紙の弱った箇所のみ修理
108	差上申一札之事 慶応三年卯五月	17K 2677	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し。包み紙は汚れ落とし後繕い修理
109	差出し申一札之事 慶応三年卯五月朔日	17K 2678	1 通	虫喰いがひどいので裏打ち処置
110	預り 十二月廿九日	17K 2679 1	1 通	包み紙が濡れしみのためシミ落とし
111	預り覚 丑十二月廿七日	17K 2679 2	1 通	本紙の濡れシミ落とし
112	覚 卯六月九日	17K 2679 3	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差しをした
113	覚 十二月廿六日	17K 2679 4	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差しをした
114	覚 九月十一日	17K 2679 5	1 通	本紙の濡れシミ落とし
115	覚 午八月廿五日	17K 2679 6	1 通	本紙の濡れシミ落とし、継ぎ目の糊浮きには糊差し
116	覚 辰三月十二日	17K 2679 7	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差しをした
117	覚 七月七日	17K 2679 8	1 通	本紙の濡れシミ落とし、継ぎ目の糊浮きには糊差し
118	預り覚 未四月九日	17K 2680	1 通	本紙の濡れシミ落とし
119	預り覚 亥十月十五日	17K 2681	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し。包み紙は汚れ落とし後部分修理

120	預り覚 寅三月廿六日	17K 2682	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
121	預り覚 子二月十九日	17K 2683	1 通	本紙の濡れシミ落としと部分修理
122	預り申一札之事 記入なし	17K 2684 1	1 通	本紙の濡れシミ落としと部分修理
123	覚 巳五月	17K 2684 2	1 通	本紙の濡れシミ落としとシワを伸ばす
124	覚 巳九月十二日	17K 2684 3	1 通	本紙の濡れシミ落とし、継ぎ目の糊浮きには糊差し
125	預り申金子之事 寅四月七日	17K 2685	1 通	本紙、包み紙共に虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
126	預申銭之事 亥十月五日	17K 2686	1 通	本紙の濡れシミ落とし
127	壺札 辰極月	17K 2687	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
128	一札之事 未六月廿一日	17K 2688	1 通	本紙、包み紙共にシミ取り後虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
129	上	17K 2689	1 通	汚れと劣化のためシミ取り後裏打ち処置
130	受取覚 亥正月十一日	17K 2690 1	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
131	覚 亥正月廿九日	17K 2690 2	1 通	本紙、包み紙共にシミ取り後虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
132	売仕切 巳三月十九日	17K 2691	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
131	売附羽書之事 巳九月十二日	17K 2692	1 通	本紙、包み紙共にシミ取り後虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
132	送り状之事 丑十一月廿九日	17K 2693	1 通	本紙の濡れシミ落としとシワを伸ばす
133	乍恐奉再願口上書 酉三月	17K 2694	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴の繕い修理
134	乍恐奉差上済候証文之事 酉三月九日	17K 2695	1 通	紙質良好。シミとり部分修理
135	乍恐奉願口上書 酉三月八日	17K 2696	1 通	薄汚れの除去
136	覚 亥四月廿二日	17K 2697 1	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いがひどいので裏打ち修理
137	覚 戌九月九日	17K 2697 2	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いがひどいので裏打ち修理
138	覚 戌六月十二日	17K 2698	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
139	覚 申正月八日	17K 2699	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
140	覚 亥十二月廿九日	17K 2700	1 通	本紙の濡れシミ落とし
141	おぼえ 四月廿二日	17K 2701	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理、
142	覚 不明	17K 2702	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
143	覚 巳正月十五日	17K 2703	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理、継ぎ目の糊浮き
144	覚 霜月	17K 2704	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
145	覚 亥十二月廿七日	17K 2705	1 通	汚れ、シミ取り後、劣化しているので裏打ち処置
146	覚 丑十二月	17K 2706	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し
147	覚 正月廿七日	17K 2707	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い穴の繕い修理
148	覚 申十月八日	17K 2708	1 通	包み紙が濡れしみのためシミ落とし
149	覚 不明	17K 2709 1	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
150	大宝恵 (午)	17K 2709 2	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
151	覚 極月九日	17K 2709 3	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
152	[借用証文] 辛未十一月十三日	17K 2709 4	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
153	借用申壺札之事 未十一月十五日	17K 2709 5	1 通	本紙、包み紙共に虫喰いと劣化のため裏打ち処置
154	[書状] 未二月十五日	17K 2709 6	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
155	覚 八月朔日	17K 2710	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
156	覚 四月九日	17K 2711	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
157	覚 十二月 日	17K 2712	1 通	汚れ、シミ取り後、食い裂き紙にて繕い修理
158	覚 不明	17K 2713	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
159	覚 酉三月十三日	17K 2714	1 通	本紙、包み紙共にシミ取り後虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
160	覚 午十二月三日	17K 2715	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
161	覚 九月十三日	17K 2716	1 通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
162	覚 九月八日	17K 2717	1 通	汚れと虫喰いのため裏打ち処置
163	覚 三月十五日	17K 2718	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差しと部分修理
164	覚 子四月	17K 2719	1 通	ラベル貼付、部分修理
165	覚 三月卅日	17K 2720	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
166	覚 巳九月廿日	17K 2721	1 通	ラベル貼付、部分修理
167	覚 寅十二月八日	17K 2722	1 通	本紙包み紙共に濡れしみ、包み紙は劣化しているので裏打ち処置
168	[御渡之分] 二月五日	17K 2723	1 通	小さな虫喰い穴が多いが食い裂き紙にて繕い修理
169	[小鯛斤数] 不明	17K 2724	1 通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
170	差上申一札之事 不明	17K 2725	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
171	仕切 [丑十二月]	17K 2726	1 通	シミ取り後虫喰い穴の繕い
172	仕切 巳?七月廿八日	17K 2727	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し
173	仕切覚 辰六月十九日	17K 2728	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
174	借用申証文之事 辰十二月廿二日	17K 2729	1 通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
175	借用申証文之事 一	17K 2730	1 通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
176	証文 未七月十日	17K 2731	1 通	虫喰いと汚損劣化の為しみ抜き後裏打ち処置
177	[書状] 申四月廿四日	17K 2732	1 通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
178	[書状] 十二月九日	17K 2733	1 通	本紙は虫喰い箇所を繕い修理。包み紙は虫喰いの為裏打ち処置
179	[書状] 廿九日	17K 2734	1 通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
180	書状 十一月二日	17K 2735	1 通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理



181	[書状] 八月四日	17K 2736	1通	猫の尿がしみついていて臭いので、灰汁で洗浄後繕い修理
182	[書状] 不明	17K 2737	1通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰箇所は食い裂き紙にて繕い修理
183	添証文之事 不明(年号月日と記載)	17K 2738	1通	継ぎ目の糊浮きによる離れには糊差し
184	[代銀相渡相済証文] 寅五月廿八日	17K 2739	1通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
185	[断簡] 不明	17K 2740	1通	猫の尿がしみついていて臭いので、灰汁で洗浄後繕い修理
186	[断簡] 不明	17K 2741	1通	虫喰いがひどいので裏打ち処置
187	[断簡] 不明	17K 2742	1通	文字が欠落しかけているので裏打ち処置
188	羽書覚 戌十二月十一日	17K 2743	1通	猫の尿がしみついていて臭いので、灰汁で洗浄後裏打ち処置
189	[返済先延ばし願] 卅日	17K 2744	1通	猫の尿がしみついていて臭いので、灰汁で洗浄後繕い修理
190	[包紙] 不明	17K 2745	1通	虫喰いがひどいので裏打ち処置
191	目録 申二月廿七日	17K 2746	1通	猫の尿がしみついていて臭いので、灰汁で洗浄後継ぎ目に糊差し
192	目録覚 巳二月八日	17K 2747	1通	虫喰いがひどいので裏打ち処置。継ぎ目の糊差し
193	乍恐以書付奉申上候 卯七月	17K 2748 1	1通	濡れしみを落とし、部分修理
194	乍恐奉歎願口上覚	17K 2748 2	1通	濡れしみを落とし、虫喰い箇所の繕い修理
195	覚	17K 2748 3	1通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
196	覚	17K 2748 4	1通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
197	覚	17K 2748 5	1通	折れシワ伸ばし、部分修理
198	覚	17K 2748 6	1通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
199	覚	17K 2748 7	1通	継ぎ目の糊浮きには糊差し、虫喰箇所は食い裂き紙にて繕い修理
200	覚	17K 2748 8	1通	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
201	[覚]	17K 2748 9	1通	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
202	覚	17K 2748 10	1通	部分修理
203	覚	17K 2748 11	1通	折れシワ伸ばし、部分修理
204	勘定目録 四月	17K 2748 12	横長帳	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
205	勘定[目録] 四月	17K 2748 13	横長帳	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
206	勘定目録	17K 2748 14	横長帳	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
207	勘定目録	17K 2748 15	横長帳	虫喰い箇所は繕い修理、場所不明の付箋が多い
208	勘定目録 四月	17K 2748 16	横長帳	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理
209	勘定目録	17K 2748 17	横長帳	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
210	此方目録江順太郎より下札之写	17K 2748 18	横長帳	折れシワ伸ばし、部分修理
211	順太郎覚書	17K 2748 19	横長帳	折れシワ伸ばし、部分修理
212	順太郎より御上江差上候目録之写 卯七月	17K 2748 20	横長帳	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
213	[書状]	17K 2748 21	1通	紙質良好。部分修理
214	手板帳 慶応四年十月吉日	17K 2749 1	横長帳	濡シミと虫喰いの為裏打ち処置
215	村山新右衛門様素麵小売控 明治三年午二月下旬	17K 2749 2	横長帳	濡シミと虫喰いの為裏打ち処置
216	よろす■■■ 明治三年午三月吉日	17K 2749 3	横長帳	折れシワ伸ばし、虫喰い穴は繕い修理
217	覚	17K 2749 4	横長帳	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
218	覚	17K 2749 5	横長帳	汚れ、シミ取り後、虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
219	[書状] 十月廿九日	17K 2749 6	1通	部分修理、継ぎ目の糊浮きに糊差し
220	[出納帳]	17K 2749 7	横長帳	折れシワ伸ばし、部分修理
221	ま■■■■取替帳	17K 2749 8	横長帳	折れシワ伸ばし、虫喰い穴は繕い修理
222	万控帳 明治二年巳巳七月吉日	17K 2750	横長帳	表紙の汚れを落とし、虫喰い箇所は繕い修理
223	鯉釣船酒控 明治五年申五月吉日	17K 2751	横長帳	かじり取られた形跡あり。虫喰い、汚れのため裏打ち処置
224	鯉釣諸品通 明治五年壬申正月吉辰	17K 2752	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
225	諸色控覚帳 明治五申五月吉辰	17K 2753	横長帳	虫喰いがひどく劣化しているので裏打ち処置
226	端物類仕入控帳 明治五壬申霜月吉辰	17K 2754	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
227	鮪網方鯉船三艘酒控帳 明治七年甲戌旧五月吉日	17K 2755	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
228	鮪網雑用帳 明治七年甲戌第五月吉良日	17K 2756	横長帳	本紙後半の虫喰いがひどく紙質が弱っているため裏打ち処置
229	鮪網方万買入帳 甲戌明治七年第五月吉辰	17K 2757	横長帳	小さい虫喰い穴が多いので裏打ち処置
230	鮪網人別帳 明治七年甲戌第五月吉辰	17K 2758	横長帳	虫喰い箇所は食い裂き紙にて繕い修理、後表紙のみ裏打
231	鮪各魚水揚控帳 明治七年甲戌第五月吉辰	17K 2759	横長帳	汚れを落とした後、紐の補強
232	[免許状] 明治七年戌一月	17K 2760	1通	部分修理
233	貸方金銭出入帳 明治八年乙亥五月吉日	17K 2761	横長帳	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
234	金銭出納帳 明治八年乙亥第五月吉日	17K 2762	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置、表紙の破損
235	飯米小雑用日賀恵帳 明治八年乙亥旧正月吉日	17K 2763	横長帳	汚れを落とした後、紐の補強
236	鮮■■水揚簿并雇人不参日賀恵 明治九年	17K 2764	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
237	飯米諸雑用控帳 明治九丙子年第一月良日	17K 2765	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
238	万当座日賀恵帳 明治九年丙子第十月吉日	17K 2766	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
239	貸方金銭取集帳 明治十年丁丑一月廿九日	17K 2767	横長帳	虫喰いがひどいので裏打ち処置
240	仕法立二付親戚へ貸方凡覚 明治十一年十二月	17K 2768	横長帳	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
241	地所借受確書 明治十二年第一月廿一日	17K 2769	1通	虫喰いがひどいので裏打ち処置
242	質物流物日賀恵 明治十二年第十二月吉日	17K 2770	横長帳	シワを伸ばした後部分修理
243	飯米小雑用 明治十二年一月吉日	17K 2771	横長帳	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
244	大商恵(明治)十三年	17K 2772	横長帳	シワを伸ばした後部分修理

245	大福帳 明治十三年辰正月吉日	17K 2773	横長帳	シワを伸ばした後部分修理
246	借入金証券 明治十七年一月廿三日	17K 2774	1通	汚れを落とした後、裏打ち処置
247	[出納帳] (明治)十六年	17K 2775	1通	糊浮きのためはなれている。和紙で包んで保存
248	[出納帳] (明治)十七年	17K 2776	横長帳	虫喰い穴は食い裂き紙で繕い修理
249	[出納帳] 明治十七年	17K 2777	横長帳	仮表紙作成後、折りシワを伸ばして麻糸で綴じた
250	[出納帳] (明治)十七年	17K 2778	横長帳	仮表紙作成後、一頁だけ背の部分補強をした
251	[出納帳] (明治)十七年	17K 2779	横長帳	仮表紙作成後、折りシワを伸ばして麻糸で綴じた
252	[出納帳] (明治)十七年	17K 2780	横長帳	仮表紙作成後、折りシワを伸ばしこよりで綴じた
253	[出納帳] (明治)十七年	17K 2781	横長帳	仮表紙作成後、こよりで綴じた
254	[出納帳] (明治)廿一年	17K 2782	横長帳	仮表紙作成後汚れと破れがある頁のみ背の部分の補強
255	[出納帳] (明治)廿五年	17K 2783	横長帳	仮表紙作成後、付箋の糊浮きには糊差し。こよりで綴じた
256	[出納帳] (明治)廿八年	17K 2784	横長帳	仮表紙作成後、付箋の糊浮きには糊差し。こよりで綴じた
257	[出納帳] (明治)廿九年	17K 2785	横長帳	仮表紙作成後、こよりで綴じた
258	[出納帳] 明治廿一年旧二月朔日	17K 2786	横長帳	表紙作成後、虫喰いと水濡れのため裏打ち処置
259	[出納帳]	17K 2787	横長帳	ネズミからかじられた形跡があるので裏打ち処置
260	記 (明治)三十四年旧六月	17K 2788	横長帳	劣化しているので裏打ち処置、表紙作成後紙縫い綴じ
261	御届 明治三十六年四月九日	17K 2789	堅紙	仮表紙作成、虫喰い穴の繕い後こよりで綴じた
262	当座帳 明治参拾九歳丙午第一月吉日	17K 2790	横長帳	表紙の糊浮き箇所には糊差し、虫喰い穴の繕い修理
263	土地売渡証 大正六年拾貳月拾七日	17K 2791	1通	虫喰いと破れのため裏打ち処置
264	送り状 大正 年 月 日	17K 2792	1通	折りシワを伸ばした後、黒谷和紙厚手に包み中性紙封筒にいられた
265	覚	17K 2793	横長帳	虫喰い穴の繕い
266	記 旧閏四月	17K 2794	横長帳	虫喰い穴の繕い
267	記	17K 2795	横長帳	折りシワと虫喰い穴を繕い修理、仮表紙作成後こよりでとじた
268	[桑苗の本数ほか書上]	17K 2796	1通	虫喰いと劣化のため裏打ち処置
269	[書状] 第五月廿六日	17K 2797	1通	虫喰い穴の繕い修理
270	[西彼杵郡茂木村鯛網代図] 記入なし(近代)	17K 2798	1通	汚れと劣化のため裏打ち処置
271	建白書 ほか 明治廿二年十二月卅日	17K 2799	仮綴じ	折りシワと虫喰い穴を繕い修理、仮表紙作成後こよりでとじた
272	御届 明治廿二年六月五日	17K 2800 1	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
273	[別紙] (明治二十二年)六月十八日	17K 2800 2	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
274	[貸座敷営業組合会議開催案内] 明治廿二年八月	17K 2801	1通	虫喰い穴の繕い修理
275	貸座敷娼妓賦金取立及ヒ戸長役所江納金控簿	17K 2802	仮綴じ	折りシワと虫喰い穴を繕い修理、仮表紙作成後こよりでとじた
276	原籍御保証願 明治廿二年六月	17K 2803	1通	折りシワを伸ばし、仮表紙作成後こよりでとじた
277	[検梅実施] 明治廿二年五月廿一日	17K 2804	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
278	[検梅実施名前書] 明治廿二年七月一日	17K 2805	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
279	七月分娼妓税下ケ戻請求書 明治廿二年九月六日	17K 2806	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
280	娼妓営業願 原籍御保証願 明治廿二年	17K 2807	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
281	娼妓営業願 明治廿二年	17K 2808	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
282	娼妓営業願 明治廿二年九月	17K 2809	仮綴じ	朱の罫線の用紙、シワを伸ばして仮表紙をつけて紙縫い綴じ
283	娼妓営業願 明治廿二年九月	17K 2810	仮綴じ	朱の罫線の用紙、シワを伸ばして和紙に包み込んだ
284	娼妓営業願 明治廿二年	17K 2811	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
285	娼妓営業願 明治廿二年七月	17K 2812	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
286	[生年月日の照会] (明治)廿二年八月十九日	17K 2813	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
287	長崎県令第三拾四号 廿二年四月六日達写 娼妓	17K 2814	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
288	長崎県令第三拾四号 明治廿二年三月廿七日	17K 2815	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
289	廿二年七月廿二日第四検査 (明治)廿二年七月	17K 2816	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
290	廿二年八月十九日小川セリ方二於テ会議 原案	17K 2817	仮綴じ	黒谷和紙厚手ではさみこんだ
291	廿二年八月十二日第七検査 (明治)廿二年八月	17K 2818	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
292	廿二年六月廿四日臨時会原案 明治廿二年	17K 2819	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
293	廿二年六月廿四日臨時会原案 明治廿二年	17K 2820	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰いが少々あり、繕い修理
294	旅行延期届 明治廿二年八月十一日	17K 2821	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
295	旅行御届 明治廿二年八月十五日	17K 2822	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
296	旅行御届 明治廿二年七月十八日	17K 2823	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
297	旅行御届 明治廿二年九月八日	17K 2824	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
298	[貸座敷営業に関する綴り](雇人御届、組合規約、	17K 2825	仮綴じ	シワを伸ばし虫喰い穴は繕い修理、仮表紙をつけ綴じた
299	[枕島村貸座敷概要]	17K 2826	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
300	検閲日割表	17K 2827	仮綴じ	朱の罫線の用紙、虫喰い穴は繕い修理後仮表紙をつけ綴じた
301	娼妓願二関スル書類入(封のみ)	17K 2828	仮綴じ	劣化しているので裏打ち処置
302	[人名書]	17K 2829	仮綴じ	シワがひどく汚れているので裏打ち処置。朱の罫線の方は繕い修理
303	手続書	17K 2831	仮綴じ	シワを伸ばし虫喰い穴は繕い修理、仮表紙をつけ綴じた
304	左■賀祝■控	17K 2832	仮綴じ	シワを伸ばし虫喰い穴は繕い修理、仮表紙をつけ綴じた
305	長崎県管内郡区町村便覧	13-809	小冊子	酸性劣化によりもろくなっている表紙を裏打ち後製本した
306	崇福寺関係係 昭和22年5月22日~同 25年11月9日	16 317 1	簿冊 380	水濡れと酸性劣化の為全丁脱酸後裏打ち処置。
307	西川如見遺書第一編 虞書曆象俗解	19 5 1-1	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
308	西川如見遺書第二編 虞書曆象俗解	19 5 1-2	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
309	西川如見遺書第三編 肆拾貳国人物図説	19 5 3	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し



310	西川如見遺書第七編 町人囊	19 5 7	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
311	西川如見遺書第九編 日本水土考	19 5 9	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
312	西川如見遺書第十一編 大略天學名目鈔	19 5 11	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
313	西川如見遺書第拾七編 兩儀集説	19 5 17	冊子	綴じ糸のほつれ有り、綴じ直し
	長崎県修理済み資料 313点			

### 〈長崎市所蔵分〉

	資料名	資料番号	丁数	修復内容
1	国史註釈 零本	聖堂 220-3	1冊 24丁	修理してある旧裏打紙にカビが見られるので剥がして再修理
2	釈菜禮役 慶応二年	聖堂 380-5-1	1通	劣化著しく墨字がかけ落ちているので裏打ち処置
3	釈菜禮役 慶応二年	聖堂 380-6	1通	劣化著しく墨字がかけ落ちているので裏打ち処置
4	釈菜禮役 慶応二年	聖堂 380-7	1通	劣化著しく墨字がかけ落ちているので裏打ち処置
5	唐土歴代系図	聖堂 230 3 2 2	1冊	虫喰いがひどいので裏打ち処置
6	禁書目録	聖堂 230 38 3 2	折帖	糊浮きと破れの為切れている
7	禁書目録	聖堂 230 38 3 3	折帖	糊浮きと破れの為切れている
8	平野繁十郎(向井雅次郎宛)池田百助額僕幹施の件他	聖堂 370 120	1通	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理
9	横濱之図(木版)	聖堂 450 3	1枚	虫喰いで真ん中から破れて切れているので裏打ち処置
10	御宸翰之御写 1	聖堂 310-51-11-1	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
11	御宸翰之御写 2	聖堂 310-51-11-2	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
12	御宸翰之御写 3	聖堂 310-51-11-3	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
13	御宸翰之御写 4	聖堂 310-51-11-4	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
14	御宸翰之御写 5	聖堂 310-51-11-5	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
15	御宸翰之御写 6	聖堂 310-51-11-6	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
16	御宸翰之御写 7	聖堂 310-51-11-7	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
17	御宸翰之御写 8	聖堂 310-51-11-8	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
18	御宸翰之御写 9	聖堂 310-51-11-9	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
19	御宸翰之御写 10	聖堂 310-51-11-10	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
20	御宸翰之御写 11	聖堂 310-51-11-11	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
21	誓文 1	聖堂 310-52-10-1	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
22	誓文 2	聖堂 310-52-10-2	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
23	誓文 3	聖堂 310-52-10-3	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
24	誓文 4	聖堂 310-52-10-4	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
25	誓文 5	聖堂 310-52-10-5	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
26	誓文 6	聖堂 310-52-10-6	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
27	誓文 7	聖堂 310-52-10-7	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
28	誓文 8	聖堂 310-52-10-8	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
29	誓文 9	聖堂 310-52-10-9	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
30	誓文 10	聖堂 310-52-10-10	1通	継ぎ目に糊差しをして汚れの除去と虫喰い穴の繕い後裏打ち修理
31	諸写物系(断簡)	聖堂 90-1	9丁	虫喰いのため裏打ち処置
32	募縁之辞	181-111	一冊 10丁	湿損によるカビ、シミ劣化固着。洗浄後裏打ち処置
33	書翰發送簿 明治三十五年五月	370-15	一冊 19丁	湿損によるカビ、シミ劣化固着。洗浄後裏打ち処置
34	善縁簿	180-110	一冊 15丁	湿損によるカビ、シミ劣化固着。洗浄後裏打ち処置
35	古文孝経評註	930-62	一冊 31丁	湿損によるカビ、シミ劣化固着。洗浄後裏打ち処置
	長崎市修理済み資料 35点			

## 4 資料の管理

### 1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
- (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
- (3) 長崎奉行所に関する資料
- (4) 長崎文化に関する資料

(「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料

(4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

(「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 約 48,000 点

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約 48,000 点を移管。

旧県立美術博物館所蔵 約 2,000 点  
(美術工芸 1,830 点 歴史 178 点)

旧長崎市立博物館所蔵 約 16,000 点  
(歴史 10,300 点 近代美術 4,500 点 近現代 1,200 点)

県立長崎図書館所蔵 約 30,000 点(文書・図書)

指定文化財

○国指定重要文化財

安政二年「日蘭条約書」

紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風

長崎奉行所関係資料 1,242 点

○長崎県指定文化財

刀・対州住長幸

刀・肥前国忠吉

青方文書

永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

紙本著色瀉血手術図

紙本著色南蛮人来朝図之屏風

紙本著色唐蘭館の図 2 巻



## 2) 新収蔵資料

### 購入資料

	分類	資料名	作者・産地	製作年代
1	歴史資料	スペンサー銃	アメリカ	1860 年代
2	歴史資料	ヘンリー銃	アメリカ	1860 ~ 1866 年代
3	歴史資料	シーボルト所蔵印付き「周茂叔愛蓮図」	狩野周信	江戸後期
4	歴史資料	『ナガサキタイムズ』および『ナガサキ・シッピングリスト』合冊本	長崎	1868 (明治元) ~ 1869 (明治 2) 年
5	歴史資料	画冊「勇魚捕図」	小山田与清	江戸後期
6	工芸	赤絵蘭船蘭人文蓋付碗 5 組	有田	19 世紀初期
7	工芸	グラヴェルにガラス絵望遠鏡	日本製	江戸後期
8	絵画	長崎港図	川原慶賀	1826 年 (文政 9) 9 月 13 日
9	絵画	出島図	慶賀工房か	1857 ~ 1861 年
10	絵画	長崎の年中行事「子供中、陸ペーロン」	川原慶賀	江戸後期
11	絵画	長崎版画「阿蘭陀婦人の図」	大和屋	江戸後期

### 寄贈資料

	分類	資料名	作者・産地	製作年代
12	歴史資料	古賀十二郎関係資料	長崎	

## 3) 資料及び画像の貸出管理

資料貸出件数 12 件 (60 点)

	展覧会名	貸出期間	会期	会場名	資料番号	名称	作家名・著者名・生産地
1	元寇物語	7/9 ~ 9/10	7/10 ~ 9/10	五島観光歴史資料館	F イ 0041	御物本蒙古襲来絵詞 (複製)	
絵 18					蒙古軍攻撃図	大賀正耕	
3	特別企画展「将軍家献上の鍋島・平戸・唐津」	9/20 ~ 12/10	10/6 ~ 11/25	佐賀県立九州陶磁文化館	D ハ a0013	染付松文獅子耳瓶	平戸・三川内焼
4					D ハ a0894	染付松竹梅文燭台	平戸・三川内焼
5	行列に見る近世	9/20 ~ 12/20	10/16 ~ 12/9	国立歴史民俗博物館	くんち 14	麴屋町奉納踊御茶献上大名行列図	
6	特別展「高島平蘭学事始」	9/25 ~ 12/10	10/6 ~ 11/25	板橋区郷土資料館	18 16-2	シーボルト肖像画	川原慶賀 / 筆
7					660-36	諸書留	御内用方 檜林控
8					シ 16 8	高島秋帆徳丸原演習入費覚書 天保 3 寅年 3 月	
9					ト 18 20	田上於合戦場被為成兎狩候御行列 文政 3 年辰 9 月	
10					ヘ 13 78	武雄行日記 未 8 月 4 日	
11					図 101	長崎諸役場繪圖	

12					図 103	長崎港内外新古砲臺之圖	
13					絵 61	長崎港俯瞰細密画	浦川菊市
14	特別展「高島平蘭学事始」	9/25 ~ 12/10	10/6 ~ 11/25	板橋区郷土資料館	絵 (日本) 29	阿蘭陀使節船巡視見船内図	
15					軍事 1	フェートン号図 (崎陽録)	
16					軍事 7	大木藤十郎使用阿蘭陀渡ランドセル	
17					軍事 8	大木藤十郎使用トンキヨ笠	
18	長崎街道	9/26 ~ 12/9	9/26 ~ 12/9	飯塚市歴史資料館	480-2	象志	梅英軒 壽陽堂梓
19					絵 (長崎) 143	駱駝図 (崎陽録)	
20	懐古・知新	9/27 ~ 12/7	10/2 ~ 11/30	大村市立史料館	13 1-1 14	萱瀬村	大村藩 / 編@堀田益助 茂武 / 写
21					3 16-5 1	大村管内絵図 地方 (部分写真 0 1)	
22					3 16-5 2	大村管内絵図 地方 (部分写真 0 2)	
23					3 16-5 3	大村管内絵図 地方 (部分写真 0 2)	
24					3 16-5 4	大村管内絵図 地方 (部分写真 0 4)	
25					3 162-2	城郭全図 大村県	
26					3 265-1 10	東彼杵郡村図 竹松村全図	
27					3 265-1 11	東彼杵郡村図 三浦村	
28					3 265-1 12	東彼杵郡村図 鈴田村	
29					3 44-2	肥前国彼杵郡之内大村領絵図控 正保年中	
30					絵葉書 (長崎) 800	絵葉書・大村海軍航空隊	
31	絵葉書 (長崎) 810	絵葉書・長崎県大村町常盤温泉旅館部					
32	明治天皇百年祭記念 第一回「明治天皇六大巡幸」展	9/28 ~ 12/7	10/13 ~ 11/25	明治神宮文化館	木 (日本) 49	旧明治天皇行在所 鳳凰彫刻屋根飾	
33	長崎街道開通 400 年記念特別展 長崎街道	10/10 ~ 1/10	10/30 ~ 12/27	九州歴史資料館	13 827-1	象志 享保 1 4 年	梅英軒 / 著
34					A1 イ 0036	長崎港之図	円山応挙
35					A1 イ 0051	長崎港図	川原香山
36					A2 ハ 0039	漢洋長崎居留図巻	
37					A3 ハ 0081	駱駝図	
38	チョコレート展	10/25 ~ 3/8	11/3 ~ 2/24	国立科学博物館	13 332-2 5	長崎開見録 寛政 1 2 年 / 巻之 5	広川 [カイ] / 著
39	伊東満所 天正遣欧少年使節の足跡	10/31 ~ 11/22	11/6 ~ 11/18	西都市歴史民俗資料館	A2 ニ 0301-2	メスキータ神父肖像 (複製)	
40					A2 ハ 0300-2	伊東マンショ肖像 (複製)	
41	キリスト教の伝来と西海の歴史	11/4 ~ 12/5	11/10 ~ 12/2	西彼杵総合支所 2 階ふれあいホール	13 49-3	続長崎鑑	
42					2 329	Fasciculus Iaponicus Floribus	A. F. Cardim / 著 @ カルデイル / 著
43					図 110	寛永長崎港図	中村豊太郎 (原) 帯屋宗七
44	唐蘭館絵巻の世界	11/24 ~ 3/31			図 100	長崎諸役場繪圖	
45					版 (長崎) 16	唐船図	
46					版 (長崎) 26	唐人母娘図	
47					版 (長崎) 59	遠眼鏡をもつオランダ人	大和屋刊
48					版 (長崎) 66	阿蘭陀船図	文錦堂刊
49					画像 (中国) 1	来船清人正装之図	
50		11/24 ~ 1/21	11/26 ~ 3/29	出島 ヘトル部屋 2 階ホール 企画展示室	ガラス 72-1	練硝子コップ (黄緑)	
51					ガラス 72-2	練硝子コップ (黄緑)	
52					ガラス 72-3	練硝子コップ (青)	
53					ガラス 72-4	練硝子コップ (青)	
54					ガラス 72-5	練硝子コップ (黒)	
55					民具 4	古賀人形 (紅毛婦人)	
56		1/20 ~ 3/31			石 (外国) 3	翡翠桃形蓋物	
57					ガラス絵 15	広東十三行図	洋西
58					図 53	唐人屋敷 [絵図] (長崎諸地図)	
59					絵 (長崎) 301	和蘭船唐船図	石崎融思
60				絵 (長崎) 52	野稻群雀図	渡辺秀石	

○画像貸出件数 411 件 (博物館関係機関 41 件、マスコミ 95 件、出版関係 133 件、教育関係 102 件、その他 40 件)

# 6

## 長崎学・生涯学習支援事業

### 1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、

成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供することを目的としている。

### 2 一般向け事業

#### ○れきぶん長崎学講座

長崎県の歴史と文化について理解を深めてもらうことを目的に、館内外の講師による講座と史跡めぐりを行った。今年度は「長崎と中国」をテーマとして実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月28日(土) 14:00～15:30	ホール	中国からきた仏さまと石塔	大石一久(当館研究グループリーダー)	47名
第2回	5月6日(日) 14:00～15:30	ホール	珍獣? 霊獣? 日本絵画に見るゾウの表現 — 仏画から江戸の絵本まで	植松有希(当館研究員)	62名
第3回	6月16日(土) 14:00～15:30	ホール	戦前期日本の中国観光 “長崎から船に乗って…”	瀧下彩子氏 [(財) 東洋文庫研究員]	47名
第4回	7月21日(土) 14:00～15:30	ホール	唐通事の肖像画	錦織亮介氏(北九州市立大学名誉教授)	35名
第5回	8月25日(土) 14:00～15:30	ホール	蒙古襲来と鷹島海底遺跡	高野晋司氏(長崎県教育委員会学芸文化課専門員)	91名
第6回	9月15日(土) 14:00～15:30	ホール	波佐見焼と中国陶磁	中野雄二氏(波佐見町教育委員会学芸員)	70名
第7回	10月21日(日) 14:00～15:30	ホール	江戸時代の長崎と福建省	深瀬公一郎(当館主任研究員)	65名
第8回	11月11日(日)	鷹島	史跡めぐり(鷹島)	山下寿子氏(松浦市教育委員会学芸員)	45名
第9回	12月15日(土)	波佐見	史跡めぐり(波佐見)	中野雄二氏(波佐見町教育委員会学芸員)	35名
第10回	1月19日(土) 14:00～15:30	ホール	亀山焼について～中国との文化交流の視点から～	松下久子氏(長崎県文化振興課)	53名
第11回	2月16日(土) 14:00～15:30	ホール	長崎版画のひみつと中国	植松有希(当館研究員)	62名
第12回	3月24日(日) 14:00～15:30	長崎県立図書館講堂	「近代長崎と中国」	山口保彦氏(長崎県文化振興課)	52名

#### ○エキスパート講座

常設展示に関連した古文書等の原典資料を通して、れきぶん長崎学講座より専門的に掘り下げた内容について様々な形で当館研究員が解説した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月26日(土) 10:30～12:00	ホール	新発見・潜伏キリシタンの墓地	大石一久(当館研究グループリーダー)	41名
第2回	6月10日(日) 10:30～12:00	講座室	長崎游学者 楠本雪溪(宋紫石)	越中勇(当館主任研究員)	13名
第3回	7月1日(日) 10:30～12:00	講座室	長崎の名所と異国イメージ	深瀬公一郎(当館主任研究員)	10名
第4回	8月11日(土) 10:30～12:00	講座室	新出作品・木下逸雲の娘への贈りもの	植松有希(当館研究員)	13名
第5回	9月8日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎県庁文書の世界	岡本健一郎(当館研究員)	17名
第6回	11月10日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎游学者 建部綾足(たけべあやたり)	越中勇(当館主任研究員)	9名
第7回	12月9日(日) 10:30～12:00	講座室	絵図を見ながら蔵屋敷めぐり(町歩き)	岡本健一郎(当館研究員)	16名

第8回	1月20日(日) 10:30～12:00	講座室	記録画と作品の間 長崎絵画の写実性について	植松有希(当館研究員)	19名
第9回	2月2日(土) 10:30～12:00	講座室	唐人屋敷をつくった大工たち	深瀬公一郎(当館主任研究員)	25名
第10回	3月23日(土) 10:30～12:00	講座室	石のおもしろ講座 - 「一休さんと茶臼」など-	大石一久(研究グループリーダー)	23名

### ○れきぶんワークショップ

博物館の仕事や長崎の歴史文化に関する様々なテーマで実演や体験を交えたワークショップ形式の講座を実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月20日(日) 10:30～12:00	講座室	博物館の建築を楽しもう	竹内有理(当館教育グループリーダー)	9名
第2回	9月2日(日) 10:30～12:00	講座室	廃材を使って万華鏡を作ってみよう!	久保憲司(当館研究員)	10名
第3回	12月2日(日) 10:30～12:00	講座室	ミニ屏風づくり	下田幹子(当館研究員)	5名
第4回	3月10日(日) 10:30～12:00	講座室	侍のシンボル-刀のしくみをしよう!	一瀬勇士(当館研究員)	24名

### ○れきぶん文化財セミナー

館内外の講師が博物館資料の保存修復等について講座を実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	10月21日(日) 10:30～12:00	講座室	展示と照明-博物館のジレンマ-	関裕典(当館研究員)	8名
第2回	10月27日(土) 10:30～12:00	講座室	市民と取り組む古文書修補	横山謙次氏(元宮内庁書陵部図書課修補師長)	27名
第3回	11月3日(土) 10:30～12:00	講座室	見直してほしい和紙の力	富川敦子(当館研究員)	16名

### ○これから始める古文書講座(初級)

歴史研究の基盤となる古文書に親しみを持ってもらうとともに、その解読方法の習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月15日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	34名
第2回	5月20日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	岡本健一郎(当館研究員)	31名
第3回	6月17日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	30名
第4回	7月15日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	山内勇樹(当館研究員)	29名
第5回	8月19日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	岡本健一郎(当館研究員)	25名

佐世保

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	7月29日(日) 13:00～16:00	佐世保市立中部地区公民館	犯科帳で読みとく長崎県(平戸・五島など)の歴史	岡本健一郎・深瀬公一郎(当館研究員)	25名

### ○もっと読みたい古文書講座(中級)

古文書を読んだ経験のある方を対象に、解読方法の習得を目的として実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	9月16日(日) 14:00～16:00	講座室	説明会	岡本健一郎(当館研究員)	20名
第2回	10月14日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	岡本健一郎(当館研究員)	12名
第3回	11月25日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	山内勇樹(当館研究員)	14名
第4回	12月16日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	12名
第5回	1月13日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	11名



## ○大堀哲館長ミュージアムトーク

一般の方を対象に歴史や博物館について語る大堀館長による講座。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	7月14日(土) 11:00～12:00	ホール	薩長同盟と長崎	大堀哲(当館館長)	98名
第2回	12月1日(土) 11:00～12:00	ホール	会津藩の教えと山本八重の人生1	大堀哲(当館館長)	128名
第3回	2月23日(土) 11:00～12:00	ホール	会津藩の教えと山本八重の人生2	大堀哲(当館館長)	163名

## ○古文書修復技術講習会

博物館・資料館の職員を対象に古文書の保存・修復に対する理解を深めてもらうとともに、その技術の習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	7月23日(月) ・24日(火) 10:00～17:00	講座室・修復室	製本、中性紙の箱作りなど	富川敦子(当館研究員)	11名(7/23) 11名(7/24)
第2回	10月26日(金) ・27日(土) 10:00～17:00	講座室・修復室	製本、虫損直しなど	横山謙次氏(元宮内庁書陵部図書課補師長) 富川敦子(当館研究員)	8名(10/26) 7名(10/27)

## ○その他の講座・講演会

講座・講演会名	日時	会場	講師	主催/共催	参加者
【公開セミナー】 長崎研究の新視点～歴史と民俗～	7月29日(日) 9:30～12:00	1階講座室	宮坂正英氏、大石一久(当館研究グループリーダー)、山田慎也氏	主催:総合研究大学院大学 文化科学研究科 日本歴史研究専攻/国立歴史民俗博物館 共催:長崎歴史文化博物館・長崎純心大学	45名
【公開講演会】 文化資源の分析と保全	7月29日(日) 13:30～17:00	1階ホール	川口洋平氏、富川敦子(当館研究員)、小池淳一氏	主催:総合研究大学院大学 文化科学研究科 日本歴史研究専攻/国立歴史民俗博物館 共催:長崎歴史文化博物館・長崎純心大学	75名
【長崎純心大学学振科研費公開講座】 蘇州の笛で語る 故宮秘蔵の崑曲譜	9月9日(日) 13:30～	1階ホール	顧再欣氏 解説:いしみのぞむ氏	主催:長崎純心大学・長崎歴史文化博物館	—
東洋陶磁学会第40回大会 「長崎の近世陶磁器の新たな調査成果」	11月23日(金・祝) ・24日(土)	1階ホール	大橋康二氏、松尾秀昭氏、松下久子氏、扇浦正義氏、中野雄二氏、中村幸氏、山口美由紀氏、櫻庭美咲氏、藤原友子氏	主催:東洋陶磁学会 共催:長崎歴史文化博物館	—
「花月史 長崎丸山文化史」 発刊記念講演会	12月9日(日) 13:30～15:00	1階ホール	加藤貴行氏	主催:長崎歴史文化博物館	76名
長崎からつなぐ過去・現在・未来～日本の電信電話事業の幕開けと現代におけるケーブル事業の展開～	12月16日(日) 13:30～16:50	1階ホール	ブライアン・パークガフニ氏、岡本健一郎(当館研究員)、河又貴洋氏、安田豊氏、土屋大洋氏 コーディネーター:菅谷実氏	主催:長崎歴史文化博物館 共催:情報通信学会/社会情報学会(SSJ)九州・沖縄支部/公益事業学会九州部会	80名
初代長崎県知事・日下義雄説明板設置記念講演会「長崎と会津をつなぐ絆」	1月26日(土) 14:00～17:00	1階ホール	飯沼一元氏(白虎隊の会事務局長) 木下健氏(白虎隊の会副会長) 工藤新一氏(白虎隊の会長崎支部長)	主催:白虎隊の会、白虎隊の会長崎支部 共催:長崎歴史文化博物館	115名
まちづくりシンポジウム「長崎町人文化のつながり」	3月24日(日) 17:00～20:00	1階ホール	松尾法道氏、本馬貞夫氏、原田博二氏、脇山壽子氏、山下寛一氏 コーディネーター:橋本剛氏	主催:長崎町人町プロジェクト 共催:長崎歴史文化博物館	160名
日本の近代化に貢献した一 長崎のフルベッキ博士	3月30日(土) 13:30～17:00	1階ホール	森田正氏、加島巧氏、宮川雅一氏、山内勇輝(当館研究員) モデレーター:溝田勉氏	主催:長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館	168名

## 3 学校向け事業

### 学校団体来館状況

		平成 23 年度		平成 24 年度	
		件数	人数	件数	人数
県内	小学校	111	4,270	125	4,767
	中学校	30	1,313	36	2,288
	高等学校	19	1,490	30	1,453
	大学	11	868	14	890
	その他	17	547	43	1,492
県外	小学校	423	17,186	443	19,338
	中学校	378	13,887	302	8,976
	高等学校	184	6,383	214	5,976
	大学	10	238	17	253
	その他	2	118	6	142
合 計		1,185	46,300	1,230	45,575

### 趣旨と成果)

学校行事で来館する際の教育プログラム、教員養成課程で博物館の利用方法を学ぶ学生向けプログラム、教員を対象とした博物館利用を実践的に検討する協力校・パートナーズプログラムのように、博物館と学校が関わる様々な段階に応じた連携・協働事業をおこなった。

#### ○協力校・パートナーズプログラム

学校の先生方との連携事業として2008年度に発足。2ヶ月に一度の頻度で研修会を開催し、当館を利用した授業の実践に関しての情報交換会を行った。授業実践はホームページや報告書にて公開している。

参加者 協力校2校（長崎市立桜町小学校、長崎市立長崎中学校）、

小学校14名、高校5名、その他1名

・説明会 5月19日(土) 11名

趣旨説明と昨年の活動報告、今年度の活動計画に関する意見交換

・第1回研修会 7月27日(土) 11名

実践事例に関する情報交換、常設展示室解説講座「近代化」、ワークシート

・第2回研修会 8月22日(土) 9名

実践事例に関する情報交換、ワークシートの作成、福建博物院展こども向けキャプション・体験コーナーについての意見交換

・第3回研修会 10月27日(土) 15名

実践事例に関する情報交換、ワークシートの作成

・第4回研修会 1月19日(土) 6名

実践事例に関する情報交換会、ワークシートの作成、学校向けプログラムの体験

・年度報告会 2月23日(土) 21名  
実践報告、意見交換会

#### ○夏期教員研修会

県内の小学校・中学校・高等学校の教員を対象にした研修会を実施。当館を利用した先進的な実践事例や授業に使える資料を紹介し、博物館の効果的な利用方法について理解を深めることを目的とした。

8月2日(木) 13:30～16:15 46名(小学校34名、中学校12名)

#### ○遠隔授業

当館の展示資料を通して、長崎の歴史や文化への興味関心を高めてもらうことを目的に離島など遠隔地の学校と博物館とをテレビ会議システムを用いてつないで行う授業。2010年度より北松浦郡小値賀町を会場に実施。

① 小値賀町立小値賀小学校6年 19名

6月27日(木) 10:45～12:25

テーマ:「江戸時代の長崎(オランダ・中国との交流)を知ろう」

講師:博物館側 下田幹子(教育普及グループ 研究員)、

小値賀側 山口崇先生(小値賀小学校)、  
小熊佐智子(教育普及グループ 研究員)

② 小値賀町立小値賀中学校1年 16名

11月14日(水) 10:30～12:20

テーマ:「博物館の仕事と中国との交流について知ろう」

講師:博物館側 小熊佐智子(教育普及グループ)



ブ研究員)、  
小値賀側 江川大樹先生(小値賀中学校)、  
下田幹子(教育普及グループ  
研究員)

「出島の貿易、出島の生活」  
1月23日(水) 活水高等学校3年 39名  
「長崎版画体験学習」  
3月11日(月) 活水高等学校2年 32名  
「坂本龍馬と幕末長崎」

#### ○出張授業

当館の見学にとまなう事前事後学習に役立つよう  
な学習機会の提供を目的に、先生方との打ち合わせ  
に基づき決定したテーマで研究員が授業を行った。  
また当館への来館が困難な学校に対する教育普及活  
動の一環としても実施している。

6月8日(金) 長崎市立女の都小学校6年 47名  
「長崎ってどんな町?」  
8月30日(木) 純心女子高等学校1年 253名  
「幕末・明治の長崎」  
9月11日(火) 長与町立長与南小学校6年 150名  
「博物館で本物を見てみよう」  
9月28日(金) 佐世保市立江迎小学校6年 26名  
「出島の生活を知ろう」  
9月28日(金) 佐世保市立猪調小学校6年 20名  
「出島の事に詳しくなろう! 博物館の宝物に触れよう」  
10月22日(月) 聖マリア学院小学校6年 6名  
「幕末・明治の長崎について」  
11月2日(金) 長崎市立深堀小学校6年 84名

#### ○各種研修への協力

長崎大学教育学部附属小学校第3学年6月育友会  
6月20日(水) 14:00~16:45  
諫早市中学校教育研究会社会科部会現地研修会  
8月23日(木) 14:00~16:00

#### 学校向け見学対応(来館時の対応のみ)

・常設展示室のリニューアルや、高校生以下の自主企  
画展の料金を無料にしたことが影響して利用率が昨  
年度より増加した。

幼稚園・保育園 1件(うち県内1件)  
小学校 74件(うち県内59件)  
中学校 35件(うち県内30件)  
高校 18件(うち県内14件)  
大学 4件(うち県内4件)  
特別支援学校 5件(うち県内3件)  
学童保育 1件(うち県内1件)

## 4 子供向け事業

利用者の成長に応じた各種教育プログラムを実施した。

#### ○れきぶんこどもクラブ 14:00~16:00

小学1年生から中学3年生を対象に、企画展見学や作品の制作を通して、博物館の展示や長崎の歴史や文化に  
ふれる機会を提供している。20名の固定メンバーを募集し、前期・後期それぞれ7回連続講座として実施した。

##### [前期]

	開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回	5月12日(土)	「霊獣?珍獣?ゾウが来た」	久保憲司(当館研究員)	22名
第2回	6月2日(土)	紙すき和紙すき	石田孝氏	22名
第3回	6月16日(土)	こねこね粘土の音色	近藤浩一氏	22名
第4回	6月30日(土)	和紙で作品づくり	石田孝氏	21名
第5回	7月7日(土)	「ドラえものの科学みらい」 展関連企画	一瀬勇士(当館研究員)	22名
第6回	7月21日(土)	ガラスにえがく(ガラス絵)	濱井隆氏	22名
第7回	8月4日(土)	展覧会づくり	下田幹子・一瀬勇士 (当館研究員)	20名

##### [後期]

第1回	9月29日(土)	巻物づくり	下田幹子(当館研究員)	22名
第2回	10月20日(土)	「中国福建博物院展」関連企画	下田幹子(当館研究員)	18名
第3回	11月23日(土)	オリジナルの器づくり	長崎陶芸復興塾	23名
第4回	12月9日(土)	南画を描こう	田中正博氏	23名
第5回	1月12日(土)	器に絵付け	長崎陶芸復興塾	24名
第6回	1月26日(日)	「エキゾチックジャパンへの旅展」 関連企画	小熊佐智子(当館研究員)	22名

第7回	2月9日(土)	展覧会づくり	一瀬勇士(当館研究員)	20名
-----	---------	--------	-------------	-----

### ○おはなし会とものづくり 10:30～11:30

幼児から小学生を対象に伝統的な季節の行事に合わせて実施。ボランティアに協力してもらい行事に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせとものづくりを行った。

伝統行事	開催日	テーマ	参加者数
端午の節句	5月3日(土)	かぶとづくり	18名
七夕	6月30日(土)	七夕かざりづくり	41名
くんち	9月29日(土)	くんち手ぬぐいづくり	41名
正月	12月25日(土)	れきぶんかるたづくり	17名
節分	2月2日(土)	鬼のお面づくり	24名
ひなまつり	3月2日(土)	折雛づくり	22名

### ○れきぶんおやこクラブ 10:00～12:00

小学校高学年以上の親子を対象に、長崎の歴史や文化を親子で楽しく学べる講座として前期・後期でテーマを設け実施した。博物館の展示見学、体験、史跡めぐりなどを組み合わせて6回の連続講座として固定メンバーで行った。

#### [前期]「幕末・明治の長崎にタイムスリップ」

	開催日	テーマ	参加者数
第1回	5月12日(土)	幕末明治の長崎ってどんなところ? (博物館にて)	4名
第2回	6月9日(土)	龍馬さんに会いに行こう (町めぐり)	4名
第3回	6月23日(土)	写真師上野彦馬さんの仕事を拝見 (町めぐり)	5名
第4回	7月14日(土)	居留地のくらしを見てみよう (博物館にて)	4名
第5回	7月28日(土)	居留地を見に行こう (町めぐり)	5名
第6回	8月4日(土)	ふりかえり&自由研究へのアドバイス (博物館にて)	5名

#### [後期]「長崎に残る中国文化のヒミツ」

第1回	9月22日(土)	長崎ならではの!中国のお寺 (博物館にて)	2名
第2回	10月20日(土)	中国のお寺を見にいこう (町めぐり)	5名
第3回	11月17日(土)	ちょっと拝見!唐人屋敷のくらし (町めぐり)	3名
第4回	12月8日(土)	流行の最先端!月琴に挑戦 (博物館にて) 講師:山野誠之氏 (長崎明清楽保存会長)	7名
第5回	1月19日(土)	唐人屋敷を見に行こう (町めぐり)	2名
第6回	2月16日(土)	中国茶とお菓子でふりかえり (博物館にて)	2名

### ○町屋ワークショップ

歴史文化展示ゾーンの「町屋」の中で、体験資料を用いて、江戸時代の長崎の歴史や文化に触れるさまざまなワークショップを実施した。資料と体験を結ぶことで資料への多様なアプローチ方法を提案するとともに、展示資料への興味関心を高めることを目的としている。

開催日	テーマ	参加者数
5月5日(土)	刀の秘密	50名
6月3日(日)	巻物くるくる	8名
7月1日(日)	寛文長崎図屏風の秘密	8名
8月5日(日)	動物パズル	12名
9月2日(日)	べっ甲細工のつくり方	3名
10月4日(日)	棒ではかる	11名
11月4日(日)	絵葉書で紅葉狩り	15名
12月2日(日)	媽祖さまってどんな神さま?	4名
2月10日(日)	焼き物にさわろう	18名
3月10日(日)	掛け軸と仲良し	5名

## 5 レファレンス事業

### ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、

外部からの画像の貸出に対応している。

また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

## イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書資料については、長崎県立長崎図書館郷土課より移管された資料と、長崎市立博物館より移管され

た古文書資料となっており、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部貴重資料(重要文化財・器物資料等)についても、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り実物資料に触れる機会を設けている。

### 【レファレンスルーム利用者状況】

・総利用者数 1,806 名 (150.5 名/月)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
129	132	121	137	164	156	171	128	139	156	192	181	1,806

〈内訳〉

会社員	教員 (小)	教員 (中)	教員 (高)	教員 (大)	教員 (不明)	学生 (小)	学生 (中)	学生 (高)	学生 (大・院)	学生 (不明)	その他	不明
227	5	5	16	209	21	1	0	10	121	7	816	368

・複写利用者数 599 件    ・写真撮影利用者数 316 件    ・特別閲覧利用者数 95 件

## 6 博物館実習

### 実施期間

9月10日(月)～9月21日(金)  
(9月15日、16日は休み)

### 応募条件

・現在、大学もしくは大学院に在籍する者で、博物館学芸員資格取得のための科目を履修している者(履修済みが望ましい)。将来学芸員もしくは博物館に関わる仕事に就くことを目指している者。

・県内の大学に通っている者、もしくは県内出身者であること。

### 受入れ人数

10名程度(1大学につき最大3名まで)

### 受付期間

4月1日(金)～6月30日(土)

### 受講費

一人5,000円

### 実習内容・スケジュール

	午前	午後
9月10日(月)	10:00～オリエンテーション(館長あいさつ) 10:30～11:30 博物館の概要について(竹内) 11:30～12:00 バックヤード見学	13:00～ 常設展示見学 15:00～ 常設展示の評価
9月11日(火)	10:00～ 資料の管理について(関)	13:00～ 資料の管理について(関)
9月12日(水)	10:00～ 資料の撮影・資料の整理(関)	13:00～ 資料の撮影・資料の整理(関)
9月13日(木)	10:00～ 資料の修復(富川)	13:00～ 資料の取り扱い(越中)
9月14日(金)	休 み	
9月15日(土)	休 み	
9月16日(日)	10:00～ 博物館の来館者について(竹内)	13:00～ 来館者調査(竹内)
9月17日(月)	10:00～ 地域連携について(一瀬) 11:00～ 広報営業について(竹内)	13:00～ 博物館の教育活動について(下田)
9月18日(火)	10:00～ 展示作業(岡本)	13:00～ 展示作業・IPM(関)
9月19日(水)	10:00～ 企画展について(大石)	13:00～ 来館者調査・展示準備作業(竹内・久保)
9月20日(木)	10:00～ 課題制作	13:00～ 課題制作
9月21日(金)	10:00～ 課題発表・まとめ	

### 実習受講者

江口 美津紀	長崎国際大学 人間社会学部国際観光学科4年	池畑 俊輝	長崎総合科学大学 環境・建築学部人間環境学科4年
チャク・ロクヤン	長崎国際大学 人間社会学部国際観光学科4年	石司 隆一	長崎総合科学大学 環境・建築学部人間環境学科4年

杉本 路哉 長崎総合科学大学  
環境・建築学部人間環境学科 4年

中村 沙都美 活水女子大学  
文学部英語学科 4年

種村 麻衣 活水女子大学  
文学部現代日本文化学科 4年

宮脇 由布子 活水女子大学  
文学部現代日本文化学科 4年

斎藤 伽奈子 福岡大学  
人文学部文化学科 4年

武田 留美 福岡大学  
人文学部文化学科 4年



## 7 研修の受け入れ

長崎大学教育学部が実施している蓄積型体験学習の受け入れを下記の通り行った。将来小中学校の教員をめざす大学生に博物館の教育活動について理解を深めてもらうことができた。

### ○蓄積型体験学習の目的

自ら高めたい資質や能力を定めて、これが達成できると思われる実習先を受入機関から自ら選定し、実習機関との実習計画の打合せによる計画立案とその実施及び自己評価を通して、主体的に活動できる人材を育成することを目的としている。

### ○受入期間

2012年7月～10月

### ○実習所要時間数

30時間

### ○実習内容

- ・教育普及事業の運営補助
- ・学校連携事業に係わる業務

### ○学生名簿

相川拓也 学校教育教員養成課程・  
中学校教育コース2年

佐伯歩美 学校教育教員養成課程・  
中学校教育コース2年

元村郁也 学校教育教員養成課程・  
中学校教育コース2年

柴田忠良 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース2年

山下直也 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース2年

深山美咲紀 学校教育教員養成課程・  
中学校教育コース2年

原 成美 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース4年

井上桃子 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース2年

江崎有紗 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース2年

樋渡寛菜 学校教育教員養成課程・  
小学校教育コース2年

伝統工芸

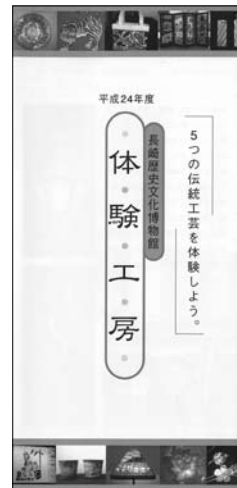
ア)「長崎銀細工研究」塾

イ)「長崎陶芸復興」塾

ウ)「長崎刺繍再発見」塾

エ)「長崎の染」塾

オ)「長崎やけんステンドグラス」塾



## 1 事業概要

- 地域に根ざした文化活動を行う各種団体・個人に活動の場を提供する。
- 地域との連携を深めることにより、地域に開かれた博物館づくりを目指す。
- 地域の人々に質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、地域の文化振興に寄与することを目的とする。
- 新たな利用者層の拡大と博物館の活性化を図る。

## 2 移動博物館

通常は博物館を訪れることが難しい学校や施設を対象に実施しているが、今年度は「中国福建博物院展」の関連事業として、県内博物館と連携した移動博物館も実施した。

会場	開催日	参加者
長与町立長与南小学校	9月11日(火)	500名
佐々町立口石小学校	9月12日(水)	320名
長崎県立小浜高等学校	11月10日(土)	100名
小値賀町立歴史民俗資料館	1月12日(土)～14日(月)	101名
鷹島スポーツ・文化交流センター	1月26日(土)	400名
壱岐市立一支国博物館	2月9日(土)～11日(月)	243名
大村市立史料館	3月7日(木)～4月7日(日)	580名

## 3 イベント実施

### ○音楽イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
れきぶんミュージアムコンサート ＜室内楽コンサート＞	5月4日(金祝) 16:00～16:45	出演: OMURA 室内合奏団/山田芳美(クラリネット)、 種口敬明(ファゴット)、濱砂由美子(フルート) 参加料: 無料	65名
れきぶんミュージアムコンサート ＜サマーコンサート＞	7月16日(月・祝) 16:00～16:45 1F エントランス	出演: 親子で聴く音楽会「レガリーノ」 ピアノ/内田誠 ボンゴ/北原公介 ソプラノ/岡珠子・中村浩美 参加料: 無料	170名
れきぶんミュージアムコンサート ＜フレッシュコンサート＞	9月8日(土) 16:00～16:45 1F エントランス	県内在住・出身の新人演奏家によるコンサート。 出演: 辻真由美(ソプラノ)、中村美貴(ソプラノ)、 後藤美樹(ピアノ) 参加料: 無料	90名
ながさき音楽祭 2012 長崎奉行所お月見コンサート ＜月下の協奏曲＞	9月29日(土) 18:30開場 19:00開演 1F エントランス	出演: 神崎ひで弥(地唄舞)、神崎貴孝(地唄舞・語り)、 小野歌久子(琴)、山口修(ギター)、山口純子(ソプラノ)、 石田ともみ(フルート) 入場料: 2,000円(当日2,500円)	190名
ながさき音楽祭 2012 古楽コンサート ＜復元古楽器が奏でるイタリアの調べ＞	10月20日(土) 18:30開場 19:00開演 3F ロビー	出演: 石井高(トーク)、片田江智子(バロックヴァイオリン)、 井上周子(リュート、ヴァージナル)、栗栖由美子(ソプラノ)、 鹿島恵子(アルト)、古賀理紗(ソプラノ) 入場料: 1,500円(当日2,000円)	84名
れきぶんミュージアムコンサート ＜開館7周年記念コンサート＞	11月3日(土・祝) 16:00～16:45 1F エントランス	出演: 新演奏家協会/森山達郎(テノール)、森美春(ピアノ)、 吉田真深(ピアノ) 参加料: 無料	68名



ながさき音楽祭 2012 池辺晋一郎トーク×コンサート	11月7日(水) 18:30開場 19:00開演 1Fエントランス	出演:池辺晋一郎(トーク)、原さとみ(ソプラノ)、藤木修爾(ヴァイオリン)、後藤美樹(ピアノ) 入場料:1,500円(当日2,000円)	165名
れきぶんミュージアムコンサート <クリスマスコンサート>	12月24日(月・祝) 16:00~16:45 1Fエントランス	出演:杉澤葉子(ピアノ)、杉澤玲子(フルート) 参加料:無料	110名
れきぶんミュージアムコンサート <ニューイヤーコンサート>	1月12日(土) 16:00~16:45 1Fエントランス	出演:長崎県新演奏家協会/【ソプラノ】尼崎裕子、上野広恵、浦田暢子【テノール】森山達郎、【ピアノ】後藤美樹、辻田千尋、森美春 参加料:無料	68名
れきぶんミュージアムコンサート <イタリア歌曲の世界>	2月9日(土) 16:00~16:45	出演:船橋すみこ(ソプラノ)ほか 参加料:無料	128名
ジュニアオーケストラながさき演奏会	3月10日(日) 14:00~14:30 1Fエントランス	出演:じゅにあオーケストラながさき 指揮:志岐光昭	73名



### ○伝統文化事業

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
子泣き相撲	7月22日(月) 13:00~ 1Fエントランス	赤ちゃんの泣き声で邪気を払い、赤ちゃんの健康を願う平戸西教寺の神事「子泣き相撲」を開催した。 対象:1歳前後のお子様 参加料:1,000円(お守り代込み)	430名
長崎くんち公開稽古 籠町の龍踊	9月2日(日) 14:30頃~ 1Fエントランス	長崎くんちの龍踊の中でもっとも歴史の古い籠町による龍踊の公開稽古が行われた。	250名
第13回 長崎奉行所・新内寄席	9月16日(日) 15:00開場 15:30開演 ホール	出演:新内枝幸太夫(新内弥栄派家元) 演目:鶴八鶴次郎、新内と都々逸と 入場料:1,000円(友の会会員800円)	65名
四鈴寄席	9月30日(日) 13:00開場 13:30開演 イベントの間(立山亭)	長崎大学の落語研究会による寄席を行った。 木戸銭:無料(途中入退場可)	55名
第4回 長崎伝統工芸まつり	10月21日(日) 10:00~17:00 1Fエントランス	現川焼、長崎刺しゅう、べっ甲、ステンドグラス、銀細工、染めなど長崎の伝統工芸の作品発表や展示販売を開催。	282名
長崎の伝統芸能 羽差太鼓	10月27日(日) 13:30~14:00 2Fロビー	上五島・有川の鯨漁で活躍した「羽差」たちの漁の一部始終を、音と振り付けで表現した羽差太鼓の演奏。 出演:有川羽差太鼓保存会	106名
煎茶の楽しみ	10月28日(日) 13:30~、14:00~、 14:30~、15:00~、 15:30~ イベントの間(立山亭)	江戸時代、中国福建省から長崎に伝えられ、文人趣味とともに発展してきた煎茶文化を楽しむイベントを開催。 協力:文人流知足会 茶券:500円 定員:各席30名 全5席	110名
長崎の月琴史 トーク&演奏会	11月25日(日) 13:30~14:00、 15:00~15:30 企画展示室	明清時代に奏でられた中国の伝統楽器「月琴」の演奏を披露。 出演:山野誠之(長崎明清楽保存会会長)ほか 入場料:「中国福建博物院展」観覧料	66名
第14回 長崎奉行所・新内寄席	2013年3月16日(土) 13:30~16:30 ホール	出演:新内枝幸太夫、長崎枝幸会	110名
陝西書画名家展	2013年3月24日(日) ~3月29日(金) 企画展示室	日中平和友好条約締結35周年を記念し、中国の書画芸術作品約100点を展示。 観覧料:無料 主催:中国国家観光局東京事務所、東京中国文化センター、新華社東京支局、中華人民共和国駐長崎総領事館 共催:長崎県、(社)長崎県観光連盟、長崎歴史文化博物館	628名





### ○子ども向けワークショップ

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
環境学習会「エコまなぼ！」	4月28日(土) 13:00~16:00 1F エントランス	環境ゲームなどを使い、地球温暖化について、楽しく学ぶイベントを開催。 テーマ：明治エコ学習会 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加無料(随時参加可)	43名
長崎のハタをつくろう！	5月3日(木) 13:30~15:00 1F エントランス	江戸時代から続く伝統行事、ハタ揚げで使うハタをつくるイベントを開催。 協力：長崎節木塾 参加費：700円	27名
歴史タイムトラベルアニメーション上映会	5月3日(木)、5月4日(金) 11:30~12:30 / 15:00~16:00 (3日のみ) ホール	天正遣欧使節、上野彦馬など長崎の歴史に登場する人物物語のアニメーション映画を上映。 観覧料：無料	51名
こども寸劇体験・奉行着付け体験	5月4日(金)、5日(土)、6日(日) 10:30~11:30 / 14:30~15:30 奉行所ゾーン	奉行所芝居組のみなさんと御白洲で寸劇に参加。袴を着てお奉行様に変身する。 参加費：無料	10名
環境学習会「お江戸でエコまなぼ！」	8月4日(土) 13:00~16:00 1F エントランス	環境ゲームなどを使い、地球温暖化について、楽しく学ぶイベントを開催。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加無料(随時参加可)	36名
環境学習会「エコまなぼ！」	12月15日(土) 13:00~16:00 1F エントランス	環境ゲームなどを使い、地球温暖化について、楽しく学ぶイベントを開催。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加無料(随時参加可)	18名

### ○その他

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
奉行所こいのぼり	4月21日(土) ~5月14日(月) イベント広場	江戸時代から行われていた長崎のこいのぼりを再現。	—
長崎奉行所・夏祭り	8月4日(土) 17:00~21:00 イベント広場	【ステージ】 ジャグリング・バルーンアート/SLIM(ビートルズカバーなどの演奏)/フラダンスショー/三味線演奏/○×クイズ/新内枝幸太夫(新内節)/がんばらんば体操 など	710名
私の八月十五日展	8月8日(水)~9月2日(日) 1F エントランス	日本漫画事務局「八月十五日の会」に参加する日本を代表する漫画家・作家が、自身の昭和20年8月15日の記憶をイラストや絵手紙で紹介。会の代表を務める森田拳次をはじめ、赤塚不二夫、水木しげる、手塚治虫らの作品を展示。 観覧料：無料	36,739名
長崎くんち速報写真展	10月12日(金) ~10月31日(水) 2F ロビー	庭見せから本番まで各踊町の様子を紹介する写真展。	20,007名
長崎・中国映画週間~新恋愛時代~	12月21日(金) ~12月24日(月祝) ホール	日中国交正常化40周年スペシャルイベントとして「愛情」をテーマにした中国映画の佳作を上映。 主催：日中友好映画祭実行委員会、長崎歴史文化博物館、一支国博物館	135名

新春初舞会	1月3日(木) 10:30～10:50 / 13:30～13:50 1F エントランス	出演：宝生流五雲会 観覧料：無料 演目：高砂／鞍馬天狗独鼓／胡蝶など	92名
新春初弾 ～琴とフルートの調べ～	1月6日(日) 11:30～ / 13:30～ 1F エントランス	出演：hミュージック、鎮西学院高等学校琴同好会、 創成館高等学校琴部 観覧料：無料	83名
新春書初め	1月2日(水) 13:30～15:30 1F エントランス	講師：馬場寛牛氏(県展審査会員[書道]) 参加費：無料	92名
第7回長崎奉行所初稽古 剣道演武大会	1月3日(木) 10:00～12:00 イベント広場	共催：(財)長崎県剣道連盟 長崎市剣道協会 観覧料：無料	350名
銀屋町鯨太鼓(据太鼓)	1月3日(木) 11:00～11:20 1F エントランス	出演：銀屋町鯨太鼓保存会 観覧料：無料	83名
新春津軽三味線	1月3日(木) 14:00～ 1F エントランス	出演：石井秀歩氏(津軽三味線石井流師範) 観覧料：無料	92名
全九州落研新年落語会	1月5日(土) 第1部 10:00～ 第2部 13:30～ 1F エントランス	出演：九州大学落語研究会／福岡大学落語研究会／福 岡教育大学落語研究会／長崎大学落語研究会 木戸銭無料	95名
れきぶんお雛祭り パッチワークキルトの世界「5・17の竹」 と雛人形	2月20日(水)～3月3日(日) 1F エントランス	古裂を素材に独創的なパッチワークキルトを制作する 山口怜子氏による竹をモチーフにしたキルト作品と雛 人形を展示。 観覧料：無料 協力：聖福寺大雄宝殿修復協力会	—
れきぶんお雛祭り 雛飾り～ちりめんのおひなさま～	3月3日(日)～3月6日(水) イベントの間(立山亭)	古布やちりめんで作った増永須賀子氏とお弟子さん による創作雛人形を展示。 協力：創作人形教室くぶあそび萌>	711名
れきぶんお雛祭り コンサート	3月3日(日) 11:00～11:30 / 13:30 ～14:15 1F エントランス	【二胡とチェロの演奏】 出演：松林静風、片田尚孝 【琴の演奏】 出演：筑紫若水会 協力：聖福寺大雄宝殿修復協力会	208名

## 4 ボランティア活動

### ○平成24年度登録者数

	登録者数	男女内訳	平均年齢
展示案内	116名	男 58名 女 73名	64.8歳
業務支援	21名		
寸劇	16名		

### ○活動内容

#### ①展示案内ボランティア

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、個人客や学校及び一般団体に展示案内・誘導等を行う。

[外国語グループ]

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、外国人客(英語及び中国語にて)に展示案内・誘導等を行う。

#### ②業務支援ボランティア

発送作業、ボランティア通信「風説書」20～23

号発行、新聞の切抜き、資料整理、教育普及活動の運営等。

[保存環境グループ]

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。IPM(Integrated Pest Management 総合的有害生物管理)の考えに基づき現在露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング(目視点検)等を行う。今年度は新規ボランティアの募集をおこなった。

③寸劇ボランティア

当館収蔵の江戸時代の裁判記録「犯科帳」をもとに、寸劇仕立てで奉行所展示室お白洲にて紹介。

[平成24年度の演目]

「シーボルト事件」(4月～9月)

「偽占い師事件」(10月～平成25年3月)

④長崎奉行所・夏祭り実行委員会

活動期間:2012年4月25日(水)～8月31日(金)

夏祭り実行委員会による企画会議を通じて、具体的な運営方針や当日の開催に向けた準備などを行う。特に「ヨーヨーすくい」では、ボランティアの実行委員を中心に準備段階から当日の販売対応まで行った。

⑤企画展ボランティア

今年度より企画展での展示解説や学校見学の対応、ワークショップ等の運営を行う企画展ボランティアを導入し、試行的に実施した。

○ボランティア研修

◇研修内容

[保存環境ボランティア研修内容]

	日時	内容	講師	参加者数
第1回	2/12(火) 13:30～15:00	活動内容の説明 博物館と資料保存	関裕典研究員	3名
第2回	2/26(火) 13:30～15:00	古文書における害虫被害	富川敦子研究員	3名
第3回	3/12(火) 13:30～15:00	環境モニタリングと機器の取り扱い	関裕典研究員	3名
第4回	3/19(火) 13:30～15:00	ワークショップ(展示室内)	関裕典研究員	3名

[常設展示リニューアル特別講座]

	日時	内容	講師	参加者数 ( )はビデオ受講
第1回	5/25(金) 17:00～18:30	近代化の魁・長崎コーナー	岡本健一郎研究員	23(10)名
第2回	5/30(水) 17:00～18:30	西洋との出会いコーナー 朝鮮との交流コーナー	大石一久研究Gリーダー 岡本健一郎研究員	33(9)名
第3回	6/6(水) 17:00～18:30	長崎貿易コーナー 中国との交流コーナー	深瀬公一郎主任研究員	35(6)名
第4回	6/13(水) 17:00～18:30	長崎の暮らしコーナー オランダとの交流コーナー	岡本健一郎研究員 深瀬公一郎主任研究員	36(3)名

[スキルアップ研修] (計11回)

	日時	内容	講師	参加者数
第1回	4/22(日) 17:00～18:00	ゾウ展内覧会	植松有希研究員	28名
第2回	6/20(水) 17:00～18:00	美術展示室(修復展) オランダコーナー	関裕典研究員 山内勇輝研究員	24名
第3回	7/11(水) 17:00～18:00	ドラえもん展内覧会	一瀬勇士研究員	30名
第4回	7/18(水) 17:00～18:00	美術展示室(上野彦馬)	岡本健一郎研究員	27名
第5回	8/22(水) 17:00～18:00	故宮博物院展内覧会	岡本健一郎研究員	48名
第6回	9/19(水) 17:00～18:00	美術展示室(くんち) バックヤード	岡本健一郎研究員 一瀬勇士研究員	20名
第7回	10/10(水) 17:00～18:00	福建博物院展内覧会	深瀬公一郎主任研究員	39名
第8回	10/31(水) 17:00～18:00	美術展示室(新収蔵展) 西洋との出会いコーナー	植松有希研究員 大石一久研究Gリーダー	23名
第9回	12/19(水) 17:00～18:00	美術展示室(お正月) 近代化コーナー	植松有希研究員 岡本健一郎研究員	18名
第10回	1/16(水) 17:00～18:00	エキゾチックジャパン展内覧会	深瀬公一郎主任研究員	30名
第11回	2/6(水) 17:00～18:00	美術展示室(長崎名所) 中国コーナー	山内勇輝研究員	14名

○ボランティア募集

新規展示案内ボランティア(第6期)の募集を行った。

(新規ボランティア(第6期)研修内容)

	日時	内容	講師
第1回	1月20日(日) 14:00～16:00	挨拶 長崎歴史文化博物館の概要 博物館の収蔵品について 歴史文化展示(西洋との出会い)	大堀哲館長 竹内有理教育普及Gリーダー 越中勇主任研究員 大石一久研究Gリーダー

第2回	2月2日(土) 14:00～16:00	ボランティア活動の紹介と施設見学 歴史文化展示(貿易・長崎の暮らし)	一瀬勇士研究員 深瀬公一郎主任研究員
第3回	2月10日(日) 14:00～16:00	歴史文化展示(工芸・美術) 奉行所展示(長崎奉行・キリシタン)	植松有希研究員 岡本健一郎研究員
第4回	2月24日(日) 14:00～16:00	歴史文化展示(中国) 歴史文化展示(オランダ・近代化)	深瀬公一郎主任研究員 山内勇輝研究員
第5回	3月17日(日) 14:00～16:00	資料の修復・保存について 博物館の教育活動について(子ども・学校対応)	久保憲司研究員・関裕典研究員 下田幹子研究員・小熊佐智子研究員
第6回	3月23日(土) 17:00～20:00	博物館における来館者との接客・接遇について 交流会(19:00～)	JTBビジネスサポート 一瀬勇士研究員

## 長崎歴史文化博物館 第6期ボランティア募集のお知らせ（平成24年度）

長崎歴史文化博物館では、開館当初からボランティア制度を導入し、現在約130名の方にご活躍していただいております。このたび、さらに来館者サービスの充実を図るため、また来館者の方々やボランティア相互の交流などを通して生涯学習の場として活用していただくためボランティアを募集します。

### 1. 活動内容

グループ	活動内容
展示案内	博物館展示室内での定点解説、誘導 団体向けの展示案内 子ども向けの展示案内 外国語（英語・中国語・韓国語など）での展示案内

### 2. 活動場所 長崎歴史文化博物館（長崎市立山1丁目1番1号）

### 3. 応募条件

- ① ボランティア活動や博物館の活動に興味・関心・熱意を持ち、来館者との交流に意欲的な方
- ② 博物館の展示・運営・活動趣旨に賛同される方
- ③ 事前研修に参加できる方（研修日時・内容は後日連絡いたします。概ね7回程度行います。）
- ④ 原則月4回以上、少なくとも1日3時間は活動に参加できる方
  - ・ 団体向けの展示案内はボランティア活動を一定期間経験された後、別途研修を受けていただきます。
  - ・ 高校生以上を対象とします。（高校生の方は保護者の方の同意が必要です）
- ⑤ 募集人数は30名程度

### 4. 参加にあたって

- ・ 午前8時30分～午後6時30分の中で4区分の時間帯で1日3時間（活動グループ・内容により指定した時間になる場合があります）
- ・ 活動に対する報酬はありません。当館の規定に従い、交通費の実費をお支払します。（往復上限1000円）
- ・ 登録期間は平成25（2013）年4月1日～平成26（2014）年3月31日までとしますが、更新することも可能です。
- ・ ボランティア保険に加入していただきます。（当館負担）

### 5. 特典

- ・ 常設展の年間無料観覧
- ・ 企画展招待券の提供 ※企画展によっては、招待券の提供及び割引等ができないものもあります。
- ・ チケット購入割引
- ・ ミュージアムショップ、レストランでの割引（10%）
  - ※メニュー及び商品によって割引対象外のものもあります。
- ・ 講演会などの行事案内

### 6. 応募方法・お問い合わせ

申込用紙に必要事項を記入の上、下記宛先まで郵送またはFAXでお送りください（持参可）。  
応募用紙は長崎歴史文化博物館へ請求いただくか、ホームページからダウンロードしてください。  
応募締切 平成24年12月25日（火）必着

応募・問合せ先 〒850-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館 ボランティア担当  
(TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407)

応募いただいた方の個人情報、この事業に関する業務にのみ使用いたします。



# 8

## 広報マーケティング

### 1 広報ツール

- ・印刷物（博物館館案内パンフレット、年間スケジュール、れきぶんニュース、企画展 PR 用印刷物、その他単発イベント案内）
  - ・プレスリリース
  - ・WEB媒体（公式ホームページ、メールマガジン、
- ブログ、Facebook ページ）
  - ・交通広告（長崎自動車、県営バス、長崎電気軌道）
  - ・テレビスポット（企画展告知CM）
  - ・館外活動（PR イベント）

#### 印刷物

##### 博物館案内パンフレット



発行部数：50,000 部

##### 年間スケジュール



発行部数：10,000 部

##### れきぶんニュース（A4変形・年4回発行）

vol.21 春号

vol.22 夏号

vol.23 秋号

vol.24 新春号



2012年4月発行



2012年7月発行



2012年10月発行



2013年1月発行

企画展PR用印刷物（B3・B3ポスター、A4チラシ、優待券等）

珍獣？霊獣？ゾウが来た！



ドラえもん科学みらい展



地上の天宮 北京・故宫博物院展



中国福建博物院展



エキゾチックジャパンへの旅



その他イベント案内

くんち三七八年展



れきぶんのクリスマス



れきぶんお雛祭り



プレスリリース

No.01	平成 24 年 4 月 11 日	常設リニューアル
No.02	平成 24 年 4 月 11 日	ゾウ展プレス内覧



No.03	平成 24 年 4 月 17 日	4 月講座・講演会
No.04	平成 24 年 4 月 18 日	教育普及事業
No.05	平成 24 年 4 月 20 日	GW イベント情報
No.06	平成 24 年 4 月 25 日	GW イベント情報
No.07	平成 24 年 5 月 1 日	ゾウの絵画コンテスト
No.08	平成 24 年 5 月 7 日	上を向いて歩こう
No.09	平成 24 年 5 月 11 日	博物館の日入館無料
No.10	平成 24 年 5 月 14 日	5 月講座・講演会
No.11	平成 24 年 5 月 16 日	ゾウ展後期の見どころ
No.12	平成 24 年 6 月 6 日	6 月講座・講演会
No.13	平成 24 年 6 月 13 日	6 月の常設展ご案内
No.14	平成 24 年 6 月 14 日	みらいの道具☆グランプリ
No.15	平成 24 年 6 月 14 日	教育普及事業のご案内
No.16	平成 24 年 6 月 21 日	遠隔授業実施のご案内
No.17	平成 24 年 6 月 28 日	ドラえものの科学みらい展
No.18	平成 24 年 6 月 28 日	7 月講座・講演会
No.19	平成 24 年 7 月 3 日	子泣き相撲 参加者募集
No.20	平成 24 年 7 月 13 日	7 月の常設展ご案内
No.21	平成 24 年 7 月 13 日	れきぶんミュージアムコンサート
No.22	平成 24 年 7 月 16 日	公開講演会・セミナーご案内
No.23	平成 24 年 7 月 19 日	ドラえものの科学みらい展 入館 1 万人セレモニー開催案内
No.24	平成 24 年 7 月 23 日	第 7 回 奉行所夏祭り
No.25	平成 24 年 7 月 23 日	ドラえものの科学みらい展 入館 1 万人達成!
No.26	平成 24 年 8 月 3 日	私の八月十五日展
No.27	平成 24 年 8 月 3 日	れきぶんこどもクラブ作品展
No.28	平成 24 年 8 月 8 日	8 月講座・講演会
No.29	平成 24 年 8 月 10 日	北京・故宮博物院展、関連イベント等
No.30	平成 24 年 8 月 28 日	9 月講座・講演会、イベント情報
No.32	平成 24 年 9 月 5 日	9 月イベント情報
No.34	平成 24 年 9 月 10 日	入館者 400 万人達成
No.35	平成 24 年 9 月 10 日	9 月歴史文化展示ゾーン情報
No.36	平成 24 年 9 月 17 日	9 月特集展示（くち三七八年展）
No.37	平成 24 年 9 月 30 日	中国福建博物院展 開催・開会式のお知らせ
No.38	平成 24 年 10 月 4 日	御白洲寸劇 新演目のご案内
No.39	平成 24 年 10 月 8 日	中国福建博物院展関連イベント
No.40	平成 24 年 10 月 9 日	重要文化財「弥勒如来座像」限定公開!
No.41	平成 24 年 10 月 18 日	10 月のイベント情報
No.42	平成 24 年 10 月 18 日	10 月講座・講演会
No.43	平成 24 年 10 月 18 日	10 月特集展示「新収蔵資料展」
No.44	平成 24 年 10 月 22 日	中国福建博物院展関連イベント
No.45	平成 24 年 10 月 24 日	れきぶんイベント情報（池辺晋一郎トークコンサートほか）
No.46	平成 24 年 10 月 29 日	11 月 4 日開催 公開フォーラム 長崎県と福建省の交流
No.47	平成 24 年 10 月 31 日	中国福建博物院展 入館者 1 万人達成記念セレモニー開催
No.48	平成 24 年 11 月 09 日	有機 EL 照明パネルを使用した展示ケース設置と名品展示のご案内
No.49	平成 24 年 11 月 09 日	教育普及事業（遠隔授業）実施
No.50	平成 24 年 11 月 12 日	東洋陶磁学会第 40 回大会
No.51	平成 24 年 11 月 22 日	12 月の講座・講演会情報
No.52	平成 24 年 11 月 22 日	12 月のイベント情報
No.53	平成 24 年 11 月 26 日	「花月史」発刊記念講演会
No.54	平成 24 年 12 月 10 日	2012 長崎・中国映画週間 開催記者会見のお知らせ
No.55	平成 24 年 12 月 11 日	れきぶんボランティア募集
No.56	平成 24 年 12 月 19 日	12 月特集展示「お正月の絵画」
No.57	平成 24 年 12 月 19 日	1 月イベント情報
No.58	平成 24 年 12 月 19 日	「エキゾチックジャパンへの旅」開会式・開催概要
No.60	平成 24 年 12 月 26 日	1 月 町屋展示・特集展示

No.61	平成 25 年 1 月 7 日	1 月 講座・講演会
No.62	平成 25 年 1 月 7 日	1 月 移動博物館 in 小値賀町歴史民俗資料館
No.63	平成 25 年 1 月 16 日	1 月 講演会「長崎と会津をつなぐ絆」
No.64	平成 25 年 1 月 16 日	2 月 町屋「節分」・特集展示「長崎の名所案内」
No.65	平成 25 年 1 月 28 日	2 月 イベント情報
No.66	平成 25 年 1 月 28 日	2 月 ミュージアムコンサート
No.67	平成 25 年 2 月 7 日	移動博物館 in 壱岐市立一支国博物館
No.68	平成 25 年 2 月 7 日	こどもクラブ作品展示
No.69	平成 25 年 2 月 12 日	2 月の催しのご案内
No.70	平成 25 年 2 月 19 日	パートナーズ報告会
No.71	平成 25 年 2 月 19 日	電子ピアノ贈呈
No.72	平成 25 年 2 月 19 日	町屋「桃の節句」
No.73	平成 25 年 2 月 20 日	れきぶんお雛祭り
No.74	平成 25 年 3 月 19 日	日中友好交流行事開催のご案内

## WEB媒体

公式ホームページ（5月2日リニューアル・運用開始）

メールマガジン（月2回発行）

<http://www.nmhc.jp/>



ブログ（れきぶんログ）

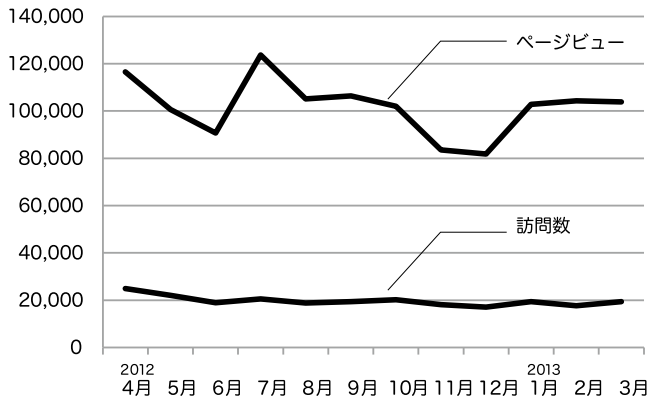
Facebook ページ（2012年10月運用開始）

<http://rekibun.blogspot.jp/>

<https://www.facebook.com/rekibun>

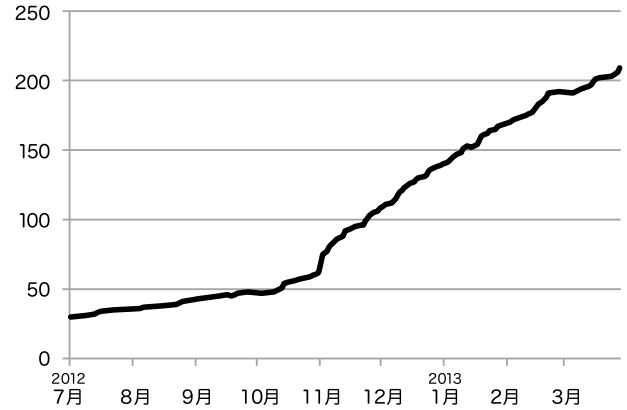


公式ホームページ  
ページビュー・訪問数



年間ページビュー：1,221,159  
年間訪問数：236,341

Facebook ページ  
いいね！数



交通広告

長崎自動車 (H ポール・B3 ポスター)	掲出期間：2012年4月1日～2013年3月31日
県営バス (H ポール・B3 ポスター)	掲出期間：2012年4月1日～2013年3月31日
長崎電気軌道 (中吊り・B3 ポスター)	企画展毎に随時掲出

テレビスポット (企画展告知)

珍獣？霊獣？ゾウが来た！	KTN テレビ長崎 (開催告知・協賛告知・絵画コンテスト告知)
ドラえもん科学みらい展	NCC 長崎文化放送 (開催告知)
北京・故宮博物院展	NCC 長崎文化放送 (開催告知)
中国福建博物院展	NIB 長崎国際テレビ (開催告知・天気フィラー等)

館外活動

ココウオーク出張イベント (ワークショップ、PR イベント)	4月15日(日) 6月23日(土) 9月17日(月祝) 12月8日(土)	みらい長崎ココウオーク (長崎市茂里町)
帆船まつり (チラシ配りほか)	4月27日(金) ～29日(日)	水辺の森公園 (長崎市)

掲載実績 ※ web 媒体を除く

○企画展「珍獣？霊獣？ゾウが来た！」

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月1日(日)	長崎県広報課	県民だより4月号
4月1日(日)	長崎市広報広聴課	広報ながさき4月号
4月3日(火)	西日本新聞(福岡版)	福岡ワイド(写真あり)
4月4日(水)	西日本新聞	情報掲載(写真あり)
4月4日(水)	西日本新聞(佐世保版)	情報掲載(写真あり)
4月6日(金)	西日本新聞(福岡版)	情報キング(夕刊)写真あり
4月6日(金)	西日本新聞	情報掲載(写真あり)
4月10日(火)	日本経済新聞	情報掲載
4月15日(日)	長崎新聞	コラム(うず潮)
4月19日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
4月19日(木)	西日本新聞(福岡版)	情報キング(夕刊)
4月20日(金)	KTN テレビ長崎	ごぼん(県のお知らせ)
4月20日(金)	NBC	あっぶる(県のお知らせ)
4月20日(金)	KTN テレビ長崎	ニュース
4月20日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
4月20日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
4月20日(金)	(有)コミュニティー・サポート	たぶたぶ6月号
4月21日(土)	NCC	とこさた(県のお知らせ)

4月21日(土)	N I B	ひるじげドン(県のお知らせ)
4月21日(土)	FMながさき	サタデーチャットボックス
4月21日(土)	西日本新聞(佐世保版)	情報掲載(写真あり)
4月21日(土)	毎日新聞	
4月22日(日)	西日本新聞(福岡版)	情報掲載(写真あり)
4月22日(日)	朝日新聞	
4月22日(日)	読売新聞	
4月23日(月)	NHK長崎	昼のニュース・見んと長崎
4月23日(月)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
4月23日(月)	西日本新聞WEB版	ニュース欄
4月25日(水)	ボムウエルシー(株)	ワイヤーママ5月号
4月26日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
4月27日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
4月27日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
4月27日(金)	長崎市民FM	あきやまたつおのみんなのラジオ
4月28日(土)	NBCラジオ	市政だより
4月28日(土)	NIB	週間あじさい
4月29日(日)	NHK美術映像プロジェクト	日曜美術館
4月29日(日)	西日本エリアグループ長崎	パッション5月号
4月29日(日)	NBC	週間あじさい
4月30日(月)	FMながさき	市政だより
4月30日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり)
5月1日(火)	(株)ギャラリーステーション	月刊ギャラリー
5月1日(火)	長崎県広報課	県民だより4月号
5月2日(水)	西日本新聞	情報掲載(大・写真あり)23面
5月2日(水)	西日本新聞(福岡版)	情報掲載(写真あり)
5月2日(水)	エフエム長崎	Lai Lai～来来～
5月5日(土)	NBCラジオ	UP×3
5月号	長崎市広報広聴課	広報ながさき5月号
5月10日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
5月10日(木)	西日本新聞(福岡版)	情報キング(夕刊)
5月11日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
5月11日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
5月12日(土)	西日本新聞(福岡版夕刊)	取材記事(写真あり)
5月17日(木)	NHK	ぐるっと九州8県
5月17日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
5月17日(木)	西日本新聞(福岡版)	情報キング(夕刊)
5月17日(木)	西日本新聞WEB版	プレゼント情報
5月17日(木)	西日本新聞メールマガジン	プレゼント情報
5月18日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
5月18日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
5月21日(月)	KTNテレビ長崎	ごばん(生中継)
5月22日(火)	月刊絵手紙	月刊絵手紙6月号
5月24日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
5月24日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
5月24日(木)	西日本新聞(福岡版)	情報キング(夕刊)
5月25日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
5月25日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
5月27日(日)	西日本新聞	コラム(南蛮船)
6月3日(日)	RKKラジオ	電話インタビュー(約5分「えっちゃんのサンデー・マルシェ」)
6月	ながさきプレス6月号	情報掲載(小)美術館スケジュール
6月	新潮社	芸術新潮
6月1日(土)	西日本新聞	コラム(植松研究員)
6月1日(土)	西日本新聞	情報掲載(小)
6月1日(土)	西日本新聞	情報掲載(小)
6月2日(日)	長崎市美術振興会	美振No.90
6月8日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容
4月1日(日)	毎日新聞	取材記事(写真あり)	リニューアル
4月1日(日)	西日本新聞	取材記事(写真あり)	リニューアル
4月1日(日)	集出版社	集(しゅう)第50号	博物館PR
4月2日(月)	読売新聞西部本社		リニューアル
4月3日(火)	NHK	見んと長崎!	リニューアル
4月6日(金)	朝日新聞	広告	リニューアル
4月12日(木)	長崎新聞	情報掲載(小)	リニューアル

4月12日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)	リニューアル
4月14日(土)	長崎新聞社	取材記事(写真あり)	リニューアル
4月23日(月)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	企画展(ゾウ)、GWイベント、親子クラブ
4月24日(火)	NBCラジオ	早田紀子のキラッとモーニング	リニューアル
4月25日(水)	長崎新聞	体感長崎歴史文博(上)	リニューアル
4月26日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	おやこクラブ
4月27日(金)	長崎新聞	体感長崎歴史文博(下)	リニューアル
4月29日(日)	長崎新聞	とととて	GWイベント
4月29日(土)	長崎新聞	情報掲載(ハタ、コンサート)	教育イベントPR
4月6日(金)	長崎経済新聞		リニューアル
4月下旬	ユーラシア旅行社	ユーラシアニュース vol.6	博物館PR
5月1日(火)	GOVERNOR'S MONTHLY LETTER Vol.11	表1写真	博物館PR
5月号	長崎市広報広聴課	広報ながさき5月号	リニューアル・企画展(ゾウ)・講座
5月号	長崎県広報課	ながさきにこり	リニューアル
5月3日(木)	長崎新聞	社会	キリシタン墓碑(大石先生)
5月4日	長崎新聞		GWイベント(ハタ)
5月5日	長崎新聞	情報ストリート(6日講演)、まるごとろーかる(ハタづくり)、石だたみ(こいのぼり)	GWイベント(端午の節句)
5月7日(月)	KTN テレビ長崎	スーパーニュース(ローカル)	リニューアル(龍馬)
5月8日(火)	長崎新聞	ローカル	GWイベント(エコ)
5月9日(水)	長崎新聞	情報掲載(小)	上を向いて歩こうプロジェクト
5月9日	長崎新聞	情報ストリート	上を向いて歩こうプロジェクト
5月11日(金)	ながさきプレス	BEANS CLUB(ながさきプレス綴じこみ付録)	博物館PR
5月13日(日)	赤木仁・山口由起子	webマガジン近傍 facebook ウォール <a href="http://www.facebook.com/pages/Webmagazine-kimbouon-line-free-paper/191786438486">http://www.facebook.com/pages/Webmagazine-kimbouon-line-free-paper/191786438486</a>	博物館PR
5月13日(日)	長崎新聞	社会	キリシタン墓碑(大石先生)
5月14日(月)	(株) ビッグベン	旅番組取材(RKB「旅ログ紀行九州あつぷ旅路」)6月OA	博物館PR, 常設展、体験工房
5月18日(金)	長崎新聞	うず潮	大堀館長コラム
5月27日発行予定	西日本エリアグループ長崎	パッション6月号	常設展
5月30日(水)	香港電子廣播有限公司(TVB)	旅情報番組取材(「イーノックのフットプリント」)	博物館PR
5月31日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	講座・講演(キリシタン文化研究会)
6月	長崎県	県民だより6月号	常設展
6月	長崎市広報広聴課	広報ながさき6月号	講座(6/16)、おはなし会
6月10日	(株) ビッグベン	RKB 毎日放送「九州あつぷ旅路(ロード)」	博物館情報

○企画展「ドラえものの科学みらい展」

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
6月発行号	日本自動車連盟	JAFメイト
6月2日(日)	長崎市美術振興会	美振 No.90
6月6日(水)	朝日新聞	朝日新聞
6月8日(金)	長崎新聞	長崎近郊版
7月号	西日本エリアグループ長崎	パッション7月号
7月号	ボムウエルシー(株)	ワイヤーママ 7月号
6月25日	ながさきプレス	ながさきプレス7月号
6月25日	f a c e 企画	すごろく VOL. 17
6月26日(火)	共同通信	
6月28日(木)	読売新聞(夕刊)	
6月29日(金)	読売新聞(長崎朝刊)	
7月1日(日)	長崎新聞	とととて
7月発行予定	クロス編集事務所	まっぷるマガジン
7月上旬	長崎県	県民だより7月号
7月上旬	長崎市	広報ながさき7月号
7月1日(日)	長崎新聞 とととて	情報掲載(小)
7月5日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
7月5日(木)	長崎新聞	情報掲載(小)
7月5日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)
7月5日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
7月6日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
7月7日(土)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月7日(土)	朝日新聞	広告(半5段 モノクロ)
7月8日(日)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎

7月8日(日)	長崎新聞社	4面 ローカル
7月9日(月)	長崎新聞	とととって
7月9日(月)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月10日(火)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月11日(水)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月11日(水)	熊本日日新聞	情報コーナー
7月12日(水)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月12日(木)	読売新聞(福岡版・夕刊)	
7月13日(金)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月13日(金)	長崎新聞	レジャー企画タブロイド(全12段カラー)
7月14日(土)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月14日(土)	ライフ企画社	99view7月号
7月18日(水)	朝日新聞	広告(半2段 モノクロ)
7月20日(金)	生活の友社	美術の窓 8月号
7月20日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
7月21日(土)	朝日新聞	広告(ラテ面・1c)
7月23日(月)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
7月24日(火)	朝日新聞	ローカル
7月26日(木)	朝日新聞	広告(半2段 モノクロ)
7月28日(土)	NCC長崎文化放送	トコトン・サタデー
7月31日(火)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ

○企画展「故宮博物院展」

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
5月25日(金)	長崎新聞	広告(半5段カラー)
5月28日(月)～6月30日	長崎新聞	広告(第2ラテ欄オビ/1C)
6月10日(日)	長崎新聞	折込広告(休刊日告知)
6月29日(金)	長崎新聞	広告(全5段カラー)
6月30日(土)	長崎新聞	情報掲載(カラー・写真あり)
7月1日(日)	(株)ギャラリーステーション	月刊ギャラリー 7月号(情報掲載・小)
7月8日(日)	長崎新聞	休刊日予告折込
7月13日(金)	長崎新聞	広告(全5段カラー)
7月17日(火)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界1/ローカル・カラー)
7月18日(水)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界2/ローカル・カラー)
7月19日(木)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界3/ローカル・カラー)
7月20日(金)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界4/ローカル・カラー)
7月21日(土)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界5/ローカル・カラー)
7月23日(月)	長崎新聞	広告(全5段/4C)
7月24日(火)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界6/ローカル・カラー)
7月25日(水)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界7/ローカル・カラー)
7月26日(木)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界8/ローカル・カラー)
7月27日(金)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界9/ローカル・カラー)
7月28日(土)	長崎新聞	特集記事(后妃たちの世界10/ローカル・カラー)
7月28日(土)	長崎県国際観光コンベンション協会	ペーロン大会パンフレット(8分の1/モノクロ)
8月1日(水)	小原流	小原流挿花
8月1日(水)	ながさきプレス	ながさきプレス8月号
8月1日(水)	西日本新聞	パッション 8月号
8月5日(日)	長崎新聞	とととって
8月10日(金)	長崎新聞	広告(全3段・カラー)
8月12日(日)	長崎新聞	とととって(写真あり・カラー)
8月13日(月)	長崎新聞	広告(全3段・モノクロ)
8月14日(火)	長崎新聞	広告(全5段・カラー)
8月15日(水)	長崎新聞	広告(全5段・カラー)
8月16日(木)	長崎新聞	特集広告(15段+15段見開き・カラー)
8月16日(木)	西日本新聞	情報掲載(小・写真あり)
8月16日(木)	長崎新聞	情報掲載(小・写真あり)
8月17日(金)	長崎新聞	特集広告(15段・カラー)
8月17日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
8月17日(金)	NCC	スーパーJチャンネル
8月18日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
8月18日(土)	長崎新聞	広告(全5段・カラー)
8月18日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
8月19日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
8月20日(月)～24日(金)	NCC	スーパーJチャンネル
8月22日(水)	長崎新聞	広告(全3段・モノクロ)
8月23日(木)	長崎新聞	広告(全3段・モノクロ)
8月23日(木)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月23日(木)	FM長崎	ココヨカ



8月24日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
8月24日(金)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月24日(金)	長崎新聞	石だたみ(美顔ローラー・写真あり)
8月24日(金)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月25日(土)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月25日(土)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月26日(日)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月26日(日)	長崎新聞	とっとして
8月26日(日)	長崎新聞	うず潮
8月26日(日)	西日本新聞	パッション 9月号
8月27日(月)	F A C E 企画	すごろく 9月号
8月27日(月)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月28日(火)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月29日(水)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月29日(水)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月30日(木)	長崎新聞	広告(全3段カラー)
8月30日(木)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月30日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
8月31日(金)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
8月31日(金)	長崎新聞	石だたみ(鼻煙壺・写真あり)
8月31日(金)	長崎新聞	特集広告(15段カラー)
8月31日(金)	NCC	スーパーJチャンネル
9月1日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月1日(土)	長崎市美術振興会	美振 No. 93
9月1日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス9月号
9月1日(土)	長崎県広報課	県民だより 9月号
9月2日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月2日(日)	長崎新聞	特集広告(全5段カラー)
9月3日(月)	長崎新聞	特集広告(全5段カラー)
9月3日(月)	毎日新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月3日(月)	FM長崎	来來
9月5日(水)	長崎新聞	特集広告(全5段カラー)
9月5日(水)	熊本日日新聞	週末おでかけ情報
9月6日(木)	長崎新聞	故宮展感想
9月6日(木)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
9月6日(木)	朝日	情報掲載(小)
9月7日(金)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
9月8日(土)	長崎新聞	故宮展感想
9月9日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月9日(日)	長崎新聞	故宮展感想
9月9日(日)	長崎新聞	特集広告(全5段カラー)
9月9日(日)	長崎新聞	広告(15段カラー)
9月11日(火)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
9月11日(火)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月11日(火)	長崎新聞	故宮展感想
9月12日(水)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
9月12日(水)	長崎新聞	故宮展感想
9月12日(水)	長崎新聞	広告(5段カラー)
9月13日(木)	長崎新聞	広告(5段カラー)
9月13日(木)	長崎新聞	広告(突出し・カラー)
9月13日(木)	長崎新聞	故宮展感想
9月14日(金)	NCC	トコサタ(長崎県広報枠にて紹介)
9月14日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
9月15日(土)	長崎新聞	故宮展感想
9月15日(土)	長崎新聞	故宮展感想
9月16日(日)	長崎新聞	故宮展感想
9月16日(日)	長崎新聞	広告(15段カラー)
9月17日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
9月17日(月)	長崎新聞	情報掲載(小)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容
6月	長崎県	県民だより6月号	常設展
6月	長崎市広報広聴課	広報ながさき6月号	講座(6/16)、おはなし会
6月10日	(株)ビッグベン	RKB毎日放送「九州あっぶ旅路(ロード)」	博物館情報
6月12日(火)増刷	長崎文献社	旅する長崎学3	広告
6月13日	長崎新聞	ぶんか短信	れきぶん長崎学講座
6月13日頃	西日本新聞	情報キング	れきぶん長崎学講座



6月14日(木)	朝日新聞	情報掲載(小) 長崎情報欄	16日長崎学講座
6月15日	西日本新聞	情報掲載(小)	れきぶん長崎学講座
6月20日頃	京阪神エルマガジン社	旅こよみ 7月号(JR西日本沿線情報誌)	リニューアル・名探偵コナン関係
6月24日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり)	れきぶん親子講座
6月25日(月)	NBC長崎放送	報道センターNBC	修復展取材
6月29日(金)	読売新聞	お出かけ情報	七夕コンサート
6月30日(土) 増刷	長崎文献社	長崎游学6	広告
6月30日(土)	西日本新聞 長崎版	和牛の祭典 全5段カラー(出島物語1)	広告
7月2日(月)	毎日新聞	毎日新聞	修復展取材
7月5日(木)	NBC クロスメディア推進局	トク3(データ放送)	江戸時代の七夕
7月6日(金)	NHK	ヒルミテ	江戸時代の七夕
7月6日(金)	NHK	見んと!長崎	江戸時代の七夕
7月12日	集出版社	和楽 8・9月合併号	博物館情報
7月	リボンハーツクリエイティブ	プラスエルマガジン	博物館PR
7月販売	(株) デイリー・インフォメーション(代理店)	るるぶ九州ベスト '13	リニューアル(広告)
7月販売		るるぶ長崎	リニューアル
7月販売	JTBパブリッシング	るるぶ九州ドライブ	リニューアル
7月発行号	エース出版長崎(株)	アナイ長崎 7-9月号	特集ページ「長崎の宝物」シーボルトの医療器具
10月発行	(株)JTBパブリッシング	エースオリジナルるるぶ九州2012年下期版	博物館紹介
7月2日(月)	毎日新聞	取材記事	修復展取材
7月10日(火)	長崎新聞	取材記事(写真あり)	修復展
7月10日(火)	西日本新聞	情報掲載(小)	館長トーク
7月11日(水)	長崎新聞	うず潮	館長コラム
7月11日(水)	長崎新聞	ぶんか短信	純心博物館講座
7月11日(水)	読売新聞	取材記事(写真あり)	修復展取材
7月12日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	館長トーク
7月発行号	クラス エル マガジン 7月号	情報掲載(小)	博物館情報
7月15日(日)	NBC	報道センターNBC	ビーコロショー
7月15日(日)	長崎新聞	情報掲載(小)	夏のイベント情報(子泣き、彦馬)
7月15日(日)	長崎新聞 とととって	情報掲載(小)	子泣き相撲募集、エコ学ほ!告知
7月15日(日)	昭文社	まっふる 長崎 '13	博物館紹介
7月19日(木)	NHK長崎	ヒルミテ	特集展示(彦馬)
7月19日(木)	NHK長崎	見んと!長崎	特集展示(彦馬)
7月22日(日)	長崎新聞	情報掲載(小)	講演会(文化資源の分析と保全)
7月23日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	子泣き相撲
7月24日(火)	NCC	スーパーJチャンネル	矢上神社天井絵調査(越中先生)
7月25日(水)	西日本新聞 長崎版	和牛の祭典 全5段カラー(出島物語2)	広告
7月25日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	矢上神社天井絵調査(越中先生)
7月26日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	公開講演会告知
7月27日(金)	読売新聞	取材記事(写真あり・カラー)	矢上神社天井絵調査(越中先生)
7月27日(金)	face企画	すごろく VOL.18	奉行所夏祭り、長崎学E X P講座
7月29日(日)	西日本新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	矢上神社天井絵調査(越中先生)
7月31日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)	夏祭り
7月31日(火)	西日本新聞	情報掲載(小)	夏祭り
8月1日(水)	西日本新聞	特ナビ(写真あり・モノクロ)	特集展示(彦馬)
8月3日(金)	読売新聞	情報掲載(小・ギャラリー欄)	私の八月十五日展
8月10日(金)	長崎新聞	情報掲載(小)	私の八月十五日展
8月11日(土)	毎日新聞	情報掲載(小)	私の八月十五日展
8月12日(日)	長崎新聞	情報掲載(小)	8・25れきぶん長崎学講座
8月13日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	私の八月十五日展
8月14日(月)	朝日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	矢上神社天井絵調査(越中先生)
8月14日(月)	毎日新聞	取材記事(写真あり・カラー)	私の八月十五日展
8月24日(金)	読売新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
8月24日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	れきぶん長崎学講座
8月24日(金)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	長崎刺繍のキリンマーク
8月24日(金)	NHK	ヒルミテ	私の八月十五日展
8月25日(土)	九州旅客鉄道(株)	プリーズ 9月号	九州ものしり学(珈琲文化・山内君)
8月26日(日)	長崎新聞	とととって	研究員紹介(小熊さん)
8月28日(火)	日本経済新聞	特集記事(写真あり・モノクロ)	キリシタン墓碑(大石先生)
8月29日(水)	ボムウエルシー(株)	ワイヤーママ 9月号	イベント情報(町屋WS, コンサート, こどもクラブ)

8月31日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	私の八月十五日展
8月31日(金)	読売新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
8月末	長崎サービス アンド ディベロップメンツ	長崎一娛一得(中国人観光客向けクーポン マガジン)	博物館紹介、福建展告知
9月1日(土)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 9月号	長崎学、新内寄席、くんち、月見 コンサート
9月1日(土)	長崎新聞	情報掲載(小)	長崎デザインアワード
9月2日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	霊符づくり
9月5日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・からー9)	キワニスクラブ
9月6日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	長崎学エキスパート講座
9月7日(金)	読売新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
9月7日(金)	読売新聞	情報掲載(写真あり・カラー)	くんちてぬぐい
9月8日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	長崎デザインアワード
9月10日(月)	朝日新聞(全国)	特集記事(写真あり・モノクロ)	クリンタン墓碑(大石先生)
9月11日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)	長崎学講座
9月12日(水)	N I B長崎国際テレビ	ニュース every	入館400万人達成記念
9月12日(水)	K T Nテレビ長崎	スーパー Gopan	入館400万人達成記念
9月12日(水)	N B C長崎放送	報道センターN B C	入館400万人達成記念
9月13日(木)	読売新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	西日本新聞	特集記事(写真あり・モノクロ)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	毎日新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
9月18日(火)	N H K	さかのぼり日本史	奉行所、寛文長崎図屏風
9月?	読売新聞	週末おでかけ情報	お月見コンサート
9月18日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)	町屋「中秋の名月」展示
9月20日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	くんち三七八年展
9月20日(木)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	くんち三七八年展
9月20日(木)	J R西日本	旅こよみ 10月号	博物館紹介

### ○中国福建博物院展

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
9月1日(土)	㈱ギャラリーステーション	月刊ギャラリー 9月号
9月1日(土)	ながさきプレス	別冊「一娛一得」
9月25日(火)	西日本新聞	パッション 10月号
9月27日(木)	F A C E企画	すごろく 10月号
9月28日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
9月29日(土)	朝日新聞	西部版 出稿
9月30日(日)～10月6日	N B Cラジオ	トク3
9月30日(日)	長崎新聞	とととて
10月1日(月)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 10月号
10月1日(月)	ながさきプレス	ながさきプレス 10月号
10月1日(月)	㈱藤樹社	月刊書道界 10月号
10月1日(月)	日本陶磁協会	陶説 十月号
10月1日(月)	新人物往來社	歴史読本 11月号
10月1日(月)	純心大学	第47回純心祭 パンフレット
10月5日(金)	長崎新聞	取材記事
10月6日(土)	読売新聞	取材記事
10月6日(土)	毎日新聞	取材記事
10月6日(土)	長崎新聞	取材記事
10月6日(土)	西日本新聞	取材記事
10月6日(土)	朝日新聞	取材記事
10月10日(水)	長崎新聞	水や空
10月11日(木)	長崎新聞	情報掲載(長崎県枠)
10月11日(木)	西日本新聞	情報掲載(長崎県枠)
10月12日(金)	西日本新聞	文化短信
10月12日(金)	西日本新聞	情報掲載(長崎県枠)
10月18日(木)	朝日新聞	情報掲載
10月19日(金)	西日本新聞	情報掲載
10月19日(金)	産経ニュース	<a href="http://sankei.jp.msn.com/politics/news/121019/plc12101908480007-n1.htm">http://sankei.jp.msn.com/politics/news/121019/ plc12101908480007-n1.htm</a>
10月20日(土)	N I B長崎国際テレビ	ひるじげドン(生中継)
10月21日(日)～31日(水)	長崎駅かもめビジョン	福建展CM(1日14本放映・N I Bより提供)
10月22日(月)	N I B長崎国際テレビ	news every.
10月23日(火)	N I B長崎国際テレビ	news every.
10月24日(水)	N I B長崎国際テレビ	news every.
10月25日(木)	西日本新聞	パッション 11月号
10月25日(木)	川口印刷㈱	CUBEながさき10月号(テキストのみ)

10月25日(木)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 11月号
10月26日(金)～11月4日(日)	NBCクロスメディア	トク3
10月26日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
10月27日(土)	FACE企画	すごろく 11月号
11月1日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
11月1日(木)	㈱ギャラリーステーション	月刊ギャラリー 11月号
11月2日(金)	NIB長崎国際テレビ	ニュース every.
11月2日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
11月3日(土)	NIB長崎国際テレビ	ミニ番組「福建博物院展の魅力」
11月3日(土)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
11月3日(土)～24までの毎土	NIB長崎国際テレビ	天気予報
11月7日(水)～	H. I. S 旅行情報サイト	<a href="http://nippon-img.his-j.com/event/event_KY.html#">http://nippon-img.his-j.com/event/event_KY.html#</a>
11月9日(金)～15日(木)	プロダクションナック	みーちゅー+ (県広報枠)
11月9日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
11月10日(土)	FM長崎	サタデーチャットボックス (県広報枠)
11月11日(日)	長崎新聞	取材記事
11月16日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
11月23日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)

## ○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容
9月1日(土)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 9月号	長崎学、新内寄席、くんち、月見コンサート
9月1日(土)	長崎新聞	情報掲載(小)	長崎デザインアワード
9月2日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	霊符づくり
9月5日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	キワニスクラブ
9月6日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	長崎学エキスパート講座
9月7日(金)	読売新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
9月7日(金)	読売新聞	情報掲載(写真あり・カラー)	くんちてぬぐい
9月8日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	長崎デザインアワード
9月10日(月)	朝日新聞(全国)	特集記事(写真あり・モノクロ)	キリシタン墓碑(大石先生)
9月11日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)	長崎学講座
9月12日(水)	NIB長崎国際テレビ	ニュース every	入館400万人達成記念
9月12日(水)	KTNテレビ長崎	スーパー Gopan	入館400万人達成記念
9月12日(水)	NBC長崎放送	報道センターNBC	入館400万人達成記念
9月13日(木)	読売新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	西日本新聞	特集記事(写真あり・モノクロ)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	毎日新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	入館400万人達成記念
9月13日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	彦馬の写真
9月15日(土)	JTBパブリッシング	るるぶFREE vol.7	博物館情報
9月18日(火)	NHK	さかのぼり日本史	奉行所、寛文長崎図屏風
9月?	読売新聞	週末おでかけ情報	お月見コンサート
9月18日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)	町屋「中秋の名月」展示
9月20日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	くんち三七八年展
9月20日(木)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	くんち三七八年展
9月20日(木)	JR西日本	旅こよみ 10月号	博物館紹介
9月21日(金)	西日本新聞	情報掲載(小9)	お月見コンサート
9月27日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	お月見コンサート
9月28日(金)	NCC	スーパーJチャンネル	くんち三七八年展
9月29日(土)	朝日新聞	全面広告 彩秋紀行(広告)	博物館紹介・くんち展
10月1日(月)	エース出版	アナイ長崎 10～12月号	長崎の宝物(11回・彦馬の台紙)
10月1日(月)	NIB長崎国際テレビ	ニュース every	くんち三七八年展
10月1日(月)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ(プチコーナー)	お月見コンサート
10月2日(月)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	犯科帳(岡本研究員)
10月2日(月)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ(プチコーナー)	くんちグッズ
10月3日(水)	BS朝日	歴史発見 城下町へ行く!	奉行所、彦馬等(岡本研究員出演)
10月4日(木)	長崎新聞	読者投稿	奉行所に関する意見
10月5日(金)	長崎新聞	くんち関連記事(カラー)	玉園町獅子踊り(博物館前にて撮影)
10月5日(金)	㈱ユーラシア旅行社	ユーラシアニュース vol.007	博物館告知
10月6日(土)	NCC	トコサタ	くんち三七八年展
10月8日(月)	毎日新聞	歴シアター	キリシタン墓碑(大石先生)
10月9日(火)	NHK	ヒルミテ	館長インタビュー
10月16日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	諏訪祭礼図絵巻(岡本研究員)
10月18日(木)	長崎新聞	情報掲載(長崎県枠)	2012ながさき陶磁展
10月18日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	弥勒如来坐像・銅矛

10月18日(木)	西日本新聞	情報掲載(長崎県枠)	2012ながさき陶磁展
10月20日(土)	長崎新聞	情報掲載	長崎伝統工芸まつり
10月20日(土)	長崎新聞	情報掲載	弥勒如来坐像・銅矛
10月23日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	寛文長崎図屏風(深瀬研究員)
10月25日(木)	NBC長崎放送	あつふる(生中継)	2012ながさき陶磁展
10月25日(木)	どりむ社	ブンブンぱあとなあ	博物館情報(子供向け)
10月25日(木)	ボムウエルシー(株)	ワイヤーママ 11月号	町屋WS, 常設チケットプレゼント
10月28日(日)	長崎新聞	プロンプター(写真あり・カラー)	下田研究員インタビュー
10月29日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	世界遺産フォーラム
10月30日(火)	NHK長崎放送局	みんな!長崎(突撃!部活)	瓊浦高・陶芸部が常設の亀山焼を見学
10月30日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	隠元禅師画像(深瀬研究員)
11月1日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	文化財セミナー告知
11月3日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	出張授業
11月6日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	麒麟図(深瀬研究員)
11月7日(水)	読売新聞	情報掲載(小)	池辺コンサート
11月11日(日)	長崎新聞	史談・史論	福建省と長崎(深瀬研究員)
11月11日(日)	宮崎日日新聞	社会(特集記事・写真あり)	伊東マンショ没後400年(大石先生)
11月13日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	出島図(深瀬研究員)
11月15日(木)	電気新聞	記事掲載(写真あり)	有機EL
11月15日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり)	有機EL
11月16日(金)	日経産業新聞	記事掲載	有機EL
11月16日(金)	長崎国際テレビ	ニュース every	遠隔授業
11月20日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・モノクロ)	唐館図絵巻(深瀬研究員)
11月20日(火)	長崎新聞	うず潮	館長コラム
11月21日(水)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	彦馬の写真機
11月21日(水)	長崎新聞	情報掲載(中)	東洋陶磁学会
11月22日(木)	長崎新聞	情報掲載(小)	東洋陶磁学会
11月25日(日)	長崎新聞	関連記事(取材記事・写真あり・カラー)	西洋人墓碑(大石先生コメント)
11月27日(火)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・モノクロ)	南蛮人来朝図(深瀬研究員)
11月29日(木)	長崎文化放送	スーパーJチャンネル	有機EL
12月1日(土)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 12月号	クリスマスコンサート・お正月の絵画
12月1日(土)	西日本新聞	パッション 12月号	お正月の絵画、天正遣欧使節
12月1日(土)	Face 企画	すごろく 12月号	月琴・館長トーク

### ○エキゾチックジャパンへの旅

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
12月1日(土)	長崎県広聴課	県民だより 12月号
12月1日(土)	㈱ギャラリーステーション	ギャラリー 12月号
12月1日(土)	長崎市美術振興会	美振 冬号(No.94)
12月8日(土)	長崎YMCA	第34回クリスマスカードコンテスト パンフレット
12月20日(木)	朝日新聞	開催告知
12月25日(火)	長崎県広聴課	県民だより 1月号
12月25日(火)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 1月号
12月25日(火)	ボムウエルシー(株)	ワイヤーママ1月号
12月18日(火)	IMA ONLINE	<a href="http://imaonline.jp/ud/exhibition/50c1bad06a8d1e2097000004">http://imaonline.jp/ud/exhibition/50c1bad06a8d1e2097000004</a>
12月20日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
12月23日(日)	FM長崎	FMタウンナビ(10:55~)
12月27日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
12月28日(金)	KKベストセラーズ・歴史人HP	<a href="http://www.rekishijin.jp/rekishijinnews/20121228-2/">http://www.rekishijin.jp/rekishijinnews/20121228-2/</a>
12月28日(金)	長崎新聞	取材記事(カラー・写真あり)
12月28日(金)	長崎新聞	文化短信(情報のみ)
12月28日(金)	西日本新聞	取材記事(カラー・写真あり)
12月28日(金)	西日本新聞	文化短信(モノクロ・写真あり)
12月31日(月)	FM長崎	県庁タイムス
12月31日(月)	NBCラジオ	県庁タイムス
1月1日(火・祝)	㈱ギャラリーステーション	ギャラリー 1月号
1月3日(木)	NHK長崎	ニュース
1月3日(木)	長崎新聞	県情報枠(情報のみ)
1月3日(木)	西日本新聞	県情報枠(情報のみ)
1月4日(金)	南日本放送	お出かけ情報
1月5日(土)	NBCラジオ	長崎市政だより
1月5日(土)	NCC 長崎文化放送	トコサタ(県広報枠)
1月5日(土)	NIB 長崎国際テレビ	ヒルじげドン(県広報枠)

1月7日(月)	エフエム長崎	長崎市政だより
1月7日(月)	NHK 長崎	ヒルミテ
1月9日(水)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
1月10日(水)	朝日新聞	情報掲載(小)
1月11日(木)	読売新聞	情報掲載(小)
1月11日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)
1月12日(金)	毎日新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)
1月14日(月)	エフエム長崎	来來
1月17日(木)	KTN	スーパーニュース
1月17日(木)	NBC	あっ!ふる
1月17日(木)	KTN	スーパー GOPAN
1月17日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
1月18日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
1月24日(木)	NBC	あっ!ふる
1月25日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
1月25日(金)	長崎シティ FM	ウィークエンドパラダイス 813
1月27日(日)	face 企画	すごろく 2月号
1月30日(水)	熊本日日新聞	九州おでかけ情報
2月1日(金)	ながさきプレス	ながさきプレス 2月号 ランタンブック
2月1日(金)	西日本新聞	パッション 2月号
2月1日(金)	読売新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)
2月1日(金)	長崎県広報課	県民だより 2月号
2月2,3日(土・日)	NIB, KTN, NBC, NCC	週刊あじさい
2月4日(火)	毎日新聞(福岡)	情報掲載(モノクロ・写真あり)
2月7日(木)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
2月7日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
2月8日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
2月10日(日)	川口印刷	CUBE ながさき 2月号(画像あり・カラー)
2月14日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
2月15日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
2月22日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
2月22日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
2月28日(木)	朝日新聞	情報掲載
3月1日(金)	㈱アマナホールディングス	I MA 春号(小・画像あり・カラー)
3月1日(金)	共同通信	情報掲載
3月1日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
3月5日(火)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
3月8日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
3月14日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)
3月14日(木)	長崎新聞	情報掲載(小)
3月15日(金)	西日本新聞	情報掲載(小・写真あり・カラー)
3月15日(金)	読売新聞	情報掲載(小)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容
12月1日(土)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 12月号	クリスマスコンサート・お正月の絵画
12月1日(土)	西日本新聞	パッション 12月号	お正月の絵画、天正遣欧使節
12月1日(土)	Face 企画	すごろく 12月号	月琴・館長トーク
12月1日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス 12月号	中国映画、お正月の絵画
12月4日(水)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	更紗見本帳(深瀬研究員)
12月4日(水)	長崎新聞	取材記事(カラー)	東洋陶磁学会
12月1・8日(土)	日本テレビ系	名探偵コナン	アニメの舞台の一部に奉行所登場
12月7日(金)	川口印刷	CUBE ながさき 12月号	中国映画、お正月の絵画
12月7日(金)	長崎新聞	取材記事(カラー)	しおかぜ絵文祭プレ大会
12月7日(金)	毎日新聞	取材記事(モノクロ)	しおかぜ絵文祭プレ大会
12月7日(金)	読売新聞	取材記事(カラー)	しおかぜ絵文祭プレ大会
12月7日(金)	長崎新聞	情報掲載(小)	花月史講演会
12月9日(日)	長崎新聞	取材記事(小・モノクロ)	クリスマスカードコンテスト
12月11日(水)	西日本新聞	教えてお宝(シリーズ連載・カラー)	彦馬のカメラ(深瀬研究員)
12月12日(水)	長崎新聞	取材記事(カラー)	中国映画週間
12月14日(金)	長崎新聞	取材記事(モノクロ)	通信学会シンポジウム
12月14日(金)	NBC	報道センター NBC	中国映画週間
12月15日(土)	長崎新聞	取材記事(カラー)	中国映画週間記者会見
12月15日(土)	(有)モジカンパニー	ファウンテンズ vol.66 (JAL ホテル内にて配布)	博物館紹介
12月20日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	中国映画週間
12月20日(木)	長崎新聞	石だたみ(取材記事・モノクロ)	お正月の絵画



12月21日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	ボランティア募集
12月25日(火)	長崎新聞	取材記事(カラー・写真あり)	クリスマスコンサート
12月27日(木)	Face 企画	すごろく 1月号	クリスマス&ニューイヤーコンサート
12月28日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	落研、鯨太鼓、お正月の絵画
1月3日(木)	長崎新聞	石だたみ(取材記事・モノクロ)	書き初め
1月4日(金)	長崎新聞	石だたみ(取材記事・モノクロ)	町屋の正月
1月4日(金)	西日本新聞	取材記事(カラー・写真あり)	剣道演武大会
1月6日(日)	長崎新聞	石だたみ(取材記事・モノクロ)	全九州落研新年落語会
1月7日(月)	長崎新聞	石だたみ(取材記事・モノクロ)	初弾
1月8日(火)	NHK 長崎	ニュース	興福寺 X 線調査結果発表
1月8日(火)	KTN テレビ長崎	ニュース	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	長崎新聞	取材記事(カラー・モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	読売新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	朝日新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	西日本新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	毎日新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月9日(水)	日本経済新聞	取材記事(モノクロ・写真あり)	興福寺 X 線調査結果発表
1月16日(水)	長崎新聞	文化短信(情報のみ)	れきぶん長崎学講座
1月17日(木)	西日本新聞(夕刊)	情報キング	れきぶん長崎学講座
1月17日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	れきぶん長崎学講座、長崎学エキスパート講座
1月18日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	れきぶん長崎学講座
1月20日(日)	長崎新聞	取材記事(カラー・写真あり)	山内研究員インタビュー
1月22日(火)	長崎新聞	情報掲載(中)	講演会(長崎と会津をつなぐ絆)
1月25日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	講演会(長崎と会津をつなぐ絆)
1月26日(土)	KTN テレビ長崎	大浦お慶	特別番組(ロケ地提供)
1月30日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	豆まき
2月1日(金)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 2月号	長崎の名所案内、長崎学講座、館長トーク
2月1日(金)	長崎新聞	情報掲載(小)	純心大学公開講座
2月1日(金)	JR 東日本	びゅう 3月~5月(旅行商品パンフ)	博物館紹介
2月3日(日)	長崎新聞	とととて	ミュージアムコンサート
2月7日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	ミュージアムコンサート
2月7日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	壱岐移動博
2月8日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)	壱岐移動博
2月9日(土)、10日(日)	NIB, KTN, NBC, NCC	週刊あじさい	長崎の名所案内
2月9日(土)、11日(土)	NBC ラジオ、FM 長崎	長崎市政だより	長崎の名所案内
2月9日(土)	壱岐ケーブルテレビ	取材	壱岐移動博
2月13日(水)	朝日新聞	情報掲載(小)	壱岐移動博
2月15日(金)	壱岐新報	取材記事	壱岐移動博
2月15日(金)	壱岐新聞	取材記事	壱岐移動博
2月21日(木)	朝日新聞	情報掲載(小) 予定	ひな祭り(キルト)
2月21日(木)	長崎新聞	取材記事	ひな祭り(キルト)
2月23日(土)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	ピアノ贈呈
2月23日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	ピアノ贈呈
2月15日(金)	昭文社	まっふる「家族でおでかけ九州'14」	博物館紹介
2月27日(水)	西日本新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	ピアノ贈呈
2月28日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)	牛乳パックカメラ参加者募集
2月28日(木)	FM 長崎	ココヨカ	長崎の名所案内
3月1日(金)	長崎新聞	情報掲載(小)	聖福寺史跡めぐり
3月1日(金)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 3月号	新内寄席、長崎学エキスパート講座、長崎学講座
3月1日(金)	西日本新聞エリアニュース	パッション 3月号	新内寄席、美術展示室(五節句)
3月3日(日)	NBC	情報センターNBC	ちりめんのお雛様
3月4日(月)	毎日新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)	二胡とチェロの演奏
3月4日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)	ちりめんのお雛様
3月4日(月)	国土社	見てみよう! 挑戦してみよう! 社会科見学・体験学習	博物館紹介
3月5日(火)	V I S A 編集室	V I S A 4月号	博物館紹介
3月8日(金)	川口印刷	CUBE ながさき 3月号	和ガラス展紹介
3月10日(日)	長崎新聞	文化(写真あり・カラー)	日見新道
3月12日(火)	日本経済新聞	歌川国芳展(福岡会場広告・全5段・モノクロ)	次回予告
3月14日(木)	JTBパブリッシング(デイリーインフォメーション)	るるぶFREE長崎 2013春夏号	博物館紹介



## 2 営業活動

### [ 営業目的 ]

- ①修学旅行・一般団体・インバウンドツアーを中心とする誘致活動
- ②長崎市内で行われるイベントでの誘客活動
- ③全国和牛共進会長崎大会の誘客活動
- ④大型クルーズ船の長崎オプションツアー営業
- ⑤企画展における協賛営業及び後援依頼
- ⑥路線バス乗り入れ及び定期観光バスの誘致活動
- ⑦修学旅行団体への聞き取り調査
- ⑧市内ホテル等への誘客活動

### < 主な活動 >

- 4月18日～20日  
佐賀・北九州・下関への旅行会社セールス
- 4月27日～29日  
帆船まつりにてPRブース（チラシ配布による誘客活動）
- 5月15日～17日  
長崎県観光連盟 首都圏修学旅行誘致活動（東京、神奈川）
- 6月5日～6日  
阪急交通社営業懇談会出席及び福岡市旅行会社セールス
- 6月26日～28日  
熊本・別府・大分市への旅行会社セールス
- 6月29日  
長崎・佐世保・雲仙合同 キトラス観光説明

- 会参加（福岡）
- 7月3日～4日  
H24年度長崎県下期観光情報説明会参加（福江）
- 9月5日～7日  
長崎県観光連盟 関西地区修学旅行誘致活動（兵庫、大阪、滋賀、京都）
- 9月11日～13日  
福岡市内旅行会社セールス
- 10月20日～21日  
長崎ベイサイドマラソン会場にてチラシ配布
- 12月5日  
H25年度長崎県下期観光情報説明会参加（HTB）
- 1月1日～3日  
諏訪神社初詣（チラシ配布）
- 1月10日  
福岡市内旅行会社セールス
- 2月14日  
長崎県ランタン旅行会社説明会参加（長崎）
- 3月6日～8日  
長崎国際観光コンベンション協会九州地区教育旅行誘致セールス
- 3月13日～15日  
長崎県観光連盟 首都圏修学旅行誘致活動（埼玉、静岡、東京）
- 3月29日  
福岡市内旅行会社セールス

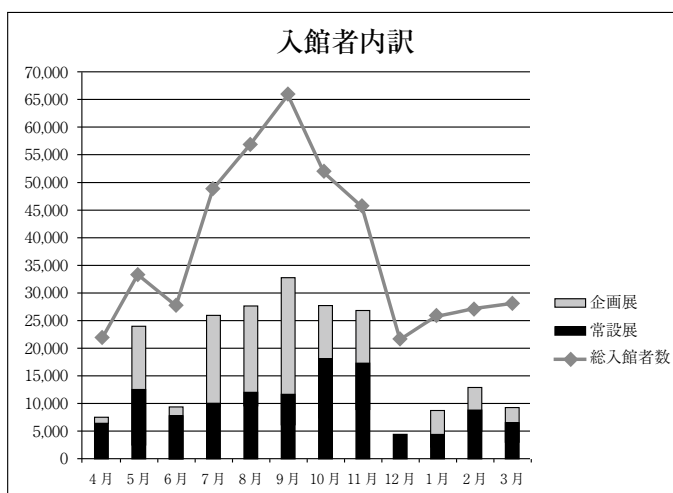
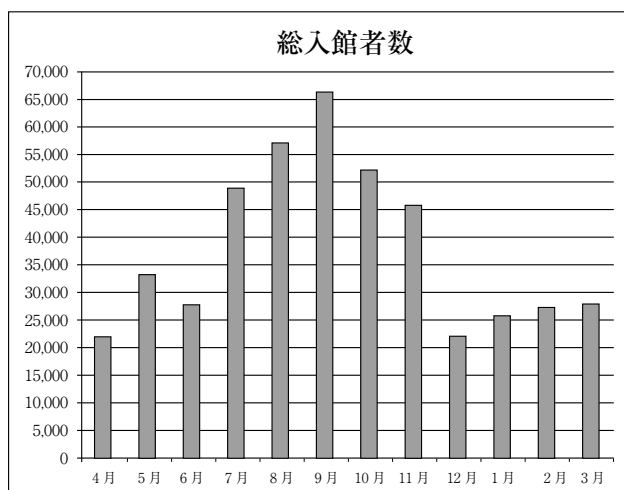
# 9

## 利用状況

### 1 来館者統計

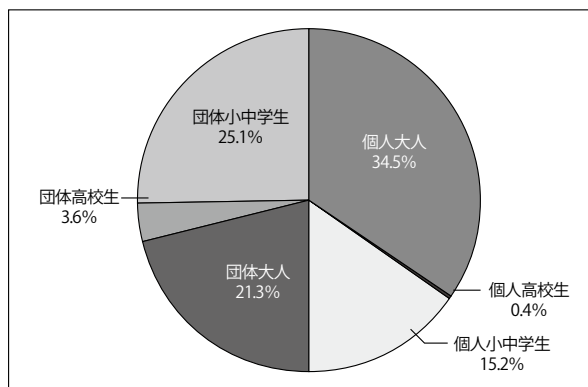
#### ア) 入館者数

	入館者数	常設展	企画展
4月	21,880	5,932	1,606
5月	33,249	12,455	4,352
6月	25,555	7,642	1,577
7月	48,529	10,041	16,663
8月	57,214	12,684	15,571
9月	66,526	11,386	22,373
10月	52,350	18,286	9,332
11月	45,683	17,398	9,755
12月	22,566	4,743	
1月	25,430	4,711	4,067
2月	27,396	8,153	4,851
3月	28,255	6,669	3,159
合計	454,633	120,100	93,306



#### イ) 常設展入館者内訳

個人	大人	41,444	34.5%
	高校生	439	0.4%
	小中学生	18,196	15.2%
団体	大人	25,597	21.3%
	高校生	4,269	3.6%
	小中学生	30,155	25.1%



## 2 主な出来事と来館者

月日	内容
4月1日	設展示室 歴史文化展示ゾーン リニューアルオープン
4月21日	「珍獣? 霊獣? ゾウが来た!」展 開幕 (～6月10日)
5月14日	アラン・チョンアジア文明博物館館長来館
5月17日	池辺晋一郎氏来館
7月7日	「ドラえもんの科学みらい展」開催 (～8月5日)
7月22日	子泣き相撲 開催
7月23日	「ドラえもんの科学みらい展」入館者1万人達成セレモニー
7月24日	中国福建省副省長 来館
7月29日	公開セミナー「長崎研究の新視点-歴史と民族-」開催 (主催: 総合研究大学院大学・国立歴史民俗博物館) 公開講演会「文化資源の分析と保全」開催 (主催: 総合研究大学院大学・国立歴史民俗博物館)
8月4日	奉行所夏祭り 開催
8月8日	「私の八月十五日展」開催 (～9月2日)
8月18日	「地上の天宮 北京・故宮博物院展」開幕 (～9月17日)
8月31日	「地上の天宮 北京・故宮博物院展」入館者1万人達成セレモニー
9月8日	「地上の天宮 北京・故宮博物院展」入館者2万人達成セレモニー
9月12日	入館者400万人達成セレモニー
9月25日	石井高ヴァイオリン工房開設 (～10月26日)
10月5日	呉志躍福建博物院院長来館
10月6日	「中国福建博物院展」開幕 (～11月30日) パトリック・メドゥサン駐日モナコ公国大使来館
10月8日	ラーディング・ファン・フォレンホーヴェン駐日オランダ王国特命全権大使来館
10月17日	国指定重要文化財 弥勒如来座像・銅矛 (奈良国立博物館蔵) 特別公開 (～10月31日)
11月2日	「中国福建博物院展」入館者1万人達成セレモニー
11月3日	開館7周年 県民無料サービスデー
11月4日	公開フォーラム「長崎と福建省 (東アジア世界) の交流-博物館で研究し、博物館で活かす II-」開催
11月7日	ながさき音楽祭 2012 池辺晋一郎トーク×コンサート 開催
11月14日	潘宣輝シンガポール孫中山南洋記念館館長来館
12月21日	2012 長崎・中国映画週間 (～12月24日)
12月27日	「長崎ゆかりの浮世絵・古写真-エキゾチックジャパンへの旅」オープニングセレモニー
1月1日	「長崎ゆかりの浮世絵・古写真-エキゾチックジャパンへの旅」開幕
1月31日	エルミタージュ美術館研究員来館 (～2月9日)
2月4日	オランダ・ライデン市長、オランダ総領事、ライデン国立民族学博物館館長来館
2月5日	英国ケンブリッジ市議会議員視察
2月18日	宮本元在中国大使来館
2月26日	ディーバ・ゴバラシ・ワドワ駐日インド大使、ヴィカース・スワループ在大阪・神戸インド総領事来館
3月20日	ステファンヌ・マルタン フランス国立ケ・ブランリー美術館館長来館
3月22日	中国湖北省 3館との友好交流協定書調印式
3月23日	「孫文・梅屋庄吉と長崎」第2回館長サミット in 長崎開催 武漢辛亥革命博物館ほか9館の関係館館長など来館
3月24日	「美しき中国・文化長安-陝西書画名家展」(～3月29日)
3月30日	長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館 社会連携協定締結 公開シンポジウム「日本の近代化に貢献した-長崎のフルベッキ博士」開催

## 3 貸館・貸室

	件数	人数
イベントの間	36	678
ホール	66	6,649
会議室	116	1,019
講座室	120	2,635
その他 (イベント広場、企画展示室等)	7	9,174
合計	345	20,155

# 10 収 支

## <負担金事業>

単位：円

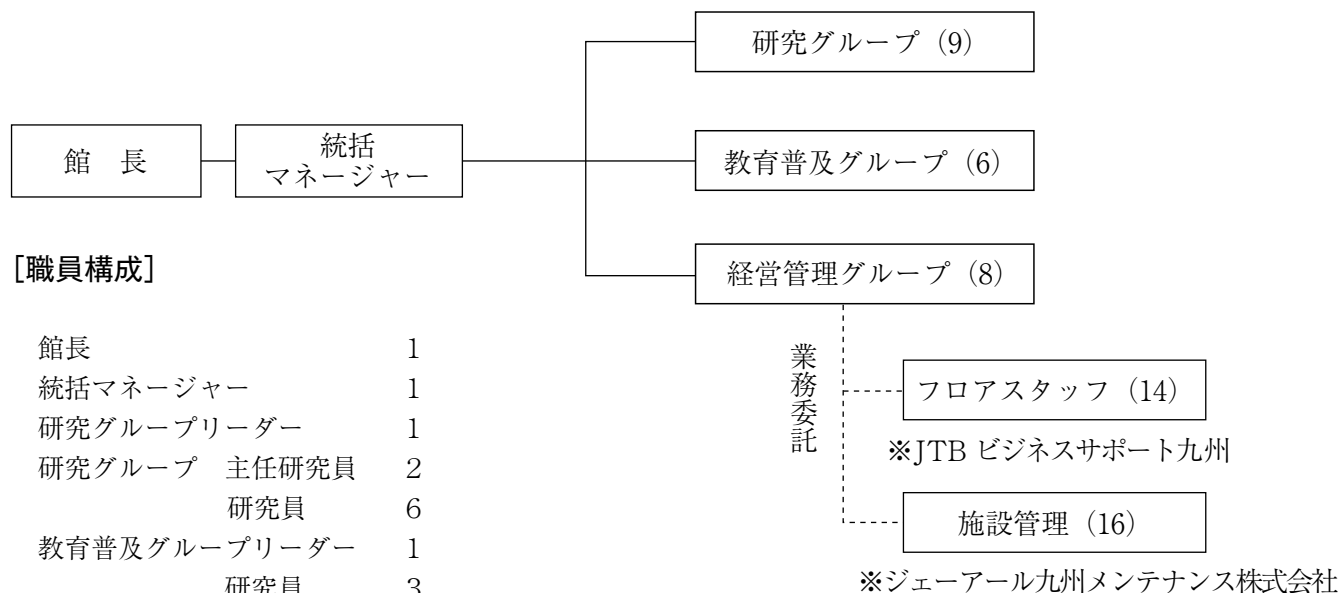
		協定予算額 ①	実績額 ②	予算差異 ②-①
<b>収入 合計</b>		349,100,000	349,317,910	217,910
設置者負担金		348,550,000	348,550,000	0
利用者負担金収入		550,000	767,910	217,910
<b>支出 合計</b>		349,100,000	349,436,427	336,427
管理運営人件費		124,950,000	124,707,064	▲ 242,936
運営事業費	長崎学・生涯学習支援事業	17,790,000	17,770,115	▲ 19,885
	調査研究事業	16,465,000	17,717,151	1,252,151
光熱水費		68,000,000	72,216,500	4,216,500
維持管理費	施設設備保守点検業務	47,525,000	46,703,865	▲ 821,135
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	38,170,000	34,240,747	▲ 3,929,253
	受付案内業務	33,600,000	33,601,725	1,725
	発券機、車両リース	2,600,000	2,479,260	▲ 120,740
<b>負担金事業 収支</b>		0	▲ 118,517	▲ 118,517

## <利用料金及びその他自主事業>

単位：円

		予算額①	実績額②	予算差異 ②-①
<b>収入 合計</b>		186,609,953	180,288,639	▲ 6,321,314
観覧料	常設展・企画展収入	78,405,000	75,071,047	▲ 3,333,953
	協賛金等収入	1,500,000	6,719,900	5,219,900
その他利用料金	駐車場収入	10,200,000	10,037,780	▲ 162,220
	施設貸し出し収入	2,400,000	3,550,620	1,150,620
ミュージアムショップ収入		30,000,000	32,109,574	2,109,574
飲食施設収入		19,680,000	18,321,359	▲ 1,358,641
平成24年度データ整理事業		10,444,350	6,450,693	▲ 3,993,657
日中交流架け橋事業		10,201,800	4,927,386	▲ 5,274,414
「孫文・梅屋庄吉、二人をつないだ上海・長崎」展		18,000,000	18,000,000	0
第2回館長サミット in 長崎開催業務		3,386,135	3,367,780	▲ 18,355
「美しき中国・文化長安-陝西書画名家展」開催業務		2,392,668	1,732,500	▲ 660,168
<b>支出 合計</b>		185,230,953	172,140,217	▲ 13,090,736
展覧会事業費	常設展示事業費	2,595,000	1,422,563	▲ 1,172,437
	展覧会・企画展事業費	69,534,000	58,517,166	▲ 11,016,834
業務経費	広報・マーケティング費	6,900,000	7,775,384	875,384
	駐車場運営費	1,890,000	1,873,240	▲ 16,760
	その他利用料金事業	14,740,000	17,988,883	3,248,883
ミュージアムショップ営業支出		25,486,000	30,787,305	5,301,305
飲食施設営業支出		19,661,000	19,297,317	▲ 363,683
平成24年度データ整理事業		10,444,350	6,450,693	▲ 3,993,657
日中交流架け橋事業		10,201,800	4,927,386	▲ 5,274,414
「孫文・梅屋庄吉、二人をつないだ上海・長崎」展		18,000,000	18,000,000	0
第2回館長サミット in 長崎開催業務		3,386,135	3,367,780	▲ 18,355
「美しき中国・文化長安-陝西書画名家展」開催業務		2,392,668	1,732,500	▲ 660,168
<b>利用料金及びその他自主事業 収支</b>		1,379,000	8,148,422	6,769,422

## 1 職員



### [職員構成]

館長	1
統括マネージャー	1
研究グループリーダー	1
研究グループ 主任研究員	2
研究員	6
教育普及グループリーダー	1
研究員	3
スタッフ	2
経営管理グループリーダー	1
チーフ	3
スタッフ	4
合計	25

館長	大堀 哲 (非常勤)	客員研究員 水嶋 英治 (常磐大学大学院教授)
統括マネージャー	野間 誠二	経営管理グループリーダー 山崎 竜太
研究グループリーダー	大石 一久	経営管理グループチーフ 松尾 純也
研究グループ主任研究員 (美術工芸)	越中 勇	経営管理グループチーフ 真崎 俊介
研究グループ主任研究員 (日本近世史)	深瀬公一郎	経営管理グループチーフ 池上 文雄
研究グループ研究員 (日本近世史)	岡本健一郎	経営管理グループ 木原 政樹
研究グループ研究員 (日本美術史)	植松 有希	経営管理グループ 有馬由紀子
研究グループ研究員 (日本近世史)	山内 勇輝	経営管理グループ 境 陽子
研究グループ研究員 (保存修復)	富川 敦子	経営管理グループ 石田 智美
研究グループ研究員 (保存修復)	久保 憲司	
研究グループ研究員 (資料管理)	関 裕典	
教育普及グループリーダー	竹内 有理	
教育普及グループ研究員	下田 幹子	
教育普及グループ研究員	小熊佐智子	
教育普及グループ研究員	一瀬 勇士	
教育普及グループ普及担当	川口 晃奈	
教育普及グループ普及担当	大石 美織	

## 2 友の会

### ○平成 24 年度

個人会員	140 人
賛助会員	22 団体

本年度より友の会会員向けの企画展の特別鑑賞会を実施し、会員特典の充実をはかった。結果として企画展への動員にもつなげることができた。

5月19日(土) 16:00～17:30

「珍獣? 霊獣? ゾウが来た!」 解説: 植松有希

10月11日(木) 17:00～18:00

「中国福建博物院展」 解説: 深瀬公一郎

2月5日(火) 17:30～18:30

「エキゾチックジャパンへの旅」 解説: 山内勇輝

### 〈個人会員〉

○年会費 5,000 円

○有効期間 1 年間

### ○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
4. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。

5. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
6. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
7. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。

### 〈賛助会員〉

○年会費 1口 50,000 円

○有効期間 1 年間

### ○特典

1. 会員証のご提示により同伴1名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1口50枚をお渡しいたします。常設展チケット、1口30枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式および特別展覧会に1名ご招待いたします。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
7. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
8. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。
9. 館内貸室は2割引でご利用できます。
10. 1階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。



# 12 施設概要

## 1 建築概要

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者（株）乃村工藝社（指定期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日 6年間）
博物館報分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	（株）黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	（株）乃村工藝社

敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡（駐車場 2,581㎡を含む）

建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円

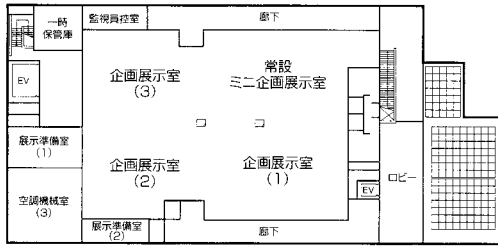


### 施設面積

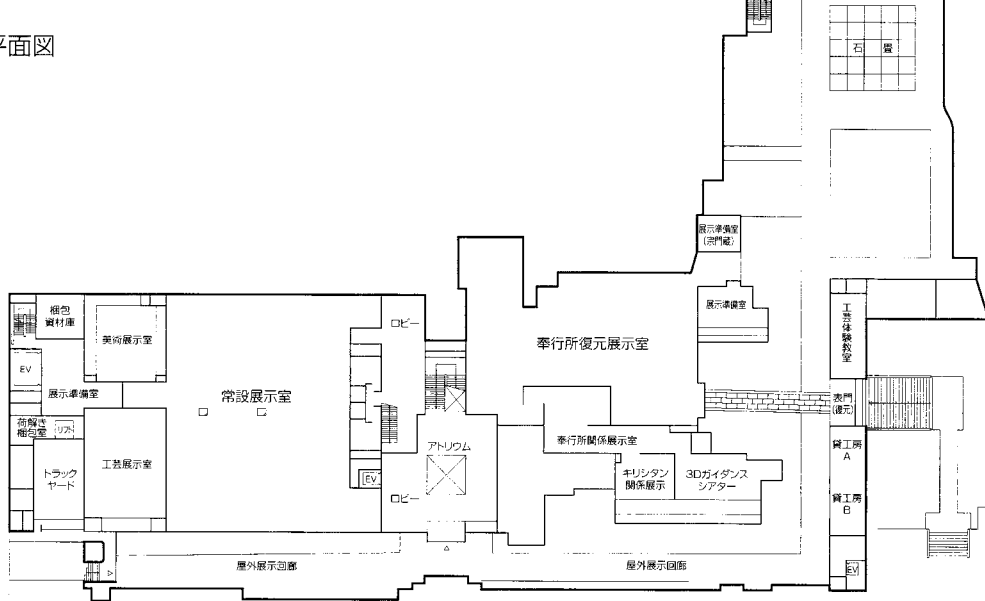
展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室 / 長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所(木造部分)	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

### 設備概要

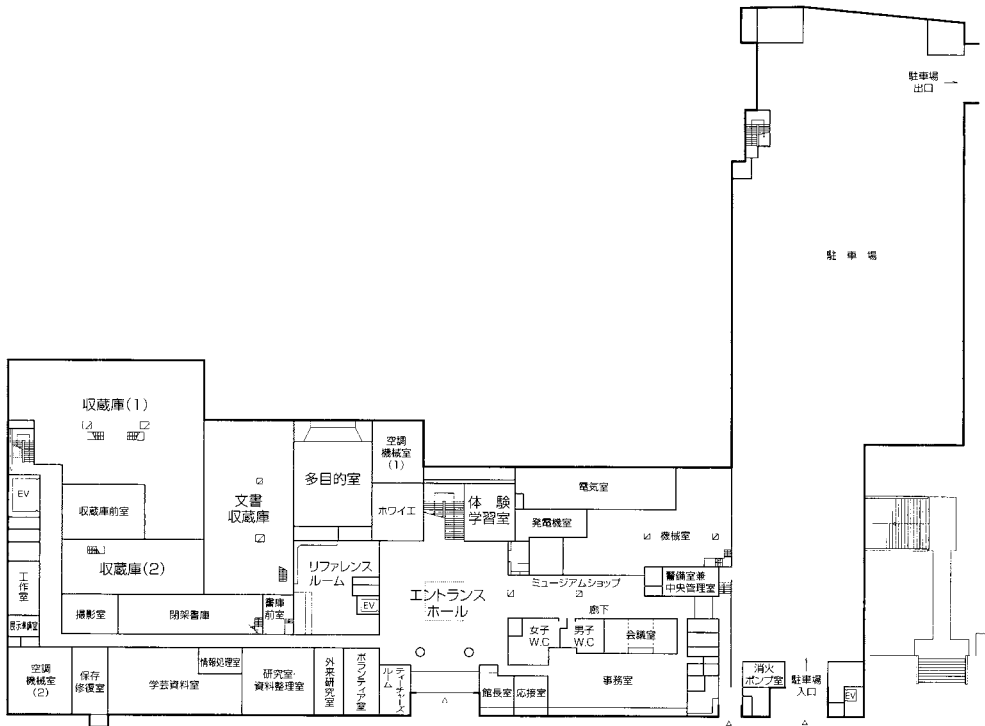
- 電気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
- 給排水：上水 / 雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水 / 屋内外合流方式・公共下水道放流
- 消火：消火器とハロゲン化合物消火設備
- 空調設備：熱源 / ガス炊吸引冷水発生機
- 空調方式：エアハンドリングユニット 定風量単一ダクト方式、中央監視システム



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

# 13 関連法規

## ○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日  
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

### 長崎歴史文化博物館条例

#### (設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

#### (事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

#### (博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

#### (指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

#### (指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

#### (指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。
- (5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- (1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。
- (2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。
- (3) 前条第4項の規定に違反したとき。
- (3) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。
- (5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用

の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第 16 条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

# ○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日  
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号



# 長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名 称 長崎歴史文化博物館
- （2）所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- （3）施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登録の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）長崎歴史文化博物館条例
- （3）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （4）労働基準法
- （5）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- （2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日には休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例(平成16年3月23日付長崎県条例第3号)第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なけ

ればならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第 29 条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書 2 通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 22 年 3 月 25 日

甲 長崎市江戸町 2 番 13 号  
長崎県  
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場 2 丁目 3 番 4 号  
株式会社 乃村工藝社  
代表取締役社長 渡辺 勝

(別紙1)

## 長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県長期総合計画・後期5カ年計画において「交流を拓げる魅力的なまちづくり」という重点目標を推進する拠点施設として位置づけられるとともに、長崎市第三次総合計画においては「人間性を育む個性豊かな国際平和文化都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この目標・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

### 使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

### 使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

### 使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に供する。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

### 使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

### 使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

#### 使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創り出す。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

#### 使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

そのために

#### 使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

#### 使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

#### 使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。



(別紙2)

## 指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(13)のとおりとする。

### 記

#### (1) 管理運営業務基準への対応

##### ①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

##### ②開館時間

午前8時30分から午後7時までの10時間30分

(レストラン銀嶺は午前10時30分から午後9時まで)

##### ③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

##### ④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴史文庫施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

##### ⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

##### ⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

##### ⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

##### ⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

##### ⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

##### ⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

#### (2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

##### ①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集の

ための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料

## ②収蔵資料の保管業務と修復業務

### ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

### イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

### ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

## ③収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び市との協議を行う。

## ④歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務

### 〈1〉常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。
  - ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
  - ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
  - ・美術、工芸展示
  - ・長崎奉行所関連・情景展示
  - ・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）
- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、毎年資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。
- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

### 〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会

・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の歴史・文化に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求められることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤ 学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑥ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数 42 万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 会員事業を実施する。
- ④ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤ 館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ① 県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
- ② 県及び市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③ オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携

(8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ① 利用料金の設定、変更に関する業務  
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ② 利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務  
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③ 観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

- ① ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

② レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2) ②ウ) による。
- ② 施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ 施設及び附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり20万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
- ⑤ 県及び市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥ 長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が（財）都道府県会館建物共済事業（地方自治法第263条の2の規定による都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約）に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険については措置しない。
- ⑦ 施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(11) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

以 上

〈資料1-1〉

## 長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱（県資料分）

### （目的）

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

### （定義）

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

### （収集の基本方針）

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

#### （1）長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

#### （2）長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

### （寄贈）

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

### （寄託）

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（様式第3号）又は寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。

2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

### （資料調査）

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

### （預かり）

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
  - 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要があるとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要がある場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
  - 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。
- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、

所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。

3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

(資料収集委員会及び価格評価委員会)

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

(収集)

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

(資料の管理)

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。



## 長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

### （目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

### （定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

### （取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

### （事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 資料を取得することが望ましい理由
- (15) その他、市長が必要と認める事項

### （資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

### （博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

(取得委員会の組織)

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

- 2 取得委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。
  - (1) 資料に関する学識を有する者
  - (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
  - (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

- 2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。
  - (1) 名称(フリガナ)
  - (2) 作家・著者
  - (3) 生産地
  - (4) 製作・伝来時期
  - (5) コレクション・文庫等の名称
  - (6) 員数(単位)
  - (7) サイズ
  - (8) 素材・技法
  - (9) 形態・形状
  - (10) 付属品
  - (11) 箱・箱書き等
  - (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
  - (13) 文化財指定等の状況
  - (14) 評価金額
  - (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則(昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。)が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第 14 条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかなければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第 15 条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成 16 年長崎市条例第 145 号）第 2 条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第 16 条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第 17 条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第 18 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

〈資料2〉

## 長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
  - (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
  - (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。
  - (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
  - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
  - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
  - (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
  - (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
  - (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
  - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
  - (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
  - (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
  - (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
  - (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
  - (4) 提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
  - (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
  - (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
  - (7) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
  - (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

## 博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

### 1 維持管理の対象

博物館の敷地内及び建物全体とする。

### 2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

#### (1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
  - ・漏水がない状態を保つこと。
  - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
  - ・ルーフドレイン及び樋等が詰まっていないこと。
  - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
  - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
  - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
  - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
  - ・可動部分が円滑に動くこと。
  - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
  - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
  - ・自動扉は正常に作動すること。
  - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
  - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
  - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
  - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
  - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
  - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

#### (2) 外構に関する事項

- ア 工作物
  - ・汚損や破損等がないこと。
  - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
  - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
  - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

#### (3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
  - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
  - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
  - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
  - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
  - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
  - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
  - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

#### (4) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

#### ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

#### イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

#### ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

#### (5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

#### (6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

#### (7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

### 3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にとすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

#### (1) 保守管理運営業務

##### ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

##### イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回／年(27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回／年
- ・雑排水槽清掃 2回／年(法定)
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回／年
- ・ばい煙測定 2回／年(法定)
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回／週
- ・グリーストラップ 12回／年
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ
- ・ブラスタートラップ清掃 2回／年
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回／年

##### ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等  
1名以上常駐(8:00～17:00 1人、12:30～21:00 1人)

##### エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃(床1回／月)  
(常設展示室：6回／年)  
(企画展示室：4回／年)



ガラス清掃 6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐 (開館日1名 (24 H))  
(休館日1名 24 H)

カ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備 (年次・月次) 法定点検: 12回/年
- ・漏電測定 法定点検: 12回/年
- ・非常用発電機 法定点検: 12回/年

キ 空調設備保守点検業務

- ・直焚吸収式冷温発生器 定期点検: 6回/年
- ・冷却式HPチラー 定期点検: 1回/年
- ・冷却塔 (開放式) 定期点検: 2回/年
- ・水処理装置 定期点検: 1回/年
- ・冷却水管理装置 定期点検: 1回/年
- ・軟水装置 定期点検: 1回/年
- ・薬注ポンプユニット 定期点検: 1回/年
- ・蒸気ボイラー 定期点検: 2回/年
- ・ファンコイルユニット 定期点検: 2回/年
- ・パッケージエアコン 定期点検: 2回/年
- ・セパレートエアコン 定期点検: 2回/年
- ・空調機コンパクト型 定期点検: 3回/年
- ・空調機天吊型ほか 定期点検: 2回/年
- ・自動制御・中央監視装置 定期点検: 2回/年
- ・トイレ換気口点検 定期点検: 12回/年
- ・送・排風機 必要に応じ
- ・中性能フィルター フィルター交換: 必要に応じ
- ・ケミカルフィルター フィルター交換: 必要に応じ

ク 消防設備保守点検業務 法定点検: 2回/年 (機器点検・総合点検)

- ・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等定期点検等

ケ 昇降機設備業務 (4基) 法定点検: 12回/年

コ 給排水設備業務

- ・雨水濾過機 定期点検: 2回/年
- ・自動給水ポンプ 定期点検: 1回/年
- ・電気温水器 定期点検: 12回/年

(2) その他付帯設備等に関する業務

- ア 自動ドア装置保守点検 2回/年
- イ シャッター保守点検 1回/年
- ウ 放送設備保守点検 2回/年
- エ 電話交換機保守点検 2回/年
- オ 調光装置設備保守点検 4回/年 (うち自主2回)
- カ 音響設備保守点検 1回/年
- キ 駐車場料金システム保守点検 3回/年
- ク ながさきミュージアムネットワークシステム保守 12回/年  
(ハードウェア保守、ソフトウェア更新)

(3) 収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4) 光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(5) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

## 事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

### ■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
  - (1) 光熱水費
  - (2) 施設維持管理費
    - ①施設設備保守点検費等
    - ②清掃、警備、樹木管理等
    - ③施設の修繕費・消耗品費
    - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
  - (1) 調査研究業務費
  - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
  - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

### ■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
  - (1) 展覧会及び展示事業費
    - ①常設展示、展示替えに係る経費
    - ②企画展示に係る経費
    - ③図録等の作成費
  - (2) 業務経費
    - ①広報、マーケティング費用
    - ②寸劇、イベント等自主事業費
    - ③駐車場運営費
    - ④施設貸出業務費
  - (3) ボランティア経費
  - (4) ミュージアムショップ経費
  - (5) レストラン経費
- 2 その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

## リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び 施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

## 個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。  
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管

理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第 12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第 13 (1) 指定管理業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

①指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。（長崎県個人情報保護条例第63条）

②従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）

③従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

# 長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があたったときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのものと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。



# 長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第11条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第12条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めたときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第13条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

(1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき

(2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき

(3) 公序良俗に反すると認められるとき

(4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。

(5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(特別閲覧許可の発行)

第14条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第15条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第16条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

(1) 職員の立会いのもとで閲覧すること

(2) 閲覧中は職員の指示に従うこと

(3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第17条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第18条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第19条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めたときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委 任)

この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

# 長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

## (目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

## (定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

## (資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

## (資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

## (許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

## (資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

## (画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない

らない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。

(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委 任)

この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

# 14 利用案内

## 1) 開館時間

展示室	8:30~19:00 (最終入館 30 分前)
資料閲覧室・ショップ	8:30~19:00
レストラン「銀嶺」	10:30~21:00 (オーダーストップ 1 時間前)
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00~18:00
施設貸出	9:00~21:00
駐車場	8:30~22:00

※ 12/30 ~ 1/3 は駐車場を除き、10:00~18:00

## 2) 休館日

毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスの為休館する場合あり。

## 3) 観覧料

### ●常設展示

大人 600円〔480円〕 小中高生 300円〔240円〕

※〔 〕内は 15 名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳) 保持者及び介護者 1 名は 5 割減。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

### ●企画展示 別料金

## 4) 交通案内

アクセス・駐車場台数

- 路面電車「桜町」電停下車、徒歩 5 分。
- 路面電車「公会堂前」電停下車、徒歩 7 分。
- 路面バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩 3 分。
- 県営バス(風頭町~夢彩都線)「歴史文化博物館」バス停下車。
- 長崎自動車道(長崎芒塚 IC)より、諏訪神社方面へ 10 分。
- 一般車 62 台、大型バス 5 台

## 5) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山 1 丁目 1 番 1 号

TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407

<http://www/nmhc.jp>

平成 24 年度  
長崎歴史文化博物館年報

2013 年 11 月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館  
〒 850-0007 長崎県長崎市立山 1-1-1  
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407  
印刷 日本紙工印刷株式会社

